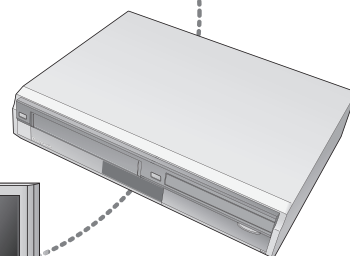
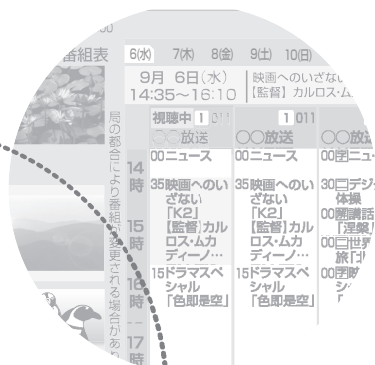
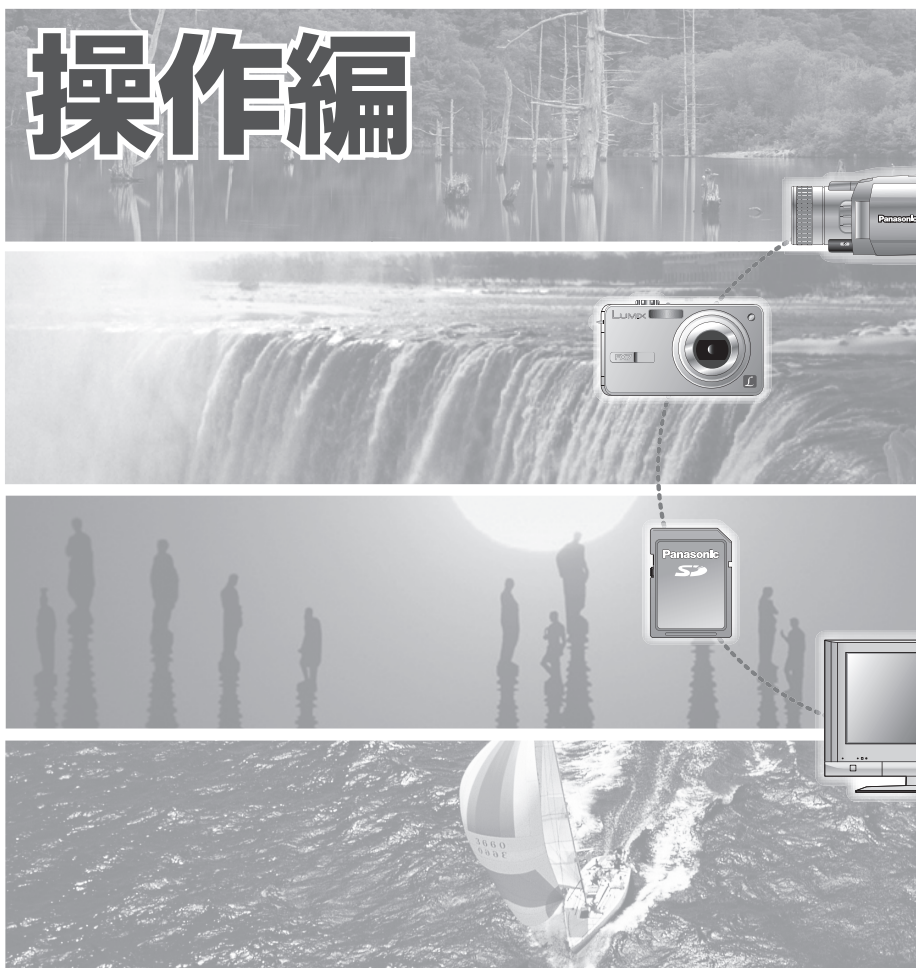
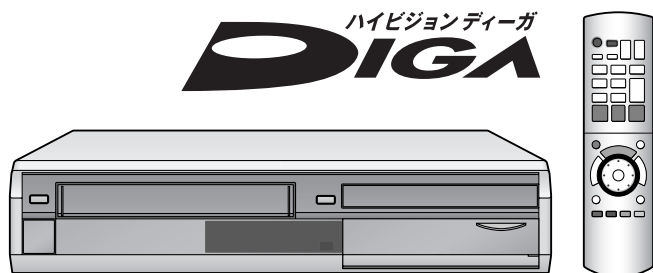
Panasonic

取扱説明書

DVDレコーダー

品番 DMR-XP21V

操作編

DVD関連情報（動作確認情報など）は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dvd/
http://panasonic.jp/support/mpi/dvd/

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いいたします。 ホームページでユーザー登録ができます。
http://www.mps.panasonic.co.jp/

このたびは、"パナソニック製品"をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」(➜132～133ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

RQT8925-2S

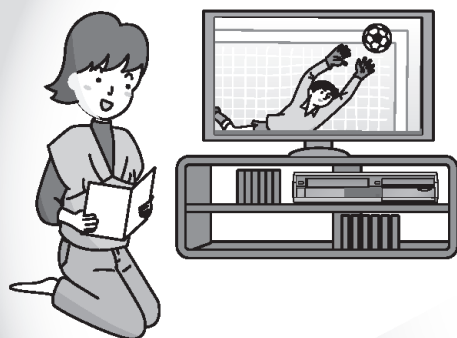
本機の特長

ハイビジョン画質をそのままHDDに録画

テレビ放送はHDDへ録画します。

➜ 34ページ

- DVDやVHSには録画できません。
- DVDやVHSに残すにはHDDからダビングします。

➜ 64ページ

番組表から録画予約

番組表から録画したい番組を選んで予約ができます。

➜ 46ページ

新番組おまかせ録画

新番組のドラマやアニメを自動的に録画します。

➜ 44ページ

こんなことができます

写真

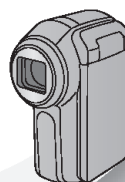
デジカメで撮った写真を楽しむ

➜ 83ページ

動画

SDビデオカメラなどで撮った
MPEG2の動画を楽しむ

●SDカードからは直接再生できません。

➜ 76ページ

SDカードでもっと広がる、つながる

HDMIケーブルでビエラとつなげば、

ビエラのリモコン1つで本機の操作を行うことができます
➜ 22ページ

➜ 20ページ

もくじ

もくじに が付いている項目は音声ガイドが働きます。

まず お知らせとご確認

大事なお知らせ

さあ 使ってみよう

番組

視聴

録る

写真

音楽

その他

便利機能

もし 困ったとき

本機が操作を受けつけなくなったときは…

[電源⏻/I]を10秒以上押す

必要なとき

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(➜132〜133ページ)

確認

ご自分で設置される方は…
別冊「準備編」をご覧になり、必要な設定を行ってください。

見る

編集

残す

連携する

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(➜○○)、別冊の取扱説明書 準備編で参照していただくページを(➜準備編○○)で示しています。
- 内蔵ハードディスクの操作部分を「HDD」、ディスクの操作部分を「DVD」、カードの操作部分を「SD」、カセットの操作部分を「VHS」として、主に説明しています。

使えるディスク・カードについて

デジタル放送をDVDに記録するには…

DVDディスクを準備しよう!

CPRM対応の
ディスクか確かめてください。
デジタル放送は、CPRM非対応のディスクには記録できません。

CPRMとは? デジタル放送などを記録するときに使われている著作権保護技術のことです。(➜126)

HDDに録画しよう!

本機ではDVDに直接録画できません。
いったんHDDに録画したあと、DVDにダビングしてください。

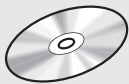
録画モード(➜35)によって
記録される番組の内容が変わります。
目的に応じて録画モードを選んでください。

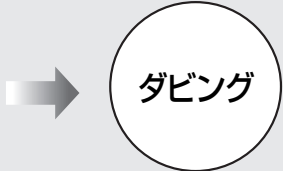
HDDへ録画

HDDへの録画モード	HDDに録画した番組の画質	DVDへのダビング速度
DR	ハイビジョン画質	高速不可(1倍速)
XP～EP、FR	アナログ放送と同じ画質	高速可能

ディスクにダビングしよう!

デジタル放送は
VR方式でのみ
記録できます。

ダビングする前に…

本機でVR方式にフォーマットしてください(➜96)

DVD-RAMの場合、市販のディスクには録画用にフォーマット済みのものがあります。その場合はフォーマットの必要はありません。

ダビング

録画モード「XP」～「EP」、「FR」でダビングします。
- 「DR」モード(ハイビジョン画質)でダビングすることはできません。

ディスクの記録方式について(➜ 右ページ)

他の機器で再生する	**再生できる機器に制限があります。** 記録したディスクのVR方式の再生に対応している必要があります。 またその機器がCPRMに対応している必要もあります。

ディスクの記録方式について

本機は、DVDへの記録方式にVR方式とビデオ方式の2種類があります。
記録方式の違いにより、記録できる放送や、他機器での再生互換が変わってきます。

VR方式（DVDビデオレコーディング規格）テレビ放送などを記録･編集するために作られた記録方式です		ビデオ方式（DVDビデオ規格）市販されているDVDビデオと同じ記録方式です
デジタル放送 アナログ放送	記録できる放送	アナログ放送
DVD-RAM DVD-R DVD-R DL DVD-RW デジタル放送の場合は、CPRM対応のディスクのみ記録可能	対応ディスク	~~DVD-RAM~~ DVD-R DVD-R DL DVD-RW
記録したディスクのVR方式の再生に対応している必要があります。 ●デジタル放送の番組の場合、その機器がCPRMに対応している必要があります。	他のDVD機器での再生	記録後、ファイナライズ(➜98)をすれば、DVDプレーヤーなどの機器で再生できます。

■ 記録方式とフォーマット

ディスクの種類によって、本機での記録方式の設定方法が異なります。

DVD-RAM	**記録方式はVR方式のみ。** ビデオ方式にフォーマットすることはできません。
DVD-R DVD-R DL	**フォーマットするとVR方式に、フォーマットしないで記録するとビデオ方式になります。** いったん記録またはフォーマットすると、記録方式を変更することはできません。
DVD-RW	**VR方式またはビデオ方式を、フォーマットするときに選ぶことができます。** いったん記録またはフォーマットしても、再度フォーマットをすると、記録方式を変更することができます。

使えるディスク・カードについて（つづき）

記録・再生ができるディスク

ディスクの種類	ロゴ	記録方式	本書での表示	特徴：フォーマット（初期化）が必要か?	特徴：記録できるもの	特徴：繰り返し記録
内蔵HDD（ハードディスク）	－	－	HDD	－	ビデオ（通常の録画番組）、写真	○
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	VR方式	RAM	必要 ※1	ビデオ（通常の録画番組）、写真	○
DVD-R	DVD R R4.7	VR方式	-R(VR)	必要	ビデオ（通常の録画番組）	×
		ビデオ方式	-R(V) ファイナライズ前 / DVD-V ファイナライズ後	不要	ビデオ（通常の録画番組）	×
DVD-R DL（片面2層）	DVD R R DL	VR方式	-R DL(VR)	必要	ビデオ（通常の録画番組）	×
		ビデオ方式	-R DL(V) ファイナライズ前 / DVD-V ファイナライズ後	不要	ビデオ（通常の録画番組）	×
DVD-RW	DVD RW	VR方式	-RW(VR)	必要	ビデオ（通常の録画番組）	○
		ビデオ方式	-RW(V) ファイナライズ前 / DVD-V ファイナライズ後	必要	ビデオ（通常の録画番組）	○

繰り返し記録ができないディスクでは、番組を消去してもディスク残量は増えません。詳しくは、**94ページ**「消去後のディスク・SDカードの残量について」をご覧ください。

- ディスクの対応バージョンや速度については、130ページ「仕様」をご覧ください。
- ディスクに記録できる時間は、36ページ「録画の画質と時間について（録画モード）」をご覧ください。

※CPRM 対応ディスクのみ

- ディスクの使用可能領域は、表示容量より少なくなります。
- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

※ 1 市販のディスクには録画用にフォーマット済みのものがあります。その場合はフォーマットの必要はありません。
※ 2 RAM：当社製の DVD レコーダーや DVD-RAM 対応の DVD プレーヤーでは再生できます。(2007 年 2 月現在)
-R(VR)：2005 年 7 月以降に発売された当社製 DVD レコーダーでは再生できます。(2007 年 2 月現在)
※ 3 本機では放送の番組を直接録画できません。一度 HDD に録画してからダビングして記録してください。
※ 4 本機では、「外部入力（L 1）取込」のときのみ直接録画ができます。(➜80)

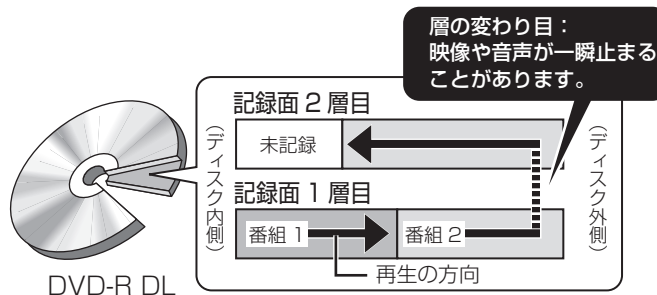
記録できる方法は?	本機でできること			互換性※2
	「1回だけ録画可能」のデジタル放送を記録	デジタル放送の画質や音声をそのまま記録	二重放送の主/副音声を両方記録	他のDVD機器で再生
録画 ダビング	録画モード DR ○	○	○	ー
	録画モード XP~EP、FR ○	×	○	ー
ダビング※3※4	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	DVD-RAM対応機器でのみ可能（ファイナライズは不要です）
ダビング※3※4	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	DVD-R（VR方式）対応機器でのみ可能（ファイナライズが必要な場合があります）
ダビング※3※4	×	×	×	ファイナライズが必要
ダビングのみ※3	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	DVD-R DL（VR方式）対応機器でのみ可能（ファイナライズが必要な場合があります）
ダビングのみ※3	×	×	×	ファイナライズ後にDVD-R DL(ビデオ方式)対応機器でのみ可能
ダビング※3※4	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	DVD-RW（VR方式）対応機器でのみ可能（ファイナライズが必要な場合があります）
ダビング※3※4	×	×	×	ファイナライズが必要

詳しくは、**35ページ**「録画の画質と時間について（録画モード）」をご覧ください。

詳しくは、**38ページ**「音声多重放送の録画について」をご覧ください。

8 cmディスクについて
本機では、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RWの8 cmディスクに記録や編集はできません。
再生やHDDまたはカセットへのダビングのみ可能です。

DVD-R DL(片面2層)ディスクを再生するとき
DVD-R DL（片面 2 層）ディスクは、右図のように記録面が片面に 2層あります。1層目に収まりきらなかった番組は、引き続き2層目に記録され、2つの層にまたがって記録されます。**(➜右図「番組 2」)**このような番組を再生する場合、層の切り換えは本機が自動的に行いますので、通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。

大事なお知らせ

使えるディスク・カードについて（つづき）

再生のみできるディスク

ディスクの種類 本書での表示	ロゴ	特徴
DVDビデオ DVD-V		**映画や音楽など、高画質の市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。 「2」（または「2」を含むもの）、「ALL」が表示されたもの 例） • 番号は国により違います。
CD CD		●**音楽や音声が記録された市販ソフト**（CD-DA形式で記録したCD-RやCD-RWを含む※） ●**写真（JPEG）が記録されたCD-RやCD-RW**※
+R DVD-V	–	**他のDVDレコーダーで録画された+R**※ ●録画した機器でファイナライズ（➜125）を行ったディスクのみ再生できます。
+R DL（片面2層） DVD-V	–	**他のDVDレコーダーで録画された+R DL（片面2層）**※ ●録画した機器でファイナライズ（➜125）を行ったディスクのみ再生できます。
+RW DVD-V	–	**他のDVDレコーダーで録画された+RW**※ ●録画した機器でファイナライズ（➜125）を行ったディスクのみ再生できます。

※記録状態によって再生できない場合があります。
●ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
●CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作および音質の保証はできません。

本機で使えないディスク

●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM（12 cm）
●3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズ（➜125）されていないDVD-R（ビデオ方式）、DVD-R DL（ビデオ方式）、DVD-RW（ビデオ方式）
●PAL方式で記録されたディスク
●AVCHD で記録されたディスク
●リージョン番号**「2」「ALL」以外**のDVDビデオ
●DVDオーディオ
●ビデオCD
●ブルーレイディスク
●HD DVD ●DVD-ROM ●+R（8 cm） ●CD-ROM ●CDV
●CD-G ●Photo-CD ●CVD ●SVCD ●SACD
●MV-Disc ●PD　など

本機では DVD オーディオやビデオ CD の再生はできません。CD-R や CD-RW に入った MP3 の再生もできません。

本機で使えるカード

カードの種類 本書での表示	特 徴
SDメモリーカード **SDHCメモリーカード** **miniSDカード**※ **microSDカード**※ SD	●デジタルカメラなどで撮影した写真の再生(➜83)やダビング(➜90)ができます。 ●当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画を HDD や DVD-RAM、DVD-R(ＶＲ 方式)、DVD-R DL(ＶＲ 方式)、DVD-RW(ＶＲ 方式)にダビングできます。(➜76) ・MPEG2 動画を SD カードから直接再生することはできません。 ・AVCHD の動画は再生やダビングできません。

■**カードを廃棄/譲渡するときのお願い**

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。

カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

使用可能なSDカードについて

本機では以下のSDカードが使用できます。

- SDメモリーカード(8 MB～2 GB)
- SDHCメモリーカード(4 GB)
- miniSDカード※
- microSDカード※

本書では上記カードのことを「SDカード」と記載しています。

●4 GB以上のメモリーカードは、SDHCメモリーカードのみ使用できます。

●SDHCロゴのない4 GB(以上)のメモリーカードは、SD規格に準拠していません。

●使用可能領域は、表示容量より少なくなります。

●**最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
http://panasonic.jp/support/dvd/

●SDカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
このようなときは本機でフォーマットしてください。(➜97)

●本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。

●本機で記録したSDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。

※miniSDカード、microSDカードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。

本機で再生できる写真(JPEG)について

写真 JPEG※1	再生可能ディスク・カード	HDD RAM CD SD
	ファイル形式	JPEG ●ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
	画素数	34 × 34 ～ 5120 × 3840 (サブサンプリングは、4 : 2 : 2または4 : 2 : 0)
	フォルダ数※2	CD ディスク上にルートを含む最大99フォルダ HDD RAM SD 上位フォルダを含む最大300フォルダ
	ファイル数※2	CD ディスク上の最大999ファイル HDD RAM SD 最大3000ファイル
	Motion JPEG	対応していません

※1 表示する動作に時間がかかることがあります。
※2 最大フォルダ数や最大ファイル数を超えると、一部のフォルダやファイルが表示されなくなる場合があります。

CD

●ISO9660 level 1とlevel 2(拡張フォーマットは除く)、Jolietのフォーマットが使用できます。

●マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いとディスクの読み込みや再生開始に時間がかかることがあります。

●ファイル数やフォルダ数が多い場合、動作に時間がかかったり、対応できないことがあります。

●表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。

●本機画面とパソコン画面では表示が異なることがあります。

●ディスクの作りかた(書き込みソフト)によっては、再生順が変わることがあります。

●パケットライト方式には対応していません。

●記録状態によっては再生できないものがあります。

HDD RAM SD

●DCF準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。
DCF:Design rule for Camera File system [電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

RAM CD SD
写真(JPEG)のフォルダ構成については(➜126)

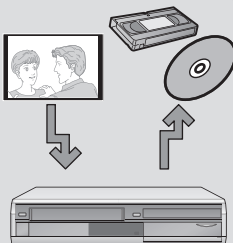
HDD（ハードディスク）の取り扱い

HDDは記録密度が高く、長時間記録や高速頭出しができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。
取り扱いにお気をつけください。

HDD は振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。
特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。
また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

HDD は一時的な保管場所です

HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。※

※ハイビジョン画質で録画したデジタル放送の番組を、そのままの画質や音質でダビングすることはできません。

HDD に異常を感じた場合はすぐにダビング（バックアップ）を…

HDD内に不具合個所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。
このような現象が確認された場合は、すみやかに DVD ディスクあるいはカセットにダビングし、修理をご依頼ください。

- HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

本機からHDDの動作音が聞こえます。故障かな？

故障ではありません。
本機では、HDD の品質維持のため、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

- HDD が休止状態になるとき
- 電源切 / 入時
- 番組表（G ガイド）データを受信中
- 予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）に、本機全体を自動的に再起動しているとき
- **初期設定**「ビエラリンク録画待機」（**➜108**）が「入」のとき

HDDは自動的に休止状態になります。

通電中、HDD は高速で回転しています。省電力のため、ディスクやカセットが入っていない状態で約 30 分以上操作しないと HDD の回転を止め、休止します。HDD を休止状態にするために、お使いにならないときは、ディスクやカセットを取り出しておくことをおすすめします。
・**初期設定**「ビエラリンク録画待機」（**➜108**）が「入」の場合、休止状態になりません。

- 起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。
[**初期設定**「クイックスタート」（**➜104**）が「入」になっていても同様です]

重要なお願い

設置するとき

- 背面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがない
- 水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する
- ビデオなどの熱源となるものの上に置かない

- 温度変化が起こりやすい場所に設置しない
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する
（「つゆつき」について**➜14**）

たばこの煙など

たばこの煙、くん煙殺虫剤（煙をたくタイプの殺虫剤）などが機器内部に入ると故障の原因になります。

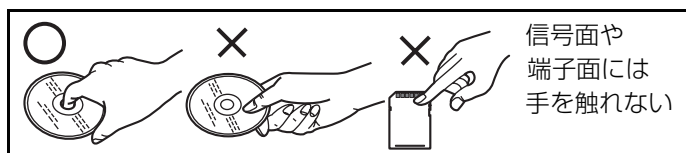
移動するとき

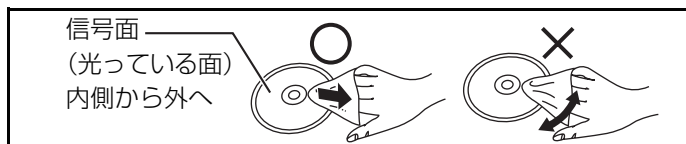
① 電源を切る（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDDの回転が完全に止まってから（2分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています）

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ディスク・カードの取り扱い

使用上のお願い

■持ちかた

■汚れたときや、つゆが付いたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

■カートリッジ付きDVD-RAMの取り扱いについて

ディスクを損傷から保護し、性能を維持するため、シャッターを無理に開けないでください。

取り扱い上のお願い

ディスク、カードの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルをはらない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
- ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。
  ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- ディスクを落としたり、重ねたり、物を載せたり、衝撃を与えたりしない。
- 以下のディスクを使わない。
  ・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
  ・そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  ・ハート型など、特殊な形のディスク

- 次のような場所に置かない。
  ・直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  ・湿気やほこりの多いところ
  ・温度差の激しいところ（結露が発生します）
  ・静電気や電磁波の発生するところ
- 使用後はケースまたはカートリッジに収める。

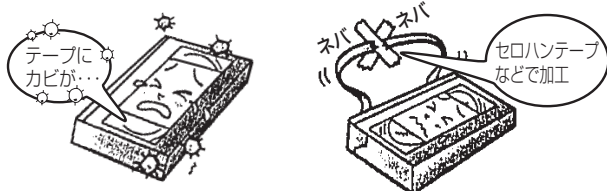
カセットについて

本機では、カセットに直接録画できません。
一度HDDに録画してからダビングして記録してください。

使用上のお願い

■品質のよいカセットを使う

お使いになる前に、必ずカセット（テープ）の品質を確かめる

- 品質の悪いカセット（テープ）を使うと、きれいに記録・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。
- 品質の悪いカセット（テープ）の例
  ・水などの液体やほこり、カビなどが付いている
  ・テープが波打ったりクシャクシャになっている
  ・テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
  ・テープがたるんでいる

- このようなカセット（テープ）を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色（ブルーバック）になったりします。
- このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー（別売）（**➜準備編裏表紙**）でビデオヘッドをクリーニングしてください。
  それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
  ビデオヘッドクリーナーの説明書もご覧ください。
- 湿式のビデオヘッドクリーナー（市販品）は使わないでください。（故障の原因になります）

取り扱い上のお願い

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

- このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

- 新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

- このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない

・ほこりの多いところ
・高温になるところ（推奨温度：15 ℃～25 ℃）
・温度差が激しいところ
・湿度の高いところ（推奨湿度：40 %～60 %）
・湯気や油煙の出るところ
・冷暖房機器に近いところ
・自動車のダッシュボードの中

強い磁気を持ったもの（スピーカーなど）を近づけない

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な記録内容が消えてしまったりすることがあります。

使用上のお願い

本機は、周囲(温度、湿度、ほこりなど)の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。
きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

使用するとき

ディスクトレイにディスク以外のものを置かない

カセット挿入口にカセット以外のものを入れない

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

●本体が変形したり、塗装がはげる恐れがあります。

録画・再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近づけない

●映像・音声に悪影響を与えたり、記録内容が消えたりする恐れがあります。

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集された内容(データ)の損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

(下記のような操作を行うと不具合が生じる可能性があります)

・本機で記録・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる
●上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる
●他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で動作させる

音量について

DVDの再生中に音量を上げたときは、別の入力への切り換え時などの音量に気をつける

●本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。
DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

本機を廃棄/譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、**放送設定**「個人情報リセット」を実行し、記録された情報を消去してください。(➜103)

●本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

移動・輸送するとき

落としたり、ぶつけたりしない

ディスクとカセットを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

●引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

お手入れについて

本体が汚れているとき

●電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

汚れがひどいとき

●中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
そのあと、乾いた布で仕上げてください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
●本体が変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

録画/再生用レンズが汚れたとき

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー(別売)(**➜準備編 裏表紙**)でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

「つゆつき」について

「つゆつき」とは

●冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。
このような現象を「つゆつき」といいます。
●本機やカセットに「つゆつき」が起こると、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。
●暖かい状態のHDDが冷たい空気に触れると、HDD内部に「つゆつき」が発生し、ヘッドなどを傷つける可能性があります。
●「つゆつき」が起こりやすいとき
・梅雨の時期
・本機やカセットを暖かいところから寒いところへ急に移動させたとき、またはその逆
・寒い部屋を急に暖房で暖めるなど、急激な冷暖房をしたとき
・本機やカセットに冷房の風が直接あたっていたとき
・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
●「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2～3時間程度)、**電源を切ったまま放置してください。**

本機が操作を受けつけなくなったとき

各種安全装置が働いていることがあります。

① **本体の[電源 ⏻/I]を押し、電源を切る**
●電源が切れない場合は、約10秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)

② **本体の[電源 ⏻/I]を押し、電源を入れる**

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

受信できるテレビ放送について

B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。

放送の種類 本書での表示	特徴	本機で利用できるサービス（用語については➜125）
地上デジタル 地上デジタル	UHF帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。 高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。（2007年2月現在） **本機では、ワンセグ放送（携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送）は受信できません。**	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
BSデジタル BS デジタル	放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。 ●BS日テレ、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。 ●WOWOWなどの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。 ●本機では、BSアナログ放送はご覧いただけませんが、より多くのチャンネルをご覧いただけるBSデジタル放送をお楽しみいただけます。	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
110度CS デジタル CS デジタル	通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。 ●110度CSデジタル放送の放送事業者「e2 by スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。 「e2 by スカパー！」には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあります。 **お問い合わせ先** 「e2 by スカパー！」カスタマーセンター **0570-08-1212**（ナビダイヤル）（携帯電話・PHSの方は、**045-276-7777**） 受付時間　10:00～20:00（年中無休） 「e2 by スカパー！」公式ホームページ　**http://www.e2sptv.jp/**	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
地上アナログ 地上アナログ	従来からのVHF/UHF放送のことです。（2007年2月現在） 地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。地上アナログ放送終了後は、地上アナログ放送に関する機能は、お使いいただけません。 本機では、地上アナログ放送の電波のすきまで送られてくる文字放送（字幕）は、ご覧いただけません。	テレビ番組ガイド（EPG） ●BSデジタル放送受信の環境が必要です。（➜**準備編 30**）

BSアナログ放送のWOWOWはBSデジタル放送のチャンネルの一部として、「スカパー！」は「e2 by スカパー！」として110度CS デジタル放送で、お楽しみいただけます。すでにご契約されていた場合は、再契約が必要になり、専用デコーダーなどは不要になります。（放送内容は異なりますので、再契約をされる場合は内容をご確認ください）

デジタル放送には、3種類の放送があります。

■テレビ放送

従来からのテレビ放送です。

■ラジオ放送　本機では記録できません

音楽など音声を主とした放送です。

■データ放送　本機では記録できません

テレビ放送が表示されることもあります

お住まいの地域の生活情報やクイズなどの放送です。（天気予報やニュースなど）

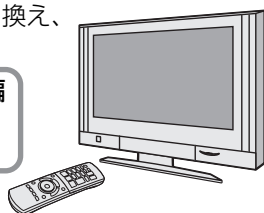
ラジオ放送は、現在実施されていません。（2007年2月現在）

各部のはたらき

リモコン（本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています）

本機のリモコンでテレビの操作をする

テレビの電源の入/切やチャンネルの切り換え、
音量の調節、入力切換ができます。

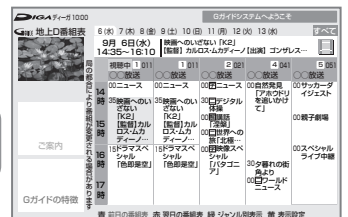
操作できない場合は、準備編
34 ページでリモコンの
設定を変更してください。

操作ガイドを表示する(➜20)

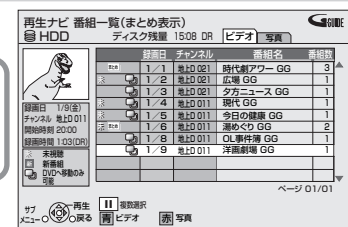
テレビ画面で本機の基本的な操作
のほか、困ったときの解決法を
見ることができます。

使いかたに迷ったときに
見ると便利ね！

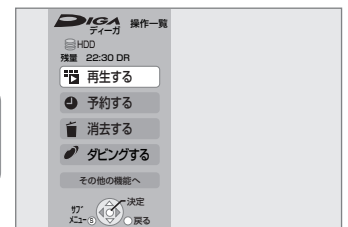
番組表（Gガイド）を表示する(➜30)

番組表から見たい番組や録画予約
したい番組を選ぶことができます。

番組表から選ぶだけ
なのでカンタンね！

再生ナビ/ディスクメニューを表示する(➜52) HDD DVD SD

再生ナビ画面から、
見たい番組などを
探すことができます。

操作一覧を表示する(➜21)

操作一覧画面から本機の各機能の
操作を行うことができます。

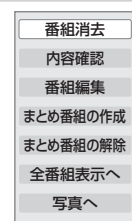
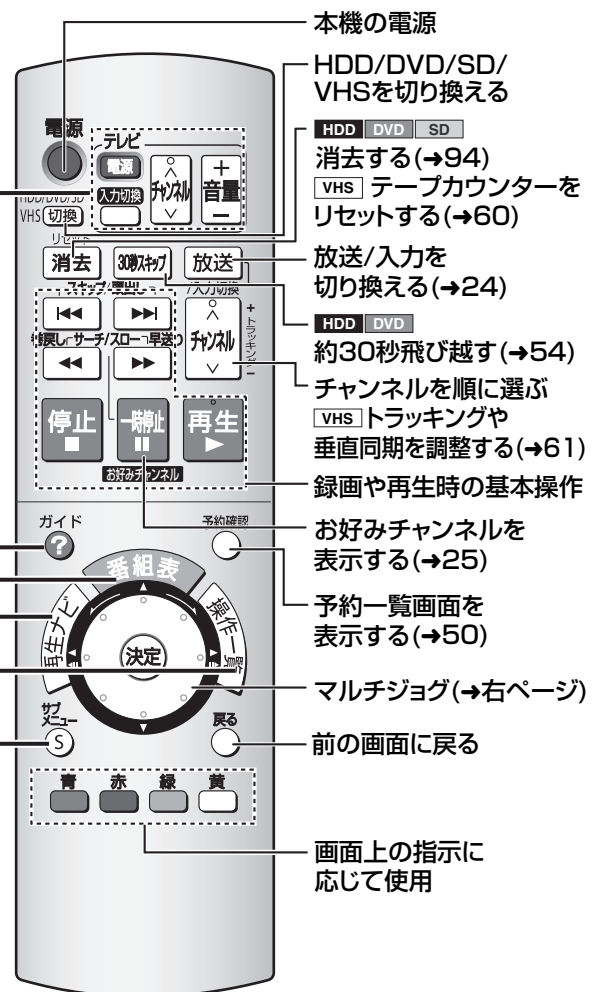
「その他の機能へ」を
選ぶと、その他の操作
一覧を表示します。

サブ メニューを表示する

現在表示している画面での便利
機能を表示します。

例えば
再生ナビ画面
表示中だと

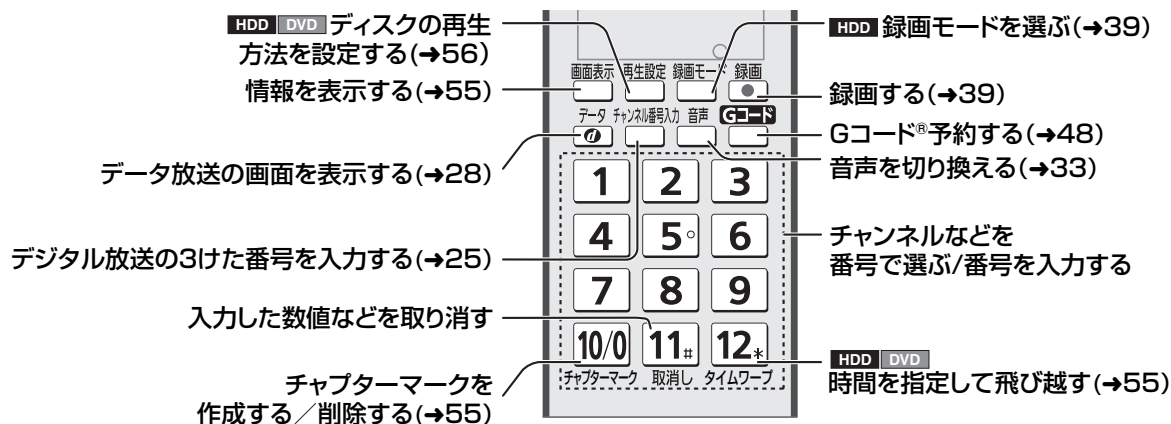
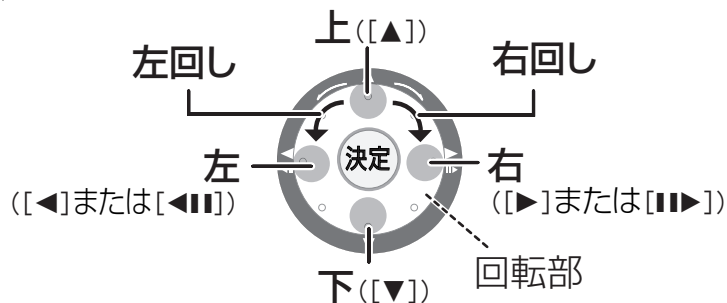
が表示されて
編集などを行う
ことができます。

ふたを開けると

- 本機の電源
- HDD/DVD/SD/VHSを切り換える
- HDD DVD SD 消去する(➜94)
  VHS テープカウンターをリセットする(➜60)
- 放送/入力を切り換える(➜24)
- HDD DVD 約30秒飛び越す(➜54)
- チャンネルを順に選ぶ
  VHS トラッキングや垂直同期を調整する(➜61)
- 録画や再生時の基本操作
- お好みチャンネルを表示する(➜25)
- 予約一覧画面を表示する(➜50)
- マルチジョグ(➜右ページ)
- 前の画面に戻る
- 画面上の指示に応じて使用

市販のDVDビデオで使用するボタンについて

「リターン」は[**戻る**]、
「トップメニュー」は[**再生ナビ**]、
「メニュー」は[**サブ メニュー**]
ボタンで操作します。
（詳しくはディスクの説明書をご覧ください）

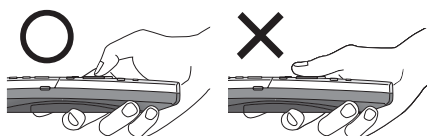
お知らせ

- 本書では、ボタン名を[**再生▶**]などで示し、「ボタン」を省略しています。

マルチジョグのはたらき

- **コマ送り / コマ戻し：** (一時停止中)**右** ([II▶]) **または左** ([◀II]) **を押す**
  [VHS はコマ送り([II▶])のみ]
- **早送り / 早戻し：**(再生中)**右(送り)または左(戻し)に回す**※1
- **スロー再生：**(一時停止中)**右(送り)または左(戻し)に回す**※2

※1 1クリック回すごとに速度が速くなります。反対方向に回すと、再生に戻ります。
※2 1クリック回すごとに速度が速くなります。反対方向に回すと、一時停止に戻ります。

お願い

誤操作を避けるために以下のことにお気をつけください。

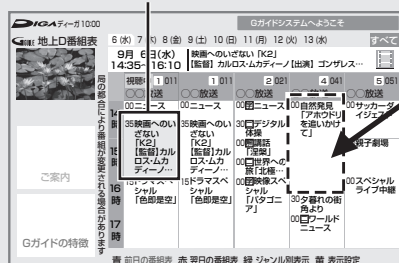
- マルチジョグを回すときはあまり強く押さないでください。
- 決定を押すときは周囲の回転部をいっしょに押さないように指を立てて、軽く押してください。(➜下図)

画面上での選択と決定について

選択方法は

上下左右([▲][▼][◀][▶])を押して選ぶ
(左右に回して選ぶこともできます)

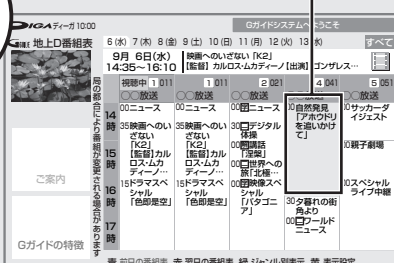
【例えば】

今選ばれている番組が黄色になっています。

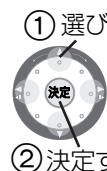
この番組を選びたい場合は

上下左右([▲][▼][◀][▶])を押して選びたい番組が黄色になるようにします。

決定方法は

決定 を押す
選ばれた項目が実行されます。

黄色になっている状態で…

決定 を押します

本書内で下記の記載があるときは左記の操作を行ってください。

または

または

[▲][▼][◀][▶]で「○○○○」を選び、決定 を押す

各部のはたらき（つづき）

本体（本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています）

停止する

録画する/録画終了時間を指定する

再生する

カセットを取り出す

カセットを入れる

ディスクトレイを開閉する

ディスクトレイ

取出し

開/閉

電源 ⏻/I

チャンネル

録画

停止

再生

▼B-CASカード

※

SDカードを入れる
(➜右ページ)

B-CASカードを
入れる(➜準備編17)

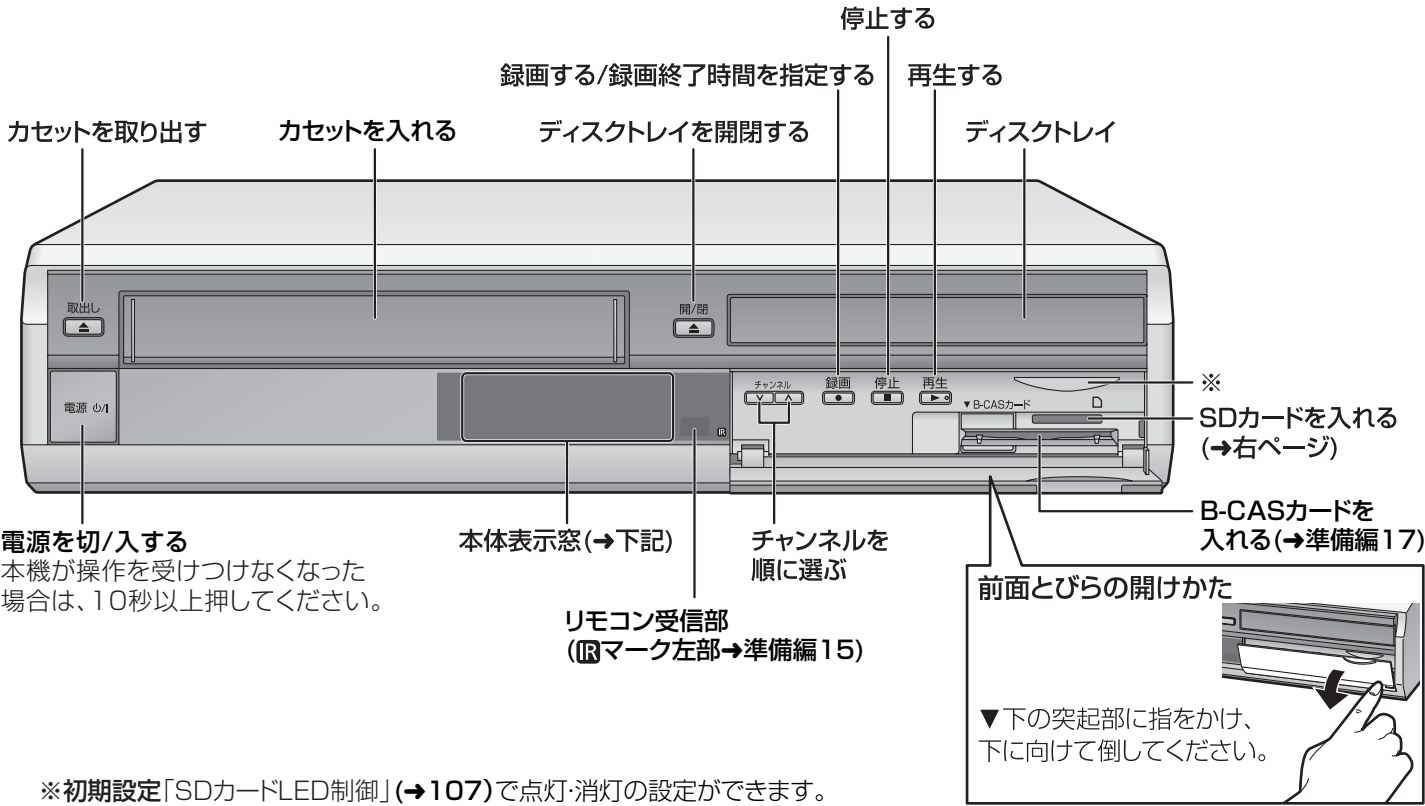
電源を切/入する
本機が操作を受けつけなくなった
場合は、10秒以上押してください。

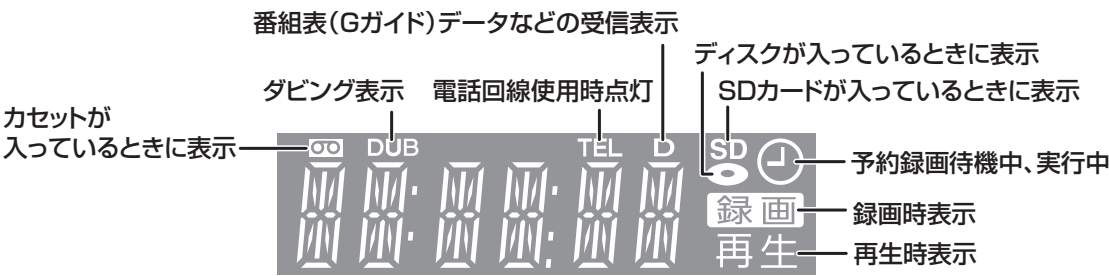
本体表示窓(➜下記)

チャンネルを
順に選ぶ

リモコン受信部
(IRマーク左部➜準備編15)

前面とびらの開けかた

▼下の突起部に指をかけ、
下に向けて倒してください。

※**初期設定**「SDカードLED制御」(➜107)で点灯･消灯の設定ができます。

本体表示窓

ディスク・カセット・SDカードを入れる

自動ドライブ選択機能

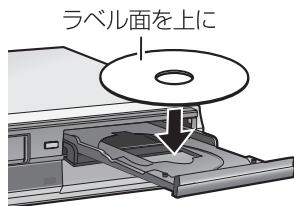
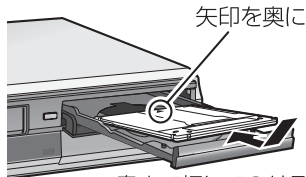
- RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) SD
  停止中、ディスクを入れる、またはSDカードを入れると、「ディスクの操作」または「SDカードの操作」画面が表示されます。
  そのとき項目を選び［決定］を押すと、DVDまたはSDドライブに切り換わります。（詳しくは➜113）
  ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉める、またはSDカードを取り出すと、自動的にHDDドライブが選ばれます。
- DVD-V CD
  停止中、ディスクを入れると、自動的にDVDドライブに切り換わります。
  ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めると、自動的にHDDドライブが選ばれます。
- VHS 停止中またはHDD録画中、カセットを入れると、自動的にVHSドライブに切り換わります。
  カセットを取り出すと、自動的にHDDドライブが選ばれます。

ディスクを入れる

本体の 開/閉 ⏏ を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度［開/閉⏏］を押すと、トレイが閉まります。
- 電源が切れていても取り出せます。ただし、ディスクを取り出した場合は電源「入」になります。

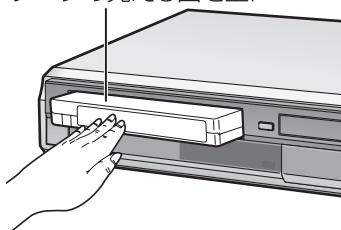
カートリッジなし

カートリッジあり

お知らせ

- 8 cmのDVD-RAMやDVD-Rの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクをトレイにのせてください。
- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側のラベル面を上にして入れてください。両面にまたがって記録または再生することはできません。もう一方の面を使用するときは、いったんディスクを取り出し、裏返してください。

カセットを入れる

テープが見える面を上にして、ゆっくり入れる

- 自動的に電源が入ります。

カセットを取り出すには

【本体】 取出し ⏏ を押す

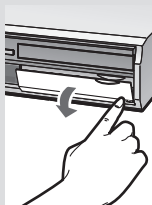
【リモコン】 電源「入」状態で「VHS」選択中、
停止 ■ を約3秒以上押す

- VHSのダビング中などは働きません。

SDカードを入れる

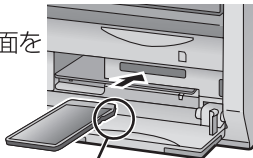
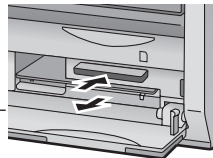
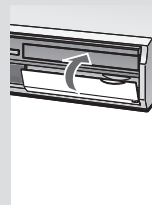
本体表示窓の“SD”（➜左ページ）点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。このとき、電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

- miniSDカードや microSD カードは、必ず専用のアダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例）
❶本体前面のとびらを開ける

❷ 入れかた カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む

ラベル面を上に

角がカットされた側を右に

出しかた カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

- カードを出し入れしたあとは、必ず本体前面のとびらを閉じてください。

❸本体前面のとびらを閉じる

操作ガイドについて

本機のHDDでの基本的な操作のほか、困ったときの解決法をテレビ画面でご覧になれます。録画や再生中に見ることはできません。

1 停止中に、ガイド を押す

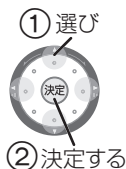
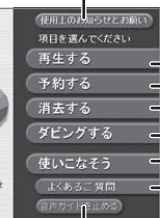
2 知りたい項目を選び、決定 を押す

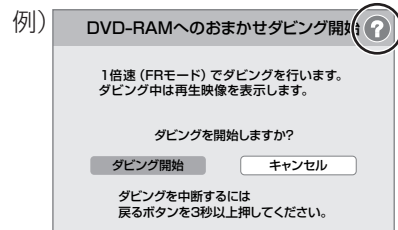
●この操作を繰り返して、知りたい情報を選んでください。

前の画面に戻るには

 を押す

画面を消すには

 を押す

下記のような ? マークが付いた画面が表示されたとき

例)

ガイド を押すと、操作に対する補足説明を表示します。

操作一覧画面について

操作一覧画面から本機の各機能の操作を行うことができます。

 前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

1 停止中に、操作一覧 を押す

- 操作一覧画面が表示されます。
- **選択中のドライブやディスクの種類によって、選択できる項目は異なります。**

例) HDD

✉ が表示されたときは
(➜100「放送メール」)へ
(➜52「再生ナビから再生する」)※1
(➜46「番組表(Gガイド)を使って予約録画する」)
(➜94「消去ナビを使って消去する」)
(➜72「おまかせダビング」)
(➜ 下記の画面が表示されます)

- 番組表の検索 ―(➜32「番組表(G ガイド)の検索機能を使う」)
- 予約確認 ―(➜50「予約内容を確認する」)
- 新番組おまかせ録画 ―(➜44「新番組おまかせ録画」)
- 詳細ダビング ―(➜74、78、90「詳細ダビング」)
- ぴったり録画 ―(➜42「ディスク容量にぴったり合うように録画する」)※2
- ―※ 3
- 放送設定 ―(➜101「放送設定を変える(放送設定)」)
- 初期設定 ―(➜104「本機の設定を変える(初期設定)」)
- メール/情報 ―(➜100「いろいろな情報を見る(メール/情報)」)
- HDD管理 ―(➜96「フォーマット/ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去」)※4

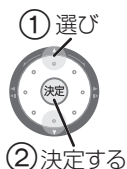
※1 DVD-V 「トップメニュー」や「メニュー」が表示されます。
VHS カセットを再生します。(一覧は表示されません)(➜58)

※2 RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) 「プレイリスト」が表示されます。(➜57)
-R(V) -RW(V) 「外部入力(L1)取込」が表示されます。(➜80)
SD 「写真おまかせ取込」が表示されます。(➜89)
VHS 何も表示されません。

※3 RAM -R(VR) -RW(VR) 「外部入力(L1)取込」が表示されます。(➜80)
VHS 何も表示されません。

※4 ディスクのときは「DVD管理」、SDのときは「カード管理」が表示されます。(➜96)
VHS 何も表示されません。

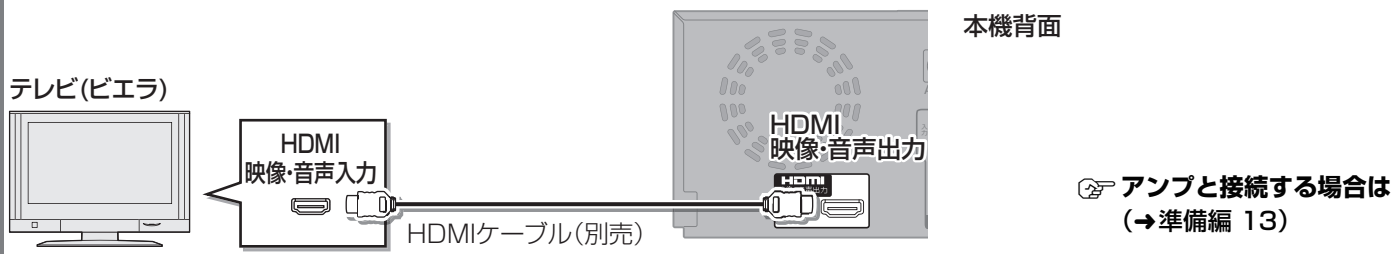
2 操作したい項目を選び、決定 を押す

①選び
②決定する

ビエラリンクを使う

ビエラリンク(HDAVI Control™)とは
- 本機と HDMI ケーブル(別売品)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
  ※すべての操作ができるものではありません。
- ビエラリンクは、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- 本機は、ビエラリンク Ver.2 に対応しています。
  ビエラリンク Ver.2 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2007 年 2 月現在)

接続

本機とビエラリンクに対応した当社製テレビ(ビエラ)をHDMIケーブルで接続する(➜準備編 10)
- 当社製HDMIケーブルを推奨します。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
  品番:RP-CDHG10(1.0 m)、RP-CDHG15(1.5 m)、RP-CDHG20(2.0 m)、RP-CDHG30(3.0 m)など

アンプと接続する場合は(➜準備編 13)

設定

① **初期設定「ビエラリンク制御」(➜108)を「入」にする**(お買い上げ時の設定は「入」です)
② **接続した機器側(テレビなど)で、ビエラリンクが働くように設定する**
③ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

- **初期設定**「クイックスタート」(**➜104**)を「入」にすると、本機の電源「入」に伴う連動操作をすばやく行うことができます。
- **初期設定**「ビエラリンク録画待機」(**➜108**)を「入」にすると、テレビ(ビエラ)からの録画を数秒で開始できます。

ビエラリンク Q & A

Q(質問)		A(回答)
お使いのテレビやアンプがビエラリンク対応かわからないときは?		接続した当社製機器にビエラリンクのロゴマーク(**➜下記**)が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。 VIERA Link
ビエラリンクVer.2 でできる機能は?		●ビエラリンク Ver.2 に対応したテレビ(ビエラ)と接続している場合は、以下の操作を行うことができます。 ・かんたん設置設定時に、テレビの設置情報を自動的に取得する。(**➜準備編 22**) ・CD 音楽再生中に、テレビの電源「切」に連動せず、テレビの電源のみを切って音楽の再生を続ける。(ビエラリンク対応のアンプと接続時)(**➜ 右ページ**)
テレビ(ビエラ)側から録画(「見ている番組を録画」など)や録画予約をしたとき		
	録画の設定はどうなりますか?	●テレビ(ビエラ)側からの録画(「見ている番組を録画」など)の場合 ・本機であらかじめ設定された録画モードでHDDに録画します。 ●テレビ(ビエラ)側からの録画予約の場合 ・デジタル放送を録画するときは、HDDに録画モード「DR」で録画します。 ・アナログ放送を録画するときは、HDDに録画モード「SP」で録画します。
	録画予約が登録できたか確認するには?	●本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に "ACCEPT" が表示されます。 ●予約内容を確認するには、本機の予約一覧画面で確認してください。
	録画ができないときは?	●本機に契約されたB-CASカードが挿入されているか確認してください。
ビエラリンクが働かなくなった場合は?		●設定を確かめてください。 (**➜122「ビエラリンクが働かない」**)

自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える ●テレビの電源が待機状態のときのみ	下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。 **本機電源入時**：[再生▶] [予約確認] [番組表] [再生ナビ] [Gコード] [操作一覧] [ガイド] **本機電源切時**：[再生▶] [予約確認] [番組表] [再生ナビ] [Gコード]
自動的に本機の電源を切る	リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。 (ダビング中、ファイナライズ中、消去中、**[録画●]**を押して録画中などの操作中は切れません) ●ビエラリンクに対応したアンプとHDMIケーブルで接続している場合は、アンプの電源も切れます。
テレビのリモコンで本機を操作する	テレビの操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。 **1 テレビのリモコンを使って、ディーガの「操作一覧」を表示させる** ●お使いのテレビによって、ディーガの**「操作一覧」**を表示させる方法は異なります。 例) ビエラ を押す → 「ディーガの操作一覧」を選び、決定する テレビによって画面は異なります。 ●本機の電源が「切」のときは、自動的に電源が入ります。 **操作一覧画面について(➔21)** **2 テレビのリモコンで操作したい項目を選び、[決定]を押す**
再生中の番組などを操作する	テレビのリモコンで早送り・早戻し(サーチ)、停止などの操作ができます。(再生操作パネル表示中のみ) ① **番組または写真を再生中に、[サブ メニュー]を押す** ② **「再生操作パネル」が選ばれている状態で、[決定]を押す** ●再生操作パネルが表示されます。 (番組再生時) **[▲]:一時停止　[▼]:停止　[◀]:早戻し　[▶]:早送り　[決定]:再生　[戻る]:操作パネルを消す** (写真再生時) **[▼]:停止　[◀]:前の写真を見る　[▶]:次の写真を見る　[戻る]:操作パネルを消す** 例)番組再生時 **CD 音楽再生時は** 音楽を再生している場合は、画面表示に従って操作してください。(再生操作パネルは表示されません) 音楽の再生を止めたいときは、**[戻る]**を数回押してください。テレビのリモコンにディーガの**停止ボタン**がある場合は、ディーガに向けて**停止ボタン**を押しても再生を止めることができます。
テレビの電源を切って音楽の再生を続ける CD	(ビエラリンクVer.2対応のビエラおよびビエラリンク対応のアンプと接続しているときのみ) **1 音楽再生中に、[サブメニュー Ⓢ]を押す** **2 [▲][▼]で「TV のみ電源 OFF」を選び、[決定]を押す** ●テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。 ●テレビから音声を出力しているときに、この操作を行うと、音が出なくなる場合があります。その場合は、アンプ側から音声が出るようにしてから操作してください。

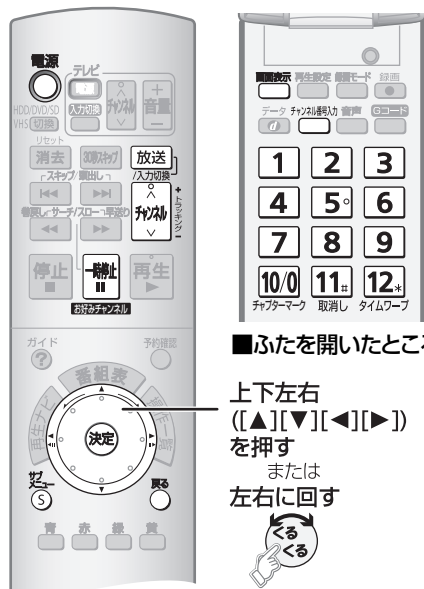
テレビのリモコンで操作できるボタンは？
[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]と**色ボタン**で本機の操作ができます。
数字ボタンなどの上記以外のボタンを使って操作するときは、本機のリモコンを使用して操作してください。

その他の機能については、接続した機器(テレビなど)の取扱説明書をご覧ください。

ビエラリンクを使わない場合は
初期設定「ビエラリンク制御」(**➔108**)を「切」にする

テレビ放送を見る

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ１など）

■ふたを開いたところ

上下左右（[▲][▼][◀][▶]）を押す
または
左右に回す

1 電源 を押して、本機の電源を入れる

2 [放送/入力切換]を押して、放送を選ぶ

●押すごとに、放送が切り換わります。（[▲][▼]では選べません）

- 地上D — 地上デジタル放送
- BS — BS デジタル放送
- CS1、CS2 — CS デジタル放送
- 地上A — 地上アナログ放送
- L1 — 外部入力(➜80、82)

●表示が消えると、選ばれた放送に切り換わります。
（[決定] を押すと、早く切り換えることができます）

●「かんたん設置設定」の「地上デジタル放送チャンネルの設定」(➜準備編 21)を「いいえ」にした場合、「地上D」は選べません。

☞ **受信しない放送をとばして切り換えるには**

放送設定「スキップ設定」で「スキップする」を選ぶ(➜101)

●地上デジタル放送は設定できません。

3 チャンネルを選ぶ

●右ページの中から、選局方法を選んで行ってください。

本体表示窓でのチャンネル表示について

本体表示窓では、現在選んでいるチャンネルが下記のように表示されます。

地上デジタル放送
例）011

地上アナログ放送
例）1

BSデジタル放送
例）101

外部入力

CS1
例）001

CS2
例）100

お知らせ

●録画中に放送 / 入力やチャンネルを切り換えることはできません。

BS デジタル **CS デジタル**

●雨や雷、雪などの天候のときは、一時的に映像や音声が止まったり、受信できなくなることがあります。天候の回復をお待ちください。

☞ **前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞ **暗証番号の入力画面が表示されたら**
(➜103)

☞ **番組購入の画面が表示されたら**
(➜28)

地上デジタル放送について

●**3けたチャンネル番号**

デジタル技術により、1つの物理チャンネルの中に、複数のチャンネルをのせることができます。例えば、○○放送は、物理チャンネルの25chを使って、「101」〜「103」の3つの放送を提供します。この「101」、「102」、「103」を3けたチャンネル番号と呼びます。この内、下位1けたが「1」の放送が、その放送局の代表チャンネルと呼ばれます。（この場合「101」）
代表チャンネル以外の選局は、[チャンネル∧,∨]や3けた番号入力により、選局できます。(➜右ページ)

●**リモコンのチャンネルボタン**

テレビ放送の場合、3けたチャンネル番号の上位2けた（上記の場合は「10」）は、リモコンの同じ番号のボタンに割り当てられます。（本機は基本的に自動でこの割り当てを行います）
すなわち、この場合であれば[10/0]を押すと、3けたチャンネル番号の「101」（その放送局の代表チャンネル）が選局されるように設定されます。この割り当てはお住まいの地域により異なります。(➜準備編 48)

テレビ放送の選局方法

数字ボタンで選局する (地上アナログ)(地上デジタル) (BS デジタル)(CS デジタル)	**[1]～[12] (タイムワープ) を押して、チャンネルを選ぶ** ☞ **リモコンのボタンに割り当てられた放送局(➜102)** ☞ **それぞれのボタンで選べる放送局を変更するには(➜準備編 40, 準備編 42, 準備編 44)**
番組表から選局する (地上アナログ)(地上デジタル) (BS デジタル)(CS デジタル)	[➜30「番組表(Gガイド)から見る」]
お好みチャンネルから選局する (地上デジタル)(BS デジタル) (CS デジタル)	テレビ画面に表示される放送局のリストから選局できます。 ●録画中は選局できません。 **1 テレビ画面表示中に、** **を押す** **2 [▲][▼]で放送局を選び、(決定)を押す** ☞ **お好みチャンネルで選べる放送局を登録 / 取り消すには(➜27)** 放送局のロゴは 表示されない場合もあります。
順送りで選局する (地上アナログ)(地上デジタル) (BS デジタル)(CS デジタル)	**[チャンネル ∧/∨] (+トラッキング−) を押す** ☞ **順送りで選べる放送局を変更するには** (地上アナログ)(➜準備編 40) (地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)(➜103 放送設定「選局対象」)
3けたチャンネル番号を入力して選局する (地上デジタル)(BS デジタル) (CS デジタル)	**1 [チャンネル番号入力](ふた内部)を押す** ●押すごとに選局対象の放送が切り換わります。CS1とCS2は「CS」で選んでください。 **2 [1]～[10/0] (チャプターマーク) を押して、チャンネルを入力する** 例)103の場合…[1]→[10/0]→[3] ●入力画面が表示されている間に入力してください。 ☞ **リモコンのボタンに割り当てられた放送局(➜102)**
枝番号の異なる放送を選局するには (地上デジタル)	枝番号とは、地上デジタル放送の同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に3けたチャンネル番号に追加される番号のことです。(例:「011-0」、「011-1」、「011-2」) 3けたチャンネル番号を入力して選局する(➜上記)と下記の画面でチェックマークの入った放送局が選局されます。以下の手順で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **1 地上デジタル放送受信中に、(サブメニュー S)を押す** **2 [▲][▼]で「デジタル放送メニュー」を選び、(決定)を押す** **3 [▲][▼]で「枝番選局」を選び、(決定)を押す** **4 [▲][▼]で放送局を選び、(決定)を押す** ☞ **3けたチャンネル番号入力時に選択される放送局を変更するには** 上記手順**4**で、[**決定**]を押す前に[**チャンネル番号入力**](ふた内部)を押す ●選んだ放送局にチェックマークが付き、選局時にその放送局が選ばれます。

テレビ放送を見る(つづき)

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大する

画面モード切換

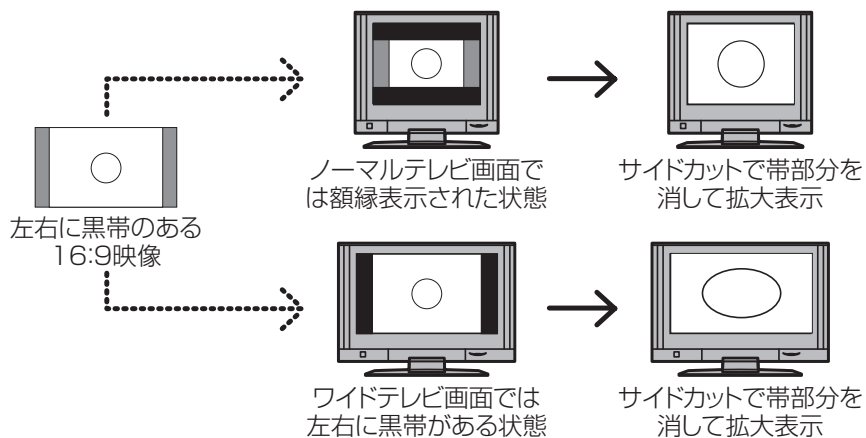
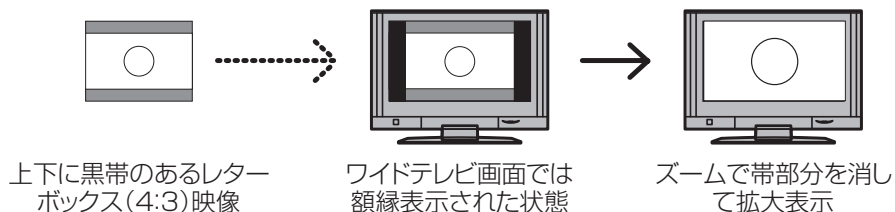
上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

1 サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で「画面モード切換」を選び、決定を押す

3 [◀][▶]で画面モード選ぶ

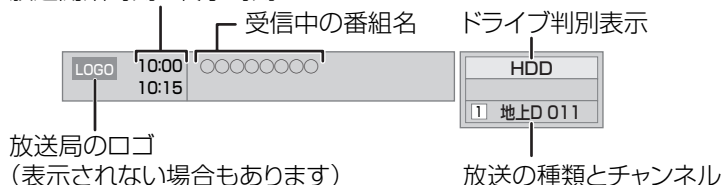
ノーマル　：通常の出力となります。

サイドカット：16：9　映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、左右の映像がカットされますので、お気をつけください。

ズーム　：4：3　映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、上下の映像がカットされますので、お気をつけください。

お知らせ

- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
  - ・他のチャンネルを選局したとき
  - ・番組の再生を始めたとき、または終了したとき
  - ・電源を切/入したとき
- DVD ビデオの映像の場合、「サイドカット」は効果がありません。
- **初期設定**「TVアスペクト」(**➜108**)を「4：3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。

見ている番組の情報を表示する(情報表示)

画面表示(ふた内部)を押す

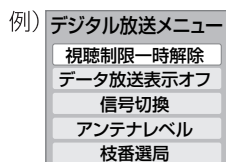
例)「HDD」選択中、地上デジタル放送を見ているとき

情報表示を消すには

[画面表示](ふた内部)を数回押す

(地上デジタル)(BSデジタル)
(CSデジタル)

番組視聴中に、

1 サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で「デジタル放送メニュー」を選び、(決定)を押す

例）
3 [▲][▼]で設定項目を選び、(決定)を押す（➜右記へ）

●視聴している番組により表示される項目が変わります。

画面を消すには

[戻る]を押す

視聴制限一時解除	暗証番号(➜103)を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
信号切換	デジタル放送の番組で、映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 信号切換 マルチビュー　主番組 映像　映像1 音声　日本語 二重音声　主 データ　データ1 字幕　オン　オフ 字幕言語　日本語　英語 **[▲][▼]で設定する項目を選び、[◀][▶]で設定する** **マルチビュー**：マルチビュー放送の番組を選択 **映像**：映像の種類を選択 **音声**：音声の種類を選択 **二重音声**：二重放送の音声を選択 **データ**：データを選択 **字幕**：字幕の表示/非表示 **字幕言語**：字幕の言語を選択 ●番組により、選べる項目が変わります。 ●マルチビュー放送では、1つの放送の中に複数の映像があります。 ●1つしかないときは切り換えできません。 ●録画モード「DR」以外で録画した場合、設定した内容(「データ」を除く)のみがそのまま録画されます。再生時にはその設定内容で再生されます。
アンテナレベル	アンテナ設置方向の最適値を確認するためのめやすです。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。
枝番選局	地上デジタル放送の枝番号を選びます。(➜25)

お好みチャンネルで選べる放送局を登録 / 取り消すには

登録する

① 登録したい放送局を受信中に、[**お好みチャンネル/一時停止▮▮**]を押す
　●「お好みチャンネル」画面が表示されます。
② [**サブ メニュー**]を押す
③ 「登録」が選ばれている状態で、[**決定**]を押す
④ 「はい」が選ばれている状態で、[**決定**]を押す
　●登録した放送局は、お好みチャンネルの一番下に登録されます。
　●お好みチャンネルは、最大 48 チャンネルまで登録できます。

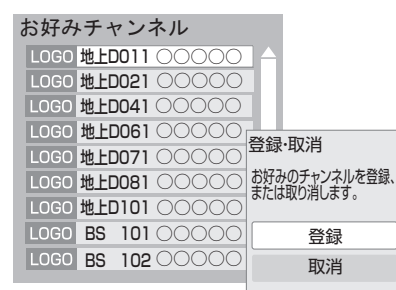
取り消す

① [**お好みチャンネル/一時停止▮▮**]を押す
　●「お好みチャンネル」画面が表示されます。
②[▲][▼] で取り消したい放送局を選び、[**サブ メニュー**]を押す
③[▲][▼] で「取消」を選び、[**決定**]を押す
④[◀] で「はい」を選び、[**決定**]を押す
　●選択した放送局は、お好みチャンネルから取り消されます。

●かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定でチャンネルスキャンを行った場合、チャンネルポジションに割り当てられた地上デジタルのチャンネルは設定した内容に変更されます。

お好みチャンネルのお買い上げ時の設定は

· **地上デジタル**：　かんたん設置設定で設定されたチャンネルポジションのチャンネル
· **BS デジタル**：　リモコンに割り当てられた放送局(BS211 と BS222 を除いた 10 局)(➜102)
· **CS1**：　ep055 チャンネルのみ
· **CS2**：　設定なし

●アンテナが接続されていないときなど、放送が受信できない場合は、放送局名や放送局のロゴは表示されません。
●お買い上げの設定直後は、放送局名や放送局のロゴは表示されない場合があります。

データ放送/有料番組（ペイ・パー・ビュー）を見る

データ放送は

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画できません。データ放送が含まれるテレビ番組の場合、録画が始まるとデータ画面が消えます。

準備

- 電話回線を接続する。(➜準備編 16)
  (データ放送の場合、サービスの種類によっては電話回線を使うときがあります)

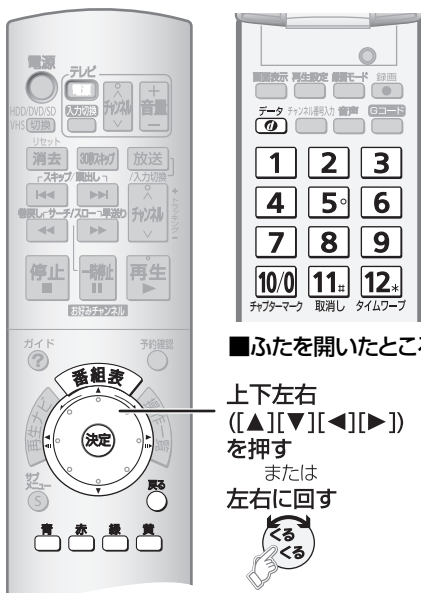
有料番組は

(BS デジタル)(CS デジタル)

衛星デジタル放送には、無料と有料のものがあります。

- 有料番組を見るには、放送会社との契約と電話回線の接続が必要です。
- ペイ・パー・ビュー(番組単位で購入)を視聴・録画するには、右記の購入操作が必要です。(2007年 2月現在、ペイ・パー・ビューの番組は放送されていません)

準備

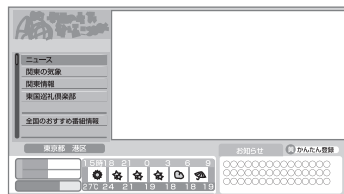
- 電話回線を接続する。(➜準備編 16)

前の画面に戻るには

 を押す

データ放送を見る

1 データ放送のある番組を選局し、[データ] (ふた内部)を押す

- 情報が多いときは、表示が出るまでに時間がかかる場合があります。

例)

2 見たい項目を選び、(決定)を押す

- 番組により、**[青]**、**[赤]**、**[緑]**、**[黄]**や**数字ボタン**を使った選択画面が表示されますので、その指示に従ってください。
- お好みページへの登録案内が出たときは、画面の指示に従ってください。

お好みページを使うには(➜100)

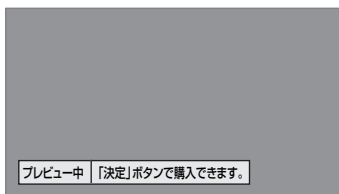
データ画面を消すには

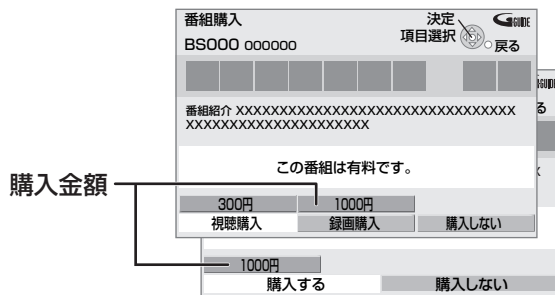
[データ] (ふた内部)を押す

- データ画面が消えない場合は、「データ放送表示オフ」を行ってください。(➜27)

有料番組を見る

1 ペイ・パー・ビューの番組を選局し、(決定)を押す

- 番組によってはプレビュー(有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービス)画面が表示されます。

2 項目を選び、(決定)を押す

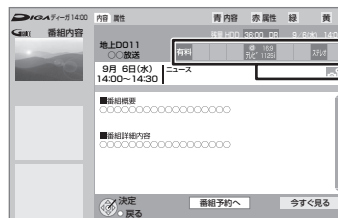
- 番組により、選べる項目が変わります。

購入する :番組を購入したことになり、視聴できます。「録画禁止」の信号のある番組は録画できません。
購入しない:番組を購入しません。
視聴購入 :料金を払うと視聴できますが、「録画禁止」の信号のある番組は録画できません。
録画購入 :料金を払うと視聴と録画ができます。

購入した有料番組の確認/送信結果を確認するには(➜100)

データ放送/有料番組の確認をする

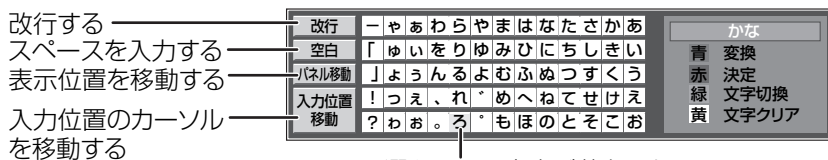
データ放送や有料番組の確認は、番組表（Gガイド）から確認することができます。

1 番組表 を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で番組を選び、決定 を押す

データ放送では
+d ラジオ　+d テレビ　d テレビ　d ラジオ
有料放送では
有料
が表示されます。（➜128）
- ●アイコンが表示されない番組もあります。

データ放送画面での文字入力

データ放送を表示中、画面に説明された操作をしたときに、下記のような文字入力画面（キーボード表示）が表示される場合があります。

例）入力モードが「かな」のとき

[▲][▼][◀][▶] で入力する文字を選び、決定 を押す

文字の種類を選ぶには

[**緑**]（文字切換）を押す
- ●押すごとに右記のように切り換わります。
- ●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。
- ●英数のみが入力できる項目のときは、「英数」に固定されます。

文字を消すには

[**黄**]（文字クリア）を押す

文字を確定するには

[**赤**]（決定）を押す

ひらがなを漢字変換するには

[**青**]（変換）を押して [▲][▼] で変換候補を選び、[**決定**] を押す

記号を入力するには

① “きごう”と入力する
② [**青**]（変換）を押す
- ●画面上のキーボードが消え、記号を表示します。
- ●他の記号に変換したいときは、[▼] を押し、候補の中から選び、[**決定**] を押します。

お知らせ

- ●電話回線での通信中は、本体表示窓に“TEL”が点灯します。このときは、電源ボタン以外が動作しなくなることがありますが、故障ではありません。また、同じ回線に接続された電話機などが使えません。“TEL”が消えるまでしばらくお待ちください。
- ●電話回線の使用時には、回線接続料がかかります。
- ●有料番組について
  - ･「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているため、本機へ録画することはできません。
  - ･購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。
  - ･ 一度視聴購入をした番組は、録画購入できません。

番組表(Gガイド)から見る

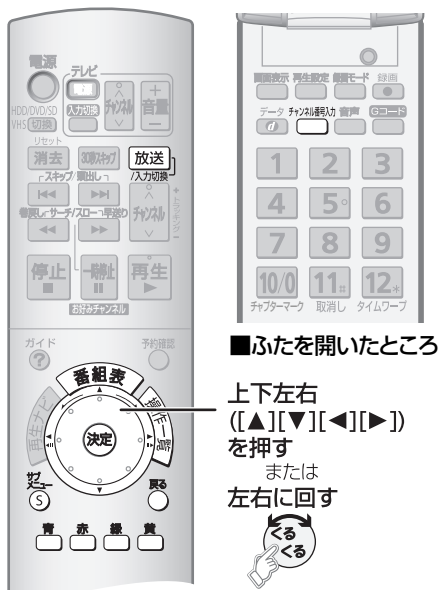
新聞のテレビ欄のような一覧表から見たい番組を選ぶことができます。
この機能を使うにはまず、**番組表(Gガイド)の受信が必要です。**

地上アナログ放送の番組表(Gガイド)を受信する場合、BSデジタル放送を受信できる衛星アンテナの接続が必要です。

準備

●番組表(Gガイド)を受信する。
(**➜**準備編 30)

■ふたを開いたところ

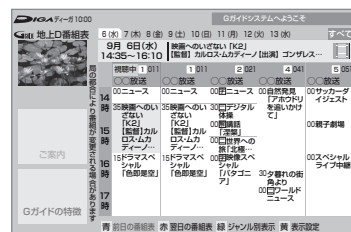
上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す

前の画面に戻るには

を押す

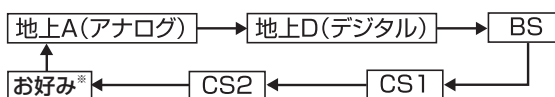
番組表(Gガイド)について

(地上アナログ)
●Gガイド地域一覧表(**➜準備編 50**)に登録されていない放送局は、放送を見ることはできても番組表(Gガイド)には表示されません。

(地上デジタル)
●番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、**[決定]** を押すと表示されます。(数分かかることもあります)
●地上デジタル放送のGガイドのロゴと広告は、BSデジタル放送が受信可能であれば表示されます。

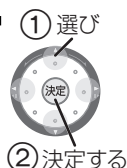
1 番組表 を押す

別の放送の番組表(Gガイド)を見たいときは

[放送/入力切換] を押す

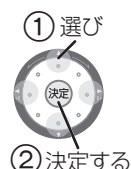
●押すごとに、下記のように番組表(Gガイド)が切り換わります。

※お好み番組表について

●「お好みチャンネル」(**➜25**)で登録されている放送局が表示されます。
●「お好みチャンネル」で同じ放送局を連続して登録していた場合、お好み番組表ではその放送局を1つにまとめて表示します。
●お好み番組表に切り換えた場合、1 つ前の番組表で視聴していた放送局が現在視聴中の番組になります。(上記の場合、CS2 の番組になります)

2 見たい番組を選び、決定 を押す

アイコン表示については(**➜128**)

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)
●**[チャンネル番号入力]** を押して、3けたのチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルを含む番組表(Gガイド)を表示します。

3 「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

①選び
②決定する

番組表(Gガイド)の見かた

現在時刻　日付
放送の種類
放送局からのお知らせ
テキスト(文字)広告
選択中の番組紹介
番組の種類
現在視聴中の放送局の映像
現在視聴中の放送局
選択中の番組
パネル広告を選ぶと、詳細を表示します。選んだときに番組情報があると、予約設定できます。
放送から送られてくる情報によって番組のジャンルをアイコンで表示
放送局の3けたチャンネル番号
リモコンのチャンネルボタン番号
放送局名
短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。
リモコンのボタンの働き
(別の日の番組表を見たり、番組表の表示内容を変更するとき)

新：新番組おまかせ録画で予約された番組

予：録画予約している番組
(Gコード®予約や時間指定予約の場合は、予約した番組の放送時間が番組表の放送時間を含んでいるときのみ表示されます)

- Gガイドのロゴと広告は表示されない場合があります。
- 機器ごとに広告のデータ取得タイミングが異なるため、表示される内容が異なることがあります。
- 現在視聴中の放送局は、一番左に追加表示されます。そのため、画面内に同じ放送局が2つ表示される場合があります。
  ・お好み番組表を表示した場合、お好み番組表に登録していない放送局が現在視聴中の番組として表示されるときがあります。

別の日の番組表(G ガイド)を見る

翌日：赤を押す　　**前日：青を押す**

番組表(Gガイド)表示中に、

1 **を押す**

2 [▲][▼]で項目を選ぶ

(➔右記へ)

- 表示される内容は放送によって異なります。

放送切換	別の放送の番組表(Gガイド)を表示させます。(お好み番組表を含む) **[◀][▶]で表示させたい放送を選び、[決定]を押す**
表示放送局数	1 画面に表示するチャンネル数を変更します。 **[◀][▶]で表示数を選び、[決定]を押す**
表示対象	(地上 D、BS,CS1,CS2 の番組表のみ) 番組表(Gガイド)で表示させる内容を変更します。 **[◀][▶]で表示させたい放送の種類を選び、[決定]を押す** **設定チャンネル**：リモコンの[1]～[12＊]に設定されているチャンネルとデジタル放送で設定した13～36までのチャンネル **テレビ**：テレビ放送(映像+音声)の番組表(Gガイド) **ラジオ**：ラジオ放送(音声のみ)の番組表(Gガイド) **データ**：データ放送の番組表(Gガイド) **すべて**：受信できるすべての番組表(Gガイド)

番組表(Gガイド)表示中に、

1 サブメニュー(S) **を押す**

2 [▲][▼]で項目を選ぶ

(➔右記へ)

- 表示される内容は放送によって異なります。

視聴制限一時解除	(デジタル放送の番組表のみ) **[決定]を押す** ●暗証番号(➔103)を入力して視聴制限を一時解除します。
番組データ取得	(地上デジタル放送の番組表のみ) **[決定]を押す** ●選択した局の番組情報を受信します。
パネル広告へ テキスト広告へ	**[決定]を押す** ●パネル広告欄またはテキスト広告欄に移動します。
番組表へ	(パネル広告、テキスト広告選択中のみ) **[決定]を押す** ●元の番組表(Gガイド)の表示に戻します。

番組表(Gガイド)から見る(つづき)

ジャンル別に表示する / 検索機能を使う

番組表(G ガイド)上でジャンル別に表示する

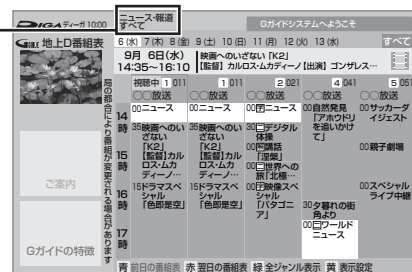
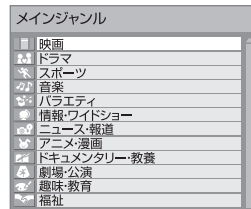
ドラマや映画、スポーツなどのジャンルごとに番組表(Gガイド)を表示することができます。

1 番組表(G ガイド)表示中に [緑] を押す

2 [▲][▼] でメインジャンルを選び、[決定] を押す

3 [▲][▼] でサブジャンルを選び、[決定] を押す

●選択したジャンルの番組のみが番組表(G ガイド)上で明るく表示されます。

選択したジャンル
およびサブジャンル

4 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[決定] を押す

(➔30「番組表(Gガイド)から見る」手順 3)
(➔46「番組表(Gガイド)を使って予約録画する」手順 3)

ジャンル別の表示をやめるには

[緑] を押す

●[放送/入力切換] を押した場合や「表示設定」を切り換えた場合もジャンル表示をやめます。

番組表(G ガイド)の検索機能を使う

「ジャンル」や「キーワード」などから、録画したい番組を検索することができます。

1 停止中に、**を押す**

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 「番組表の検索」が選ばれている状態で、[決定] を押す

説明	項目
「ドラマ」「スポーツ」などのジャンルから番組を検索します。	ジャンル検索
「キーワード」から番組を検索します。	キーワード検索
出演者から番組を検索します。	人名検索
今夜の見どころなど、番組に関する情報を見ます。トピックスから番組予約はできません。	トピックス

4 [▲][▼]で検索方法を選び、[決定] を押す

5 [▲][▼]で検索したい項目を選び、[決定] を押す

●この操作を繰り返し、検索項目を絞り込みます。

例)「ジャンル検索」を選んだ場合の最初の画面

検索する放送を変更するには

[放送/入力切換] を押す

別の日の検索結果を表示するには

[赤](翌日)または [青](前日)を押す

6 [▲][▼] で番組を選び、[決定] を押す

(➔30「番組表(Gガイド)から見る」手順 3)
(➔46「番組表(Gガイド)を使って予約録画する」手順 3)

お知らせ

●検索結果は、各放送の番組表(Gガイド)データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。

音声を切り換える

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) DVD-V VHS

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

●デジタル放送で切り換えることのできる音声の種類と数は、番組により異なります。
●ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。（2カ国語オート再生）
●電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

放送受信時

[音声]（ふた内部）を押す

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

例）二重放送

例）マルチ音声放送

●デジタル放送のマルチ音声の場合、「信号切換」（➜27）で音声を切り換えることもできます。

◯◯お知らせ◯◯

●**初期設定**「高速ダビング用録画」（➜105）が「切」になっていないと、アナログ放送の音声を切り換えることができません。（お買い上げ時の設定は「入」です）
●録画中に[音声]を押しても、記録される音声に影響はありません。
●録画モードが「XP」で、**初期設定**「XP時の記録音声モード」（➜106）が「LPCM」になっているとき、音声を切り換えることはできません。

再生時

[音声]（ふた内部）を押す

● HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) DVD-V :
押すごとに、収録されている内容によって切り換わります。

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

DVD-V

（➜56「言語」）

● VHS : 記録した番組の音声が切り換わります。

ステレオの番組：
ステレオ音声(音声LR) → 音声L → 音声R → ノーマル音声(L+R)

二重放送：
主音声+副音声 → 主音声 → 副音声 → ノーマル音声(主音声)

モノラルの番組：
音声L＋音声R → 音声L → 音声R → ノーマル音声(モノラル)

● HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) VHS
二重放送が記録されている場合は、主音声が「L」、副音声が「R」に記録されています。
押すごとに切り換わります。

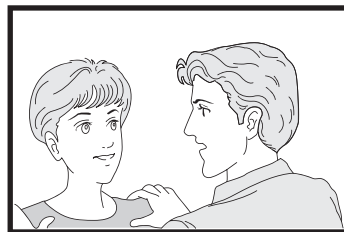
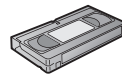
◯◯お知らせ◯◯

● DVD-V ディスクに複数の言語が収録されていない場合や、ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

2カ国語オート再生機能について

●次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
・[音声]を押して、音声を選んだあと（選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります。）
・HDD **初期設定**「外部入力の音声」（➜106）を「ステレオ」にして外部入力から録画した番組を再生中
・VHS 本機または当社製の同機能付きビデオで記録していない番組を再生中
・VHS 番組の途中から再生を始めたとき
この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは[音声]で音声を選んでください。

録画について

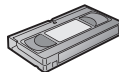
HDDにのみ
録画できます

DVD または ＶＨＳ に記録したい場合は、HDD からダビングしてください。

本機では放送の番組を DVD に直接録画できません。
ただし、「外部入力（Ｌ１）取込」のときのみ直接録画ができます。(➜80)

カセットのように
録画部分を気にする
必要はありません

HDD に残量があるかぎり、自動的に未記録の部分に記録を行います。

●残量がない場合は番組を消去してください。(➜94)

カセットだと

録画前に、早送りや巻き戻しで記録する
ところを探さないといけないけれど…

HDDだと

自動的に記録してくれます。

録画の画質と時間について（録画モード）

DR（ダイレクトレコーディング）	デジタル放送をデジタル信号のまま録画しますので、ハイビジョン画質やサラウンド音声などもそのままの状態で記録できます。（データ放送は録画されません） 複数の映像や音声を含む番組を録画した場合、再生時に映像や音声を切り換えることができます。
XP（高画質録画）～EP（長時間録画）	録画モードを高画質にするほど、録画番組の画質は向上しますが、ディスクの容量を多く使い、記録できる時間は少なくなります。
FR（フレキシブルレコーディング）	ディスクの残量に合わせてXP～EP（8時間）の間で画質を自動調整します。HDD録画時に選ぶと、4.7 GBのディスクにぴったりダビングができるように調整します。 ぴったり録画（➜42）や予約録画、外部入力（L1）取込（➜80）、ダビング時にのみ設定できます。

録画モード	DR	XP ～ EP	FR
録画できる放送 / 入力は？	地上 D、BS、CS1、CS2	地上 D 、BS、CS1、CS2、地上 A、外部入力（L1）	
録画した番組をダビングするときは？	1 倍速でダビング	高速でダビングできる （高速でダビングできない場合 ➜67）	
録画しながら再生できるか？	できる	地上 A、外部入力（L1）の録画中：　できる※1 地上 D、BS、CS1、CS2 の録画中：　できない	
ハイビジョン画質の映像は？	そのままの画質で記録	アナログ放送の録画画質に変換されて記録	
サラウンドの番組の音声は？	そのままの音声で記録	ステレオ音声で記録	
複数の音声が含まれている番組は？	複数の音声をすべて記録	音声は 1 つだけ記録※2	
複数の映像が含まれている番組は？	複数の映像をすべて記録	映像は 1 つだけ記録※2	
字幕情報が含まれている番組は？	再生時、字幕表示の入 / 切ができる	再生時、字幕表示の入 / 切はできない※2	

※ 1 「外部入力（L1）取込」中は再生できません。（➜80）
※ 2 記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を、「信号切換」（➜27）または、「信号設定」（➜47）で選んでください。

☞ **記録される音声については（➜38「音声多重放送の録画について」）**

☞ **CATV デジタルセットトップボックスからの録画について**

●外部入力（L1）に接続した場合：　ハイビジョン画質での録画はできません。アナログ放送と同等の画質での録画となります。

録画について(つづき)

録画の画質と時間について(録画モード)(つづき)

録画モード ＼ ディスク			内蔵HDD※1 (250 GB)	DVD-RAM※2※3 片面(4.7 GB)	DVD-RAM※2※3 両面※4(9.4 GB)	DVD-R※2※3 DVD-RW※2※3 (4.7 GB)	DVD-R DL (片面2層)※2 (8.5 GB)
DR※5	BS デジタル	HD放送※6 (<24 Mbps)	約22時間30分				
		SD放送※6 (<12 Mbps)	約45時間				
	地上 デジタル	HD放送※6 (<17 Mbps)	約31時間45分				
XP(高画質)			約55時間	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分
SP(標準)			約111時間	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分
LP(長時間)			約222時間	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分
EP(長時間)			約443時間 (約333時間※7)	約8時間 (約6時間※7)	約16時間 (約12時間※7)	約8時間 (約6時間※7)	約14時間20分 (約10時間45分※7)

※1 写真を記録している場合、記録できる時間は少なくなります。
※2 放送の番組を直接録画することはできません。表はダビングでの記録時間です。
※3 「外部入力(L1)取込」からのみ直接録画ができます。(➜80)
※4 両面の連続記録･再生はできません。
※5 録画時間は放送(転送レート)によって異なります。また本機での残量表示は、BS デジタル HD 放送(24Mbps 時)として計算されています。そのため、実際の残量と異なる場合があります。
※6 (➜125「デジタルハイビジョン」)
※7 **初期設定**「EP時の記録時間」(➜105)を「6時間」に設定した場合。
- EPモードの音質は「6時間」の方が高音質です。
- RAM EP(8時間)モードで記録した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6時間)モードで記録してください。

上記の表の数値はめやすです。記録する内容によっては変化することがあります。
本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。(HDD と -R DL(VR) -R DL(V) では、特にその差が著しくなります)残量に余裕がある状態で記録してください。

1枚のディスクに記録できる番組数
- HDD 最大500番組
（長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
- RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
最大99番組

録画したあとに

番組を選びたいときは、[再生ナビ] を押して番組を選んで再生してください。(➜52)

アナログ放送や外部入力からの録画にかかる制限

ワイド放送などの16:9映像を録画する場合

初期設定「高速ダビング用録画」(➜105)が「入」のときに録画すると
初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」(➜105)の設定に従って、
画面サイズを記録します。

4:3 映像で記録された場合、**初期設定**「TVアスペクト」(➜108)を「16:9 フル」に設定すれば、16:9 映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

二重音声放送を録画する場合

設定によって記録できる音声は異なります。
(詳しくは ➜38「音声多重放送の録画について」)

デジタル放送の録画について

不正なダビングを防止し、著作権を保護するため、デジタル放送には「1回だけ録画可能」※のコピー制御信号が加えられています。(2004 年 4 月から)
※ 「デジタル 1COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

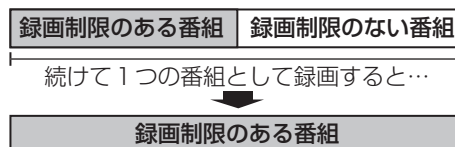
録画時には、次のことにお気をつけください

下図のように録画された番組は、録画制限のない番組でも録画制限のある番組として扱われます。そのため、ダビング時、移動するなどの制限がかかります。

- 番組分割(➜62)などの編集を行っても、録画制限のある番組として扱われます。

録画制限のある番組	録画制限のない番組

続けて 1 つの番組として録画すると…

録画制限のある番組

データ放送とラジオ放送を録画することはできません。

音声多重放送の録画について

海外ドラマやスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。
このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。
以下の内容を参考にして正しく記録してください。

ダビングにかかる制限については(➜69)

従来からの音声多重放送

二重放送 (主音声と副音声)

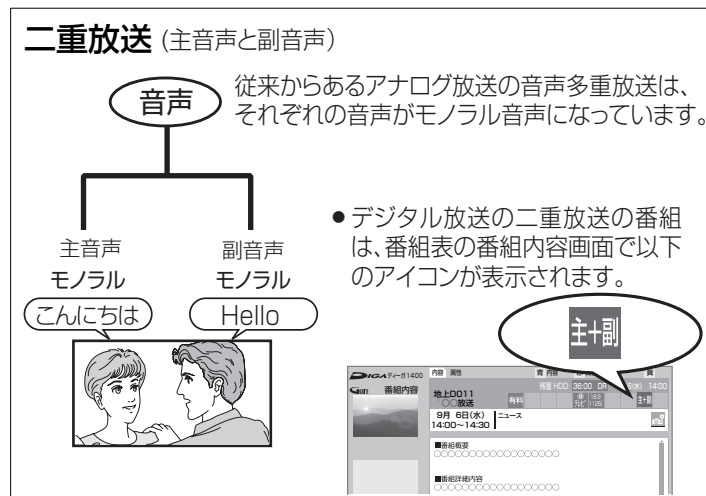
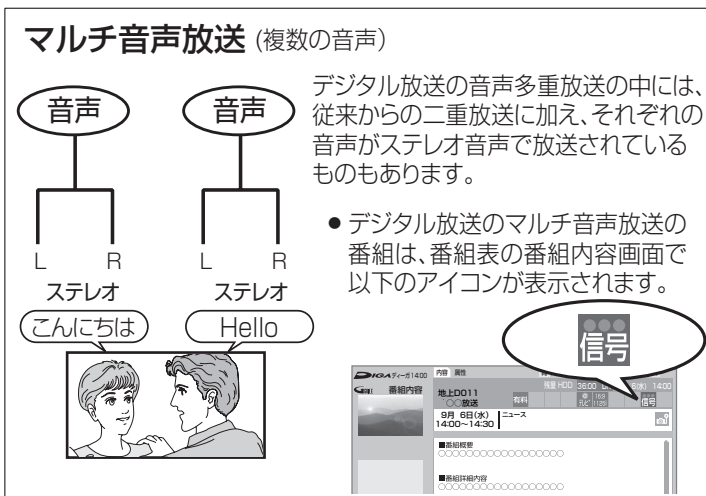
従来からあるアナログ放送の音声多重放送は、それぞれの音声がモノラル音声になっています。

● デジタル放送の二重放送の番組は、番組表の番組内容画面で以下のアイコンが表示されます。

デジタル放送の音声多重放送

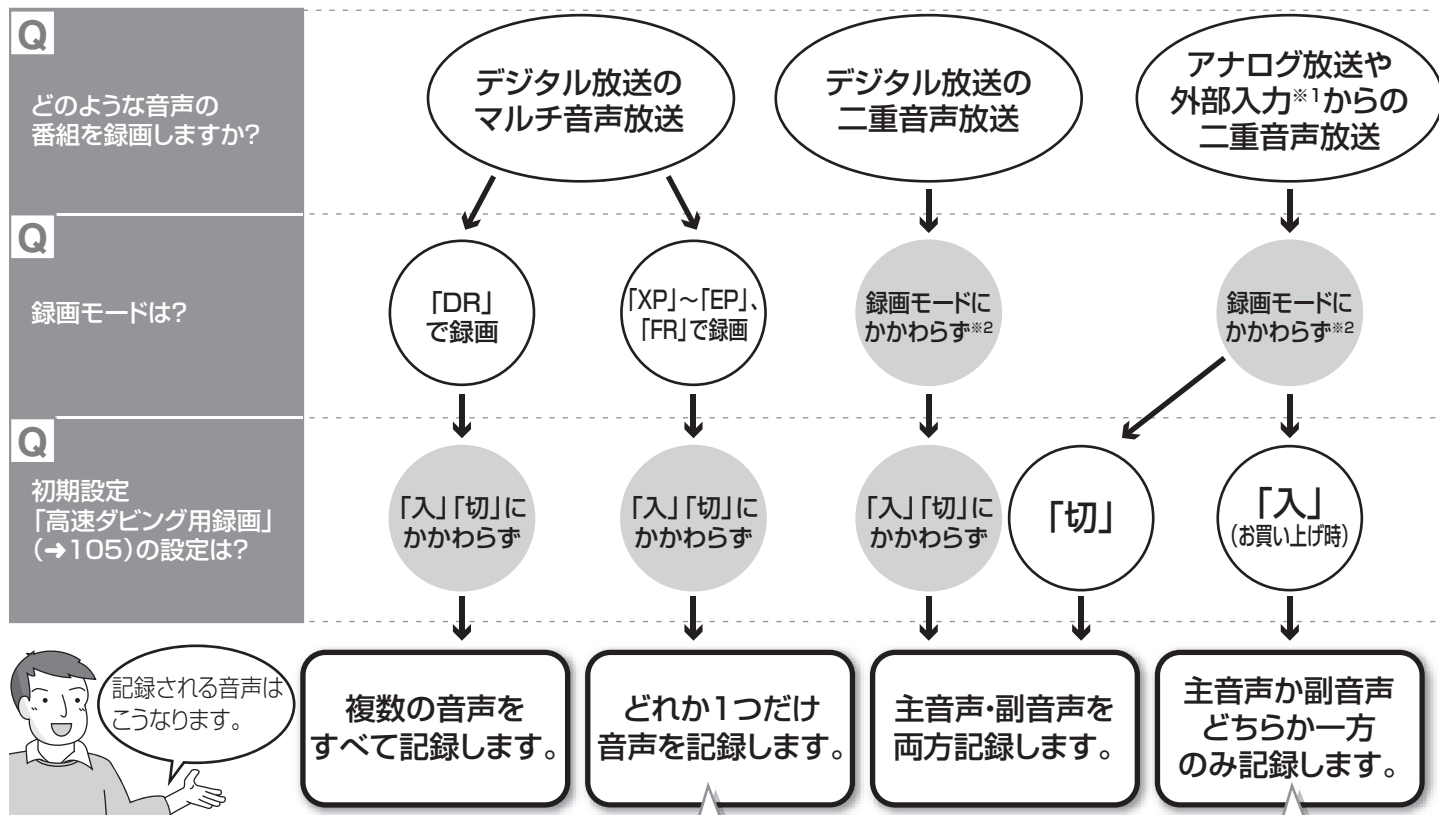
マルチ音声放送 (複数の音声)

デジタル放送の音声多重放送の中には、従来からの二重放送に加え、それぞれの音声がステレオ音声で放送されているものもあります。

● デジタル放送のマルチ音声放送の番組は、番組表の番組内容画面で以下のアイコンが表示されます。

放送される番組によっては、音声の種類などは上記の限りではありません。

Q どのような音声の番組を録画しますか?

- デジタル放送のマルチ音声放送
  - **Q 録画モードは?** 「DR」で録画 → **Q 初期設定「高速ダビング用録画」(➜105)の設定は?** 「入」「切」にかかわらず → **複数の音声をすべて記録します。**
  - **Q 録画モードは?** 「XP」～「EP」、「FR」で録画 → **Q 初期設定「高速ダビング用録画」の設定は?** 「入」「切」にかかわらず → **どれか1つだけ音声を記録します。**
- デジタル放送の二重音声放送
  - 録画モードにかかわらず※2 → 「入」「切」にかかわらず → **主音声・副音声を両方記録します。**
- アナログ放送や外部入力※1からの二重音声放送
  - 録画モードにかかわらず※2 → 「切」 → **主音声・副音声を両方記録します。**
  - 録画モードにかかわらず※2 → 「入」(お買い上げ時) → **主音声か副音声どちらか一方のみ記録します。**

記録される音声はこうなります。

[録画●]を押して録画する場合
視聴している音声が記録されます。録画する前に「信号切換」の「音声」で記録したい音声を選んで録画してください。(➜27)

番組表を使って録画する場合
番組予約の「信号設定」の「音声」で記録したい音声を選んでください。(➜47)

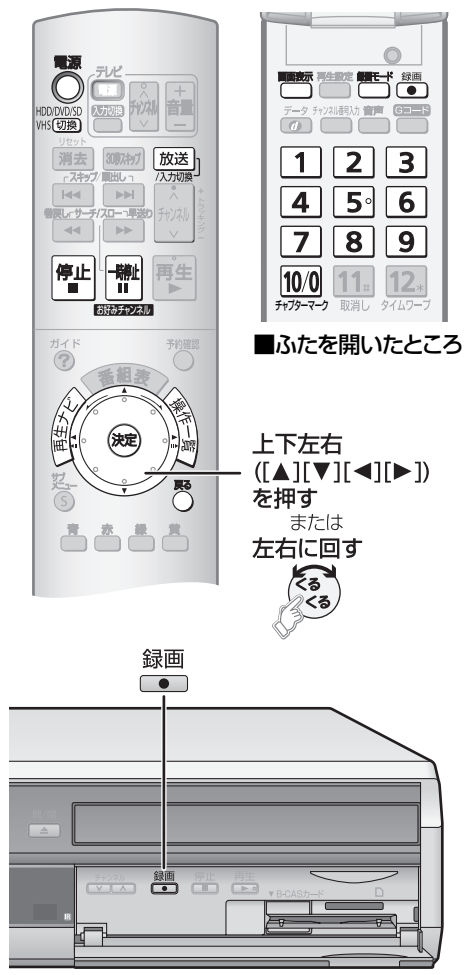
録画前に、**初期設定**「二重放送音声記録」で記録したい音声を選んでください。(➜106)

※1 **外部入力から二重音声放送を録画する場合[外部入力(L1)取込(➜80)を含む]**
外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力するように設定してください。
録画前に、**初期設定**「外部入力の音声」で「二重音声」を選んでください。(➜106)
●外部入力(L1)取込で -R(V) -RW(V) に記録する場合や**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして RAM -R(VR) -RW(VR) に記録する場合、主音声か副音声どちらか一方のみ記録します。**初期設定**「二重放送音声記録」で記録したい音声を選んでください。(➜106)

※2 **初期設定**「XP時の記録音声モード」(➜106)を「LPCM」にし、録画モード「XP」で録画すると、主音声か副音声のどちらか一方のみ記録します。録画前に、**初期設定**「二重放送音声記録」で記録したい音声を選んでください。(➜106)

録画する

HDD

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- **[電源]** を押して、本機の電源を入れる。

〇〇 お知らせ 〇〇
- デジタル放送を録画モード「DR」以外で録画しているときは、HDDまたはDVDの再生はできません。
  また、どの放送/入力にかかわらず、録画モード「DR」以外での録画中は、VHSの再生もできません。
- 録画中に放送 / 入力やチャンネルを切り換えることはできません。

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、「HDD」を選ぶ

- 押すごとに、ドライブが切り換わります。(**[▲][▼]** では選べません)

ドライブ切換
HDD
DVD
SD
VHS

- 表示が消えると、選ばれたドライブに切り換わります。
  (**[決定]** を押すと、早く切り換えることができます)

2 放送/入力切換 を押して、録画したい放送を選ぶ

- 押すごとに、放送／入力が切り換わります。(**[▲][▼]** では選べません)

- 表示が消えると、選ばれた放送 / 入力に切り換わります。
  (**[決定]** を押すと、早く切り換えることができます)

3 録画したいチャンネルを選ぶ(詳しくは➜25)

4 録画モード (ふた内部)を押して、録画モード(➜35)を選ぶ

- 押すごとに、録画モードが切り換わります。(**[▲][▼]** では選べません)

録画モード
DR 残量 22:30
XP 残量 55:00
SP 残量 111:00
LP 残量 222:00
EP 残量 443:00

デジタル放送を視聴中のみ (DR)

- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。
  (**[決定]** を押すと、早く切り換えることができます)
- 録画モードを「XP」で録画する場合は、記録する音声の設定を変更できます。(**➜106 初期設定「XP時の記録音声モード」**)

5 録画 (ふた内部)を押して、録画を始める

- 本体表示窓に録画経過時間が表示されます。
- 録画中に録画モードを変えることはできません。
- 番組表(Gガイド)(**➜30**)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。

録画する（つづき）

録画中のいろいろな操作

録画を止める

停止■ を押す

- 停止した位置までを1番組として記録します。
- HDD 長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます。

予約録画を止めるには（➜50）

一時停止する

（ドライブを切り換えていた場合）[HDD/DVD/SD/VHS切換] を押して、「HDD」を選んでください。

を押す

- もう一度押すと録画を再開します。[録画●] を押しても再開できます。（番組は分割されません）
- 録画モード「DR」で録画中に一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になります。

録画の終了時間を指定する（終了時間予約録画）

指定した時刻になると、自動的に録画をやめます。

（ドライブを切り換えていた場合）[HDD/DVD/SD/VHS切換] を押して、「HDD」を選んでください。

本体の 録画● を押す

- 押すごとに本体表示窓の録画終了時間が変わります。

録画経過時間 → 30分後 → 1時間後 → 1時間30分後
↑── 4時間後 ← 3時間後 ← 2時間後 ←┘

- 本体表示窓は下図のように変わります。

終了時間の設定を取り消すには

本体の [録画●] を数回押し、“録画経過時間” を選ぶ
（録画は続けられます）

お知らせ

- リモコンの [録画●] では働きません。
- ぴったり録画中（➜42）や予約録画中は指定できません。
- 録画終了時、本機を操作していなければ自動的に電源も切れます。

録画しながら再生する（追っかけ再生、同時録画再生）

本機では、録画を続けながら、録画中の番組を先頭から再生する**追っかけ再生**や、録画済みの番組を再生する**同時録画再生**を行うことができます。

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して、再生するドライブ（「HDD」または「DVD」）を選ぶ**

2 録画中に、 再生ナビ を押す

☞**再生ナビ画面の便利な機能について**（➜53）

例）HDD

録画中の番組
（● が表示されます）

3 [▲][▼]で再生したい番組を選び、 決定 **を押す**

☞**再生ナビ画面を消すには**

[再生ナビ] を押す

☞**再生を止めるには**

を押す

☞**録画を止めるには**

再生停止後、再生ナビ画面を消して

（➜左ページ「録画を止める」へ）

☞**予約録画を止めるには**（➜50）

お知らせ

●デジタル放送を録画モード「DR」以外で録画しているときは、再生できません。

録画する(つづき)

ディスク容量にぴったり合うように録画する

ぴったり録画

4.7 GBのディスクにダビングしたときに、ディスクの容量にぴったり合うように録画します。
録画時に、設定した時間に合わせて自動的に最適な画質 [➜35「FR(フレキシブルレコーディング)」]になります。

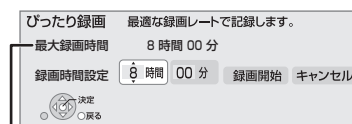
39ページ手順1～3のあと、

1 停止中に、 を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 [▲][▼]で「ぴったり録画」を選び、(決定)を押す

4 [◀][▶]で"時間"または"分"を選び、[▲][▼]で録画時間を設定する

- [1]～[10/0]も使えます。
- 8時間を超えて設定することはできません。

最大録画時間
EP(8時間)モードで計算した残量時間です。

5 [◀][▶]で「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で(決定)を押す

- 録画が始まります。

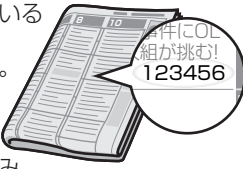
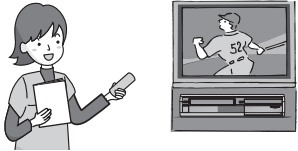
録画を止めるには

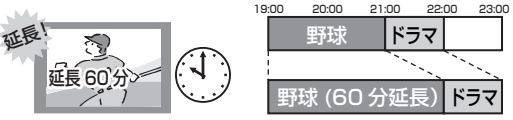
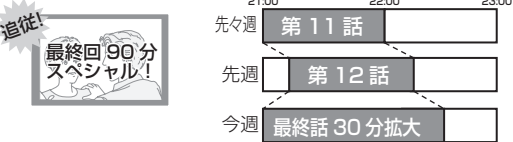
(➜40「録画を止める」)

録画せずに画面を消すには

[戻る]を数回押す

録画の残り時間を確認するには

[画面表示](ふた内部)を押す
- (ドライブを切り換えていた場合)
[HDD/DVD/SD/VHS切換] を押して、「HDD」を選んでください。

録画の残り時間

予約録画について

- 本機では１カ月以内の番組を、32番組まで予約できます。[毎日・毎週予約(➜下記)は１番組として数えます]
  [「新番組おまかせ録画」(➜44)は、通常の番組予約とは別に 16 番組まで自動で予約されます]
- 録画先はHDDになります。(DVD、VHSに予約録画はできません)

予約方法には、以下の３つの方法があります。

番組表(G ガイド)を使って予約(➜46)	G コード®入力を使って予約(➜48)	録画時間を指定して予約(➜49)
	新聞などのテレビ番組欄で、各番組に付けられている数字を入力して予約を行う方法です。 地上アナログ放送のみ	予約設定を手動で行う方法です。

Irシステムを使って予約録画する(➜82)

予約録画の便利な機能

録画を毎日・毎週予約する

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

まとめ表示について	連続ドラマなどを毎日･毎週予約した番組は、再生ナビ画面(➜52)で１つにまとめて表示されるため、再生するときに録画した番組を探しやすくなります。(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)
前回の番組を消去し、新たに録画するには(自動更新)	**自動更新(オートリニューアル)**録画を設定しておくと、前回の放送分は消去され、新たに番組を録画しますので、HDDの容量を効率よく使えます。 ●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます) ●HDDの残量が少ないと、番組の最後まで更新されないことがあります。

番組追従機能

- 番組表(Gガイド)から予約した番組にのみ働きます。

野球中継などの番組延長に対応

- デジタル放送のみ

予約登録後に番組の放送時間が変わっても、番組表が更新されれば、番組追従機能が働き、録画時間を自動的に変更します。

- 放送時間が変更された場合、3時間の変更まで追従します。
- 野球延長などで延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。
  (番組は分割されます)
  (➜47「イベントリレー」)
- アナログ放送には働きません。

毎日･毎週予約したドラマなどの時間変更に対応

- 毎日･毎週予約時のみ

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送予定に時間変更があった。または最終回だけ30分拡大版だった。」などの場合に対応します。

- 次回以降の予約登録するときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。

- 番組が以下のように変更された場合は追従できません。
  ･番組表データの更新によって、番組名が変更されたとき
  (番組名が変更されない場合でも、番組名によっては追従できない場合があります)
  ･放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があったとき

  このような場合は、最初の予約内容のまま登録します。

- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

番組追従機能を無効にするには
時間指定予約で予約を行ってください。(➜49)

予約録画について(つづき)

予約録画の便利な機能(つづき)

新番組おまかせ録画

地上デジタル

BS デジタル

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを自動で録画することができます。

- 番組表(G ガイド)のデータ受信時に新番組を探して自動で予約します。
- すべての新番組を自動で予約することはできません。
- 録画モードは「ＤＲ」で予約します。
- 最大 16 番組まで自動で予約します。
- 契約が必要なチャンネルの新番組も自動で予約します。

設定方法

1 停止中に、**を押す**

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼] で「新番組おまかせ録画」を選び、決定を押す

4 [▲][▼]で設定したい項目を選ぶ

5 [◄][►]で「入」または「切」を選ぶ

新番組おまかせ録画の設定

夜ドラマ(地上D)	入	切
夜ドラマ(BS)	入	切
アニメ (地上D)	入	切
アニメ (BS)	入	切

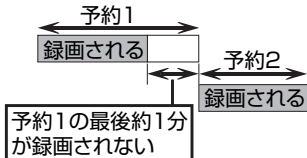
"入"に設定すると、新番組をDRモードで自動録画します。
・録画時刻の重複により自動録画されない場合があります。
・HDD残量にご注意ください。
予約確認ボタンで自動で録画される番組を確認できます。
戻る

- 「夜ドラマ」は18時～23時59分の間に開始時刻が含まれる新番組のドラマを自動で予約します。
- 「アニメ」には時間の制限はありません。
- 新番組でも番組名によっては、正しく予約できない場合があります。
- 「入」に設定した場合、自動で予約録画されるため、HDD の残量が少なくなる可能性があります。

新番組おまかせ録画する番組を確認する

予約確認 **を押す**

新番組 アイコンのついている番組が自動で予約された番組です。
不要な予約の場合は、取り消してください。(➜50)

- 番組表(G ガイド)上では、新 アイコンが表示されています。

予約内容を修正するには(➜50)
「修正」を選び、「設定変更画面」を表示すると、通常の番組予約になります。
(すでに予約が３２番組ある場合は、修正できません)

予約が重なったときは?

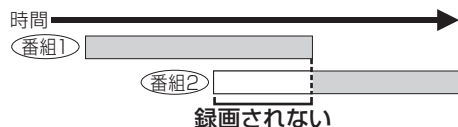
- **通常の番組予約と重なったときは?**
  予約は行われません。
- **新番組が重なったときは?**
  開始時刻の早い番組を予約し、遅い番組は予約されません。
- **新番組の開始時刻が重なっているときは?**
  以下の優先順位で予約されます。
  ・地上デジタル放送の番組と ＢＳ デジタル放送の番組の場合、地上デジタル放送の番組を優先します。
  ・チャンネル番号の小さい方の番組を優先します。
  例) 地上 D011、地上 D101、ＢＳ101 の番組が重なった場合、
  ①地上 D011、②地上 D101、③ ＢＳ101 の順で優先されます。

予約録画Q & A

Q（質問）	A（回答）
予約録画待機中に録画や再生はできますか？	**できます。** ただし、以下の場合は、予約時刻になると予約録画が実行され、録画や再生は中断されます。 ●録画中　:予約録画の開始時刻になったとき ●HDD/DVD再生中 :録画モード「DR」以外で予約したデジタル放送の予約時刻になったとき ●VHS再生中　:録画モード「DR」以外で予約した番組の予約時刻になったとき
電源を入れたままでも予約録画は実行されますか？	**実行されます。** 電源の切/入にかかわらず、予約録画は実行されます。
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合、どうなりますか？	前の予約の終わりの約1分が録画されません。 予約1　録画される　予約2　録画される 予約1の最後約1分が録画されない
他の操作を実行中に予約録画が実行されなくなるのはどんな場合ですか？	**●編集の処理を実行中** **●1倍速でダビング中** **●フォーマット実行中** **● おまかせダビング中** **● 写真をダビング中** **● ファイナライズ実行中** などを実行中は、予約録画が開始されません。各作業の実行前の画面に予約録画に関するメッセージが表示されますので、ご確認ください。
電源を入れたまま予約録画が始まった場合、録画終了後、自動的に電源は切れますか？	**切れません。** 終了後も電源は入ったままになります。予約録画中に電源を切ることはできます。（予約録画に影響はありません）
予約時刻が重なっている番組はどうなりますか？	開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。 **（➜ 下記「予約の重複について」）** （予約一覧画面で「重複」アイコンが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません） ●予約時刻が重なった場合、メッセージが表示されます。 **（➜47「予約番組が重なっているとき」）**
「新番組おまかせ録画」の予約を取り消すとどうなりますか？	取り消した新番組が、再び自動で予約されることはありません。ただし、「新番組おまかせ録画の設定」をいったん「切」にして再び「入」にした場合に、再び予約されることがあります。

予約の重複について

同じ時間帯に予約が重複した場合、開始時刻の早い 1 番組のみ録画されます。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。

「重複」アイコンが表示されている場合は、番組の一部またはすべてが録画されません。

予約録画する

HDD

準備

- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- [電源] を押して、本機の電源を入れる。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(➜準備編 34「時刻合わせ」)

前の画面に戻るには

を押す

番組表(Gガイド)を消すには

を押す

予約録画を止めるには(➜50)

予約一覧画面から予約の確認や取り消し、修正をするには(➜50)

暗証番号に関する表示が出たときは(➜48)

番組表(Gガイド)上で予約を取り消す・修正するには

予約取り消し

① [▲][▼][◀][▶]で「予」が表示されている番組を選び、[決定] を押す
② [▶]で「予約取り消し」を選び、[決定] を押す
- 「予」が消えます。

- 予約録画実行中の番組は、取り消しできません。

予約修正

① [▲][▼][◀][▶]で「予」が表示されている番組を選び、[決定] を押す
② [▶]で「予約修正」を選び、[決定]を押す
(「番組予約」の場合は➜右ページ「詳細設定画面」へ)
(「時間指定予約」の場合は➜49「時間指定予約画面」へ)

番組表(Gガイド)を使って予約録画する

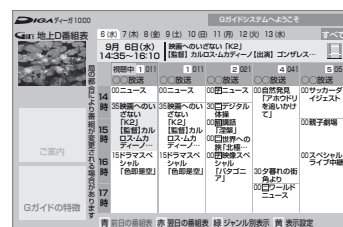
番組表(Gガイド)はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表(Gガイド)のデータを受信する必要があります。(詳しくは➜準備編 30)

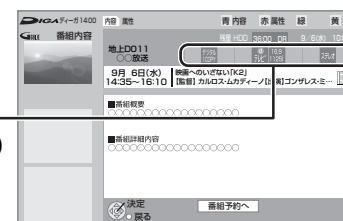
1 番組表 を押す

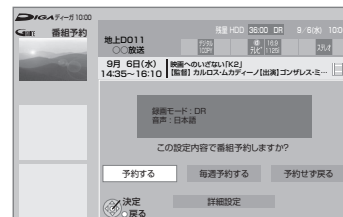
別の放送の番組表(Gガイド)を見るには

[放送/入力切換] を押す

- 押すごとに、番組表(Gガイド)が切り換わります。

番組表(Gガイド)の見かた(➜31)
ジャンル別に表示する / 検索機能を使うには(➜32)

2 予約したい番組を選び、決定 を押す

アイコン
(詳しくは ➜128)

3 「番組予約へ」が選ばれている状態で、決定 を押す

- 予約内容を確認してください。
- 録画モードは、デジタル放送を録画するときは「DR」、アナログ放送を録画するときは操作前に選ばれていた録画モードに設定されます。

4 項目を選び、決定 を押す

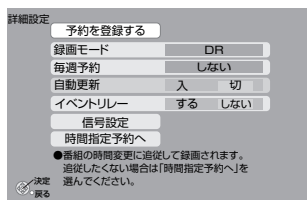
予約する :予約を登録します。
毎週予約する :毎週予約を登録します。(➜43)
詳細設定 :「詳細設定」画面に移り、予約内容を変更します。(➜右ページ「詳細設定画面」)

予約番組が重なっているときは(➜右ページへ)

- 番組表(Gガイド)上で、予約した番組に「予」が表示され、予約待機状態になります。[「時間指定予約へ」(➜右ページ)で予約時間を変更した場合、「予」は表示されないときがあります]

本体表示窓 点灯

詳細設定画面

左ページ手順4などで「詳細設定」を選んだあと、

[▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する
(➜ 右記へ)

設定が終了したら、
[▲][▼]で「予約を登録する」を選び、(決定)を押す

●予約修正の場合は「修正を反映する」を選び、[決定]を押してください。

録画モード	録画モードを設定します。
毎週予約	[◀]または[▶]を押すごとに、以下のように変わります。 しない ⟷ 毎週同じ曜日 ⟷ 毎週(月)～(金) ⟷ 毎週(月)～(土) ⟷ 毎日 ⟷ しない 録画する曜日によって表示内容は変わります。 ●ペイ･パー･ビューの番組にはできません。
自動更新 ●毎日･毎週予約を設定したときのみ	毎日･毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から前回録画した番組を自動的に消去し、新たに録画しますので、HDD容量を効率よく使って録画できます。
イベントリレー (地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)	●「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が、他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます) 別に予約した番組と放送時間が重なった場合、一方の番組が録画されないときがあります。 ●「しない」を選ぶと、他のチャンネルで放送される延長部分の番組を録画しません。
信号設定 (地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)	複数の音声や映像の信号があるときや、番組の追加購入が必要なときに設定します。 ① **[▲][▼]で選んだあと、[決定]を押す** ② **[▲][▼]で変更する項目を選び、[◀][▶]で設定する** マルチビュー：主番組 / 映像：映像1 / 音声：日本語 / 字幕：オフ オン / 字幕言語：日本語 英語 / 追加購入選択：追加金額:0円 ●録画モードを「DR」以外にして録画する場合、複数の映像や音声、字幕情報を含む番組は、録画したあと、再生中に映像･音声や字幕の入/切の切り換えを行うことはできません。録画する前に設定項目を選択してください。(番組によっては、設定が無効になる場合があります) ●番組の中に購入が必要な信号があるときに、「追加購入選択」で料金を払うと録画ができます。(毎週予約では録画できません) ●選べる設定項目は番組によって変わります。1つしかない場合は、切り替えられません。 ●有料放送の番組を予約するときは、その放送会社と契約したB-CAS カードを挿入してください。
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 ① **[▲][▼]で選んだあと、[決定]を押す** ② **[◀]で「はい」を選び、[決定]を押す** **(➜49「時間指定予約画面」へ)** ●番組追従(➜43)は行えません。 ●「信号設定」は反映されません。

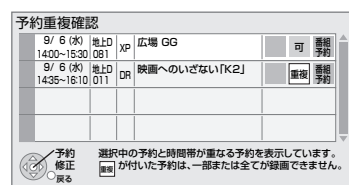
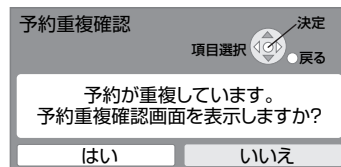
予約番組が重なっているとき
(左ページ手順4などのあと)

以前に予約している番組と時間が重なっていて、録画が正しく行われない場合、右記の画面が表示されます。

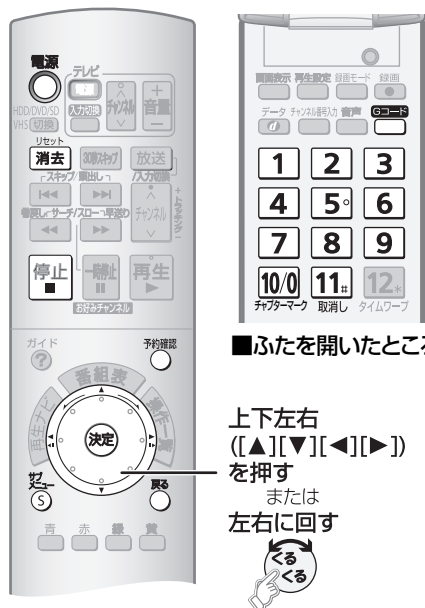
●重複している予約を確認するには、「はい」が選ばれている状態で、[決定]を押してください。「予約重複確認」画面(➜下記)が表示されます。

予約の重複を修正するには

① **[▲][▼]で修正したい番組を選び、[決定]を押す**
② **[◀][▶]で修正方法を選び、[決定]を押す**

修正：予約時間などを修正します。
(「番組予約」の場合は ➜上記「詳細設定画面」へ)
(「時間指定予約」の場合は➜49「時間指定予約画面」へ)
取り消し：予約を取り消します。
予約実行切：予約の実行をやめます。

予約録画する(つづき)

HDD

準備
- ●テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- ●[電源]を押して、本機の電源を入れる。
- ●本機の時刻が正しいことを確かめる。(➜準備編 34「時刻合わせ」)

■ふたを開いたところ

上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

予約録画を止めるには(➜50)

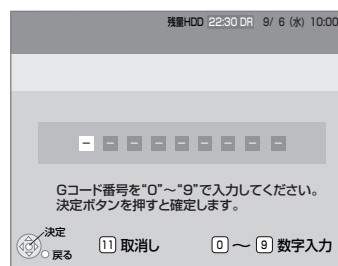
予約の確認や取り消し、修正をするには(➜50)

暗証番号に関する表示が出たとき

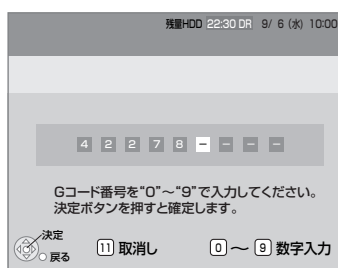
視聴制限のある番組を録画するには暗証番号の入力が必要です。視聴制限のない番組は入力の必要はありません。

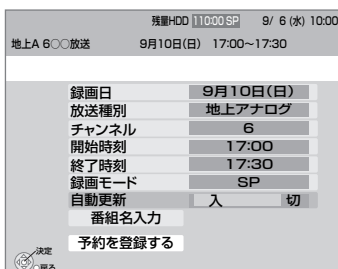
- ●**番組の視聴制限(➜103)を登録していない場合には**
  「暗証番号登録」画面になります。画面の指示に従ってください。(登録すると「無制限」になります)
  ・暗証番号は視聴制限を変更するときに必要です。忘れないでください。
- ●**視聴可能年齢に制限をかけている場合には(➜103)**
  設定した暗証番号を入力しないと制限のある番組は録画できません。

Gコード®入力を使って予約録画する 地上アナログ

1 Gコード(ふた内部)を押す

2 1 ～ 10/0 (ふた内部)でGコード番号を入力する

- ●[▲][▼]で数字を選び、[▶]を押しても入力できます。

Gコード番号を間違えたときは
- ●[◀]で戻り、再度入力する
- ●[取消し/11#]を押すと、入力した番号を取り消します。

3 決定を押す

- ●予約内容を確認してください。
- ●録画モードは操作前に選ばれていたモードに設定されます。

予約内容を変更するには(➜右ページ「時間指定予約画面」)

「チャンネル」の項目が「G――」になっているときは

ガイドチャンネルが正しく設定されていません。「チャンネル」が選ばれている状態で、[◀][▶]で予約したいチャンネルに合わせてください。(➜準備編 41)

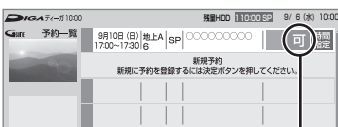
- ●予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。

4 「予約を登録する」を選び、決定を押す

①選び
②決定する

「不可」が表示されているときは、HDDの残量などを確認してください。

- ●予約待機状態になります。

本体表示窓 点灯

予約一覧画面のアイコン表示については(➜129)

録画時間を指定して予約録画する(時間指定予約)

1 予約確認 ボタンを押す

2 「新規予約」が選ばれている状態で、決定 を押す

3 **予約内容を設定する**

(➜下記「時間指定予約画面」へ)

4 「予約を登録する」を選び、決定 を押す

「不可」が表示されているときは、HDDの残量などを確認してください。

- 予約待機状態になります。

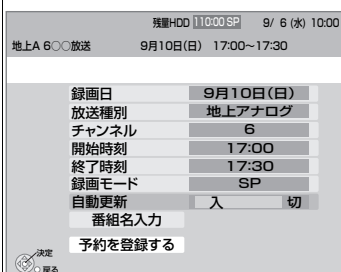
本体表示窓

点灯

☞ **暗証番号に関する表示が出たときは**(➜左ページ)

☞ **予約番組が重なっているときは**(➜47)

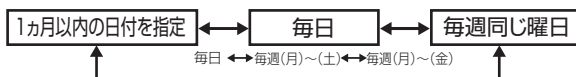
☞ **予約一覧画面のアイコン表示については**(➜129)

時間指定予約画面

[▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する

(➜右記へ)

設定が終了したら、上記手順4へ

- 予約修正の場合は「修正を反映する」を選び、[決定]を押してください。

項目	説明
録画日	[◀]または[▶]を押すごとに、以下のように変わります。 1ヵ月以内の日付を指定 ⟷ 毎日 ⟷ 毎週同じ曜日 毎日 ⟷ 毎週(月)~(土) ⟷ 毎週(月)~(金) ●「毎日」または「毎週」を選ぶと、毎日･毎週予約の設定ができます。(➜43)
放送種別	録画する放送を設定します。
チャンネル	録画するチャンネルを設定します。 ●[1]~[10/0]でも選べます。
開始時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀]または[▶]を押したままにすると15分単位で変更できます。 ●[決定]を押すと、[1]~[10/0]でも選べます。
終了時刻	
録画モード	録画モードを設定します。
自動更新 ●毎日･毎週予約を設定したときのみ	毎日･毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から前回録画した番組を自動的に消去し、新たに録画しますので、HDD容量を効率よく使って録画できます。
番組名入力	**[▲][▼]で選んだあと、[決定]を押し、文字入力します** ●文字入力について(➜99) ●入力しなくても、番組表(Gガイド)に放送内容がある番組を録画すると、録画後に自動的に番組名が付きます。

録る

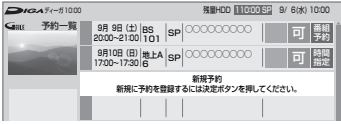
予約録画する(つづき)

録画中の予約録画を止める

1 [停止 ■] を押す

2 [◀]で「はい」を選び、(決定) を押す

例)

予約録画停止
録画中 [地上D 041]
現在、ご覧のチャンネルを予約録画中です。
この予約録画を停止してもよろしいですか?
はい　いいえ
決定
戻る

☞ **予約一覧画面から予約録画を止めるには [➜下記「予約の実行をやめる (一時解除)」]**

○○(お知らせ)○○

- 予約録画を止めると、予約一覧画面に「一部未実行」アイコンが表示されます。
  毎日･毎週予約を設定している場合は、次回からの予約を新たに追加登録します。
- 予約登録がない場合やすべての予約が「予約実行切」になっている場合は、本体表示窓の“◷”が消灯します。

予約内容の確認や取り消し、修正などをする

予約内容を確認する

- 本体の電源が「切」の状態でも操作できます。

(予約確認) を押す

- 予約状況がアイコンで表示されます。(➜129)
- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。

「予約を取り消す」や「予約の実行をやめる」などを行いたい場合は、以下に進んでください。

予約を取り消す

[▲][▼]で予約内容を選び、[消去/リセット]を押す

- 予約一覧から予約内容が消えます。
- 予約登録がない場合やすべての予約が「予約実行切」の場合は、本体表示窓の“◷”が消灯します。

予約の実行をやめる (一時解除)

① **[▲][▼]で予約内容を選び、[サブ メニュー]を押す**

② **[▲][▼]で「予約実行切」を選び、[決定]を押す**

例)

視聴制限一時解除
予約取り消し
予約実行切
履歴一覧表示

- 予約内容に「予約実行切」アイコンが表示されます。
- もう一度 **[サブ メニュー]** を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。
- 「予約実行入」にしておかないと、予約録画は実行されません。
- すべての予約を「予約実行切」にすると、本体表示窓の“◷”が消灯します。
- 予約録画実行中の番組を選んで上記の操作行った場合、録画が停止します。予約時間内であれば、もう一度 **[サブ メニュー]** を押して「予約実行入」を選ぶと、予約録画が再開されます。(ただし、別番組として録画されます)

視聴制限を一時解除する

暗証番号(➜103)を入力して視聴制限を一時解除します。

① **[▲][▼]で予約内容を選び、[サブ メニュー]を押す**

② **「視聴制限一時解除」が選ばれている状態で、[決定]を押す**

③ **暗証番号を入力する**

履歴を削除する

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

① **[▲][▼]で予約内容を選び、[サブ メニュー]を押す**

② **[▲][▼]で「履歴削除」を選び、[決定]を押す**

③ **[◀]で「はい」を選び、[決定]を押す**

予約内容を修正する

① **[▲][▼]で予約内容を選び、[決定]を押す**

② **「修正」が選ばれている状態で、[決定]を押す**

(番組予約の場合は➜47「詳細設定画面」へ)
(時間指定予約の場合は➜49「時間指定予約画面」へ)

- 時間指定予約の場合、予約録画実行中の番組でも、録画モードが「FR」以外なら予約終了時刻の変更ができます。

☞ **前の画面に戻るには**

(戻る) を押す

☞ **画面を消すには**

(戻る) を数回押す

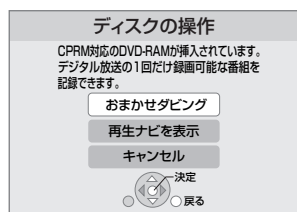
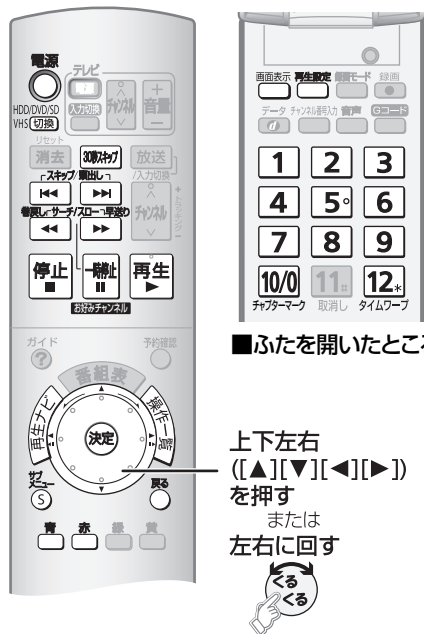
HDD・ディスクを再生する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V

準備

- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- [電源]を押して、本機の電源を入れる。
- DVDを再生する場合は、再生可能なディスクを入れる。(➔19)

記録可能なディスクを挿入すると、下記の画面が自動的に表示されます。

例) RAM

[▲][▼]で「再生ナビを表示」を選び、[決定]を押すと、52ページ手順3に進むことができます。

■ふたを開いたところ

録画しながら再生するには(➔41)

お知らせ

- ディスクによっては、メニュー画面や映像・音声が出るまで時間がかかることがあります。
- -R DL(VR) -R DL(V) は、層の変わり目で映像や音声が一瞬止まることがあります。(詳しくは➔9)
- DRモードの番組の再生時、番組の切り換わり部分や、編集を行った部分、録画中に一時停止した部分などで、映像や音声が一瞬止まることがあります。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[停止■]を押して停止させてください。
- 本機では AVCHD で記録されたディスクを再生できません。

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ

2 再生▶ を押して、再生を始める

HDD:
最後に停止した位置から再生します。

RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V):
最初に記録された番組から再生します。

DVD-V:
ディスクが指定した位置から再生します。

- ただし、続き再生メモリー機能(➔54「停止」)が働いている場合は、停止した位置から再生します。

メニュー画面が表示されたとき DVD-V

市販のDVDディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

[▲][▼][◀][▶]で項目を選び、決定 を押す

再生の途中でメニュー画面を表示させるには

[再生ナビ]を押す

([サブ メニュー]を押して、「メニュー」を選んで表示させることもできます)

SDカードのMPEG2動画の再生について

当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画を見るには、まずHDDなどにダビングしてください。(➔76)

- SDカードから直接再生することはできません。

映像が縦に引き伸ばされているとき(4:3映像で記録されているとき)
初期設定「TVアスペクト」(➔108)を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

HDD・ディスクを再生する(つづき)

再生ナビから再生する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

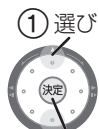
再生ナビを使うと、一覧表の中から見たい番組を選んで再生できます。

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ**

2 **を押す**

☞ HDD RAM **「番組一覧」を表示するには**

[青](ビデオ)を押す

3 **番組を選び、決定 を押す**

☞ まとめ **アイコンの番組を選んだときは**(HDDのみ)

まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

[▲][▼]で再生したい番組を選び、[決定]を押す

☞ **前後のページを表示するには**

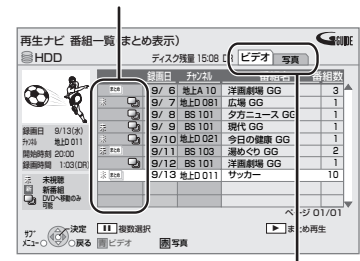
[|◀◀]または[▶▶|]を押す

●選んだ番組の再生が始まります。

ただし、続き再生メモリー機能(➜54「停止」)が働いている場合は、停止した位置から再生します。

アイコン(詳しくは➜128)

例) HDD

再生ナビ 番組一覧(まとめ表示) HDD ディスク残量 15:08 DR ビデオ 写真

番組・写真の切り換え表示

再生ナビ画面では、番組・写真を別々に管理しています。それぞれを再生するには、切り換えが必要です。

[青]、[赤] を押すと、切り換わります。

HDD RAM　ビデオ　写真

・**ビデオ**：録画・記録した番組

・**写真**　：SDカードなどからダビングした写真

☞ **再生ナビ画面を消すには**

 を押す

まとめ表示と全番組表示について(HDDのみ)

再生ナビ画面などの番組一覧では、毎日・毎週予約で録画した番組を1つにまとめて表示する「まとめ表示」と、録画したすべての番組を一覧表示する「全番組表示」があります。

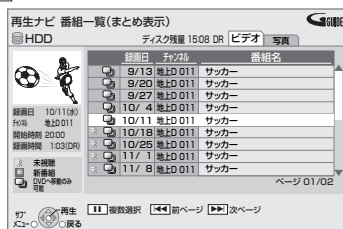
全番組表示

サブメニュー S を押して「全番組表示へ」「まとめ表示へ」を選び、決定 を押す

まとめ再生について(➜下記)

まとめ アイコンの番組を選び、決定 を押す

戻る ○を押す

まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

まとめ表示について

毎日・毎週予約で録画した番組は、番組一覧(まとめ表示)ではまとめて表示されます。連続ドラマなどの番組がまとまって表示されるので番組の検索に便利です。

☞ **まとめ番組のまとめを解除するには/番組を1つにまとめるには**

番組一覧のまとめ表示中に、「まとめ番組の解除」または「まとめ番組の作成」を行ってください。(➜右ページ)

まとめ再生について

まとめ アイコンの番組を選んで[再生▶]を押すと、まとめ 番組内の番組を連続再生します。

再生ナビ画面の便利な機能

再生ナビ画面では、サブメニューを使用して、番組の並び替えや他の画像への切り換えなどの操作が行えます。

再生ナビ画面上で、

1 サブメニュー(S)を押す

例）HDD のサブメニュー

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定)を押す

（➜右記へ）

●「まとめ番組の作成」を行う場合は、[一時停止❚❚]を押して、まとめたい番組を2つ以上選んでから[サブ メニュー]を押してください。

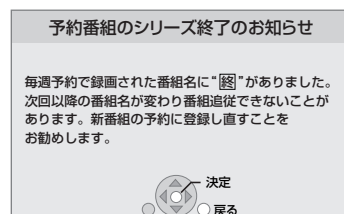
項目	内容
番組消去	番組を消去します。(➜62)
内容確認	番組の内容を確認できます。(➜62)
番組編集	番組の編集ができます。(➜62)
まとめ番組の作成 HDD ●まとめ表示時のみ	[一時停止❚❚] で選んだ番組を、まとめ 番組として 1 つにまとめます。 **「まとめ番組の作成」が選ばれている状態で、[決定] を押す** ● まとめ 番組の番組名は、変更することができます。(➜62「番組名編集」) ●番組名は、表示の上にある方の番組名になります。ただし、まとめ 番組の番組名を変更している場合は、その番組名になります。
まとめ番組の解除 HDD ●まとめ表示時のみ	まとめ 番組のまとまりを解除します。 **「まとめ番組の解除」が選ばれている状態で、[決定] を押す** ● まとめ 番組の番組名を変更していた場合、その番組名も解除されます。
並び替え HDD ●全番組表示時のみ	番組の表示順を項目ごとに並び替えます。 たくさんの番組の中から再生したい番組を探すときなどに便利です。 **[▲][▼] で並び替えたい項目を選び、[決定] を押す** ●再生ナビ画面を消すと、並び替えの情報は取り消されます。
全番組表示へ HDD	全番組表示とまとめ表示を切り換えます。
まとめ表示へ HDD	
写真へ HDD RAM	ビデオ、写真の画面に切り換えます。 ● [青]、[赤] を押して画面を切り換えることもできます。
ビデオへ HDD RAM	

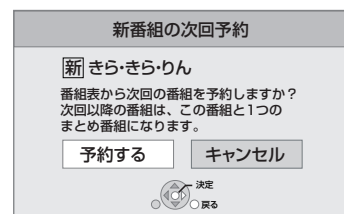
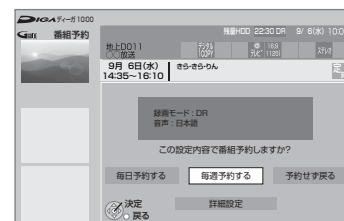
☞ **再生ナビ画面表示時に、右記の画面が表示されたとき**

連続ドラマなどの毎日·毎週予約していた番組が終了し、新番組が開始されます。
毎日·毎週予約を続けると、再生ナビ画面上で以前の番組と新しい番組とが同じ まとめ 番組になります。
予約一覧画面で「シリーズ終了」アイコンの表示がある番組を削除し、予約を登録し直すことをおすすめします。

予約番組のシリーズ終了のお知らせ

毎週予約で録画された番組名に"終"がありました。
次回以降の番組名が変わり番組追従できないことがあります。新番組の予約に登録し直すことをお勧めします。

決定
戻る

☞ 新 **アイコンの番組を再生したとき**（「新番組おまかせ録画」で録画された番組）

●番組を停止した場合、右記の画面が表示されます。
次回からも続けて番組を予約したいときは、「予約する」を選び、**[決定]** を押してください。
番組表 (G ガイド) が表示され、次回放送分の番組が選ばれた状態になります。
·番組によっては次回放送分の番組が正しく選ばれない場合がありますので、予約したい番組が選ばれているか確認してください。
(➜46「番組表（Gガイド）を使って予約録画する」手順 2 へ)※

※ 46 ページ手順 4 のときに、右記の録画予約画面が表示されます。
·毎週予約または毎日予約するときは、「毎週予約する」または「毎日予約する」を選び、**[決定]** を押してください。
·予約内容を変更するときや予約する番組が毎週予約や毎日予約でないときは、「詳細設定」を選び、**[決定]** を押してください。

●上記「予約する」の操作を行うと、新 アイコンの表示は消えます。

見る

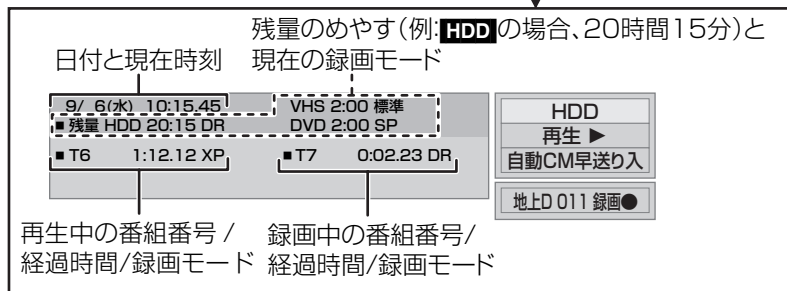
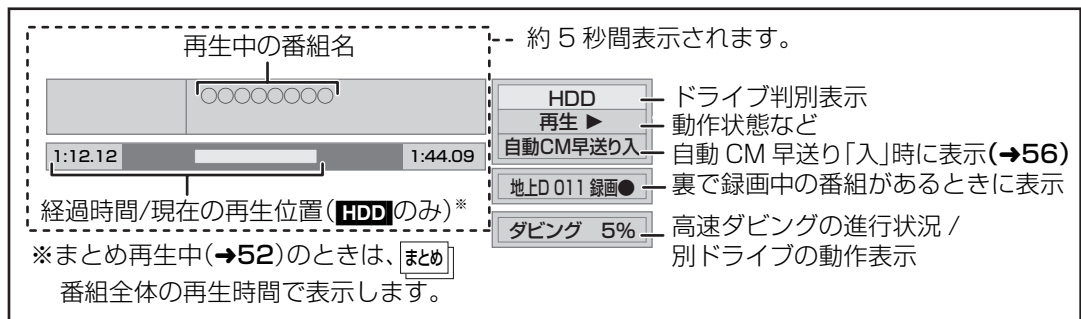
HDD・ディスクを再生する（つづき）

HDD・ディスクを再生する(つづき)

再生中のいろいろな操作

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V

操作	方法	説明
停止	[停止■]を押す	**続き再生メモリー機能** [停止■]を押すと、止めた位置を一時的に記憶します。 [再生▶]を押すと、止めた位置から再生します。 ●HDD:番組ごとに止めた位置を記憶します。再生ナビから再生すると、番組の止めた位置から再生が始まります。 ●その他のディスク:ディスク全体で1か所のみ止めた位置を記憶します。 ●記憶した位置は、トレイを開けてディスクを取り出した場合解除されます。(HDDは除く) ●電源「入」時に、停電になったり電源コードが抜けるなどで電源が切れた場合、記憶されません。
一時停止(静止画)	[一時停止 ❚❚](お好みチャンネル)を押す	●もう一度押す、または[再生▶]を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し(サーチ)	[巻戻し/サーチ/スロー ◀◀]または[サーチ/スロー/早送り ▶▶]を押す	押すごとに、または押し続けると速度が速くなります(5段階)。 ●マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。 ・1クリック回すごとに速度が速くなります(5段階)。速度を遅くすることはできません。 ●[再生▶]で通常再生に戻ります。 (マルチジョグを反対方向に回しても戻ります) ●早送り1速時のみ音声が出ます。 ●ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。
スキップ	再生中または一時停止中に、[スキップ/頭出し ⏮]または[スキップ/頭出し ⏭]を押す	押した回数だけ番組や場面を飛び越して再生します。 ●HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) チャプターマーク(➜右ページ)を作成しておくと、その場面に飛ぶことができます。(自動的に作成されるチャプターマークを含む) ●HDD スキップにより番組を飛び越して再生できません。ただし、まとめ再生中(➜52)は、[まとめ]番組内の番組を飛び越して再生できます。
30秒先へスキップする ● DVD-V は除く	[30秒スキップ]を押す	押すごとに、約30秒飛び越して再生します。
早見再生(1.3倍速)	[再生▶]を約1秒以上押す	通常よりも速い速度で再生します。 ●もう一度[再生▶]を押すと、通常再生に戻ります。 ●-RW(VR) -RW(V)ではできません。(ファイナライズしたあとでも、できません) ●DRモードの番組の場合、録画した放送の内容によっては部分的に早見再生が働かないときがあります。
スロー再生	一時停止中に、[巻戻し/サーチ/スロー ◀◀]または[サーチ/スロー/早送り ▶▶]を押す	押すごとに速度が速くなります(5段階)。 ●マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。 ・1クリック回すごとに速度が速くなります(5段階)。速度を遅くすることはできません。 ●マルチジョグを反対方向に回すと、一時停止に戻ります。 ●[再生▶]で通常再生に戻ります。 ●スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。 (DVD-Vは除く)
コマ送り/コマ戻し	一時停止中に、[◀❚❚]または[❚❚▶]を押す	押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。 ●押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。 ●[再生▶]で通常再生に戻ります。
ダイレクト再生 DVD-V	[1]~[10/0](ふた内部)でタイトルやチャプターの番号を入力する チャプターマーク 2けたで入力します。　例)5の場合:[10/0]➜[5]、15の場合:[1]➜[5] ●停止中(右の画面表示中)はタイトルを、再生中はチャプターを再生します。	DVD VIDEO RAM
画面モードを切り換える	上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。 操作方法については(➜26)	

時間を指定して飛び越す（タイムワープ） ● DVD-V は除く	**1 [12*]（ふた内部）を押す** タイムワープ **2 飛び越し時間の表示中に、[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、(決定)を押す** **飛び越し時間表示** 約5秒たつと自動的に消えます。 ●飛び越し時間表示が消えたときは、もう一度[**タイムワープ/12＊**]を押してください。 ●[▲][▼]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[▲]、戻し[▼]します。
操作の状態を表示する（情報表示）	本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。 画面表示 **（ふた内部）を押す** ●押すごとに切り換わります。 例）HDD ※まとめ再生中(➔52)のときは、[まとめ]番組全体の再生時間で表示します。 ●**HDDまたはディスクの残量表示について** ・記録する入力信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。
チャプターマークを作成する/削除する HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) ●ファイナライズしたディスクではできません。	お気に入りの場面などにチャプターマークを作成しておくと、スキップ(**➔ 左ページ**)したときに、その場面に飛ぶことができます。 ●自動CM早送り(**➔56**)が働く場面にもチャプターマークが自動的に作成されます。(最大98個) **再生中または一時停止中に、** **[10/0]（ふた内部）を押す** チャプターマーク ●**作成できるチャプターマーク数**※1 -HDD：1番組あたり最大999個※2 -RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)：最大999個※2 ※1 記録状態により異なります。 ※2 自動的に作成されるチャプターマークを含む **☞ チャプターマークを削除するには** ① 一時停止中に、[|◀◀][▶▶|]を押して、削除したい場面に飛ぶ ② [**10/0**](ふた内部)を押す ③「はい」が選ばれている状態で、[**決定**]を押す ●プロテクト設定された番組やディスクには、チャプターマークの作成や削除はできません。 ●HDD チャプターマークが最大値まで作成された場合、「サムネイル変更」(**➔62**)や続き再生メモリー機能(**➔ 左ページ**)が働かなくなります。 ●-R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) チャプターマークの作成や削除を何度も繰り返すと、ディスクに記録や編集ができなくなる場合があります。
音声を切り換える	再生中の番組の音声を切り換えます。(**➔33**)

HDD・ディスクを再生する(つづき)

再生設定

設定の基本操作
●マルチジョグの左回し/右回しで選ぶことはできません。

1 HDD/DVD/SD VHS [切換] を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ

2 再生設定 (ふた内部)を押す
●ディスクにより設定項目は異なります。

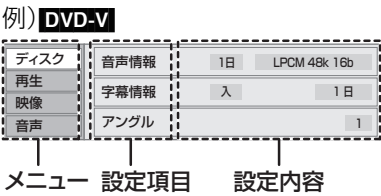
3 [▲][▼]で設定したいメニューを選び、[▶]を押す

4 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す

5 [▲][▼]で設定を変える
●[決定]を押して設定変更を実行するものもあります。

例) DVD-V

メニュー	設定項目	設定内容	
ディスク	音声情報	1日	LPCM 48k 16b
再生	字幕情報	入	1日
映像	アングル		1
音声			

設定を終了するには
[再生設定](ふた内部)を押す

ディスク独自の機能を設定する(ディスク)

音声情報※
● DVD-V 音声や言語を選びます。(➜下記「音声属性/言語」)
● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
音声属性表示のみ

信号切換
● HDD (DRモードの番組のみ)
映像や音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
▶ マルチビュー
▶ 映像
▶ 音声
▶ 二重音声
▶ 字幕(オン/オフ)
▶ 字幕言語(日本語/英語)

字幕情報※
● DVD-V 字幕表示の入/切や、言語を選びます。(➜下記「言語」)
● HDD (DRモード以外の番組のみ)
RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
入/切のみ
[他機で録画したディスクなど、字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ切り換えられます。本機では、アナログ放送の字幕情報は記録されません。デジタル放送の字幕情報は、録画モード「DR」でHDDに録画する場合を除き、録画時の「字幕」の設定(➜27,47)のまま記録され、再生時に入/切を切り換えることはできません。]

音声チャンネル
● HDD (DRモード以外の番組のみ)
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)
音声(L/R)を切り換えます。

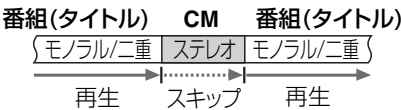
アングル※
● DVD-V アングルを選びます。

※ディスクに収録されているメニュー画面(➜51)でのみ切り換えできるものもあります。
●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法を設定する(再生)

リピート(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
●繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
▶ **番組** :番組全体
▶ **タイトル** :タイトル全体(DVDビデオなど)
▶ **チャプター** :チャプター
▶ **プレイリスト**:プレイリスト
▶ **全曲** :ディスク全体
▶ **1曲** :選んだ曲のみ

ランダム
●順不同に再生します。(CD の再生時のみ)
▶ 切
▶ 入

自動CM早送り
● HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) (音声が下記の場合のみ)
CMを自動的に飛ばして再生します。
・録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
例:下図のCM部分が5分以上の場合など

・以下の場合は働きません。
- DRモードの番組
- 外部入力から録画した番組
・設定した内容は電源を切っても保持されます。

〈音声属性〉
LPCM/ＤＤDigital/DTS/MPEG/AAC:信号タイプ
ch:チャンネル数
k:サンプリング周波数(kHz)
b:ビット数(bit)
〈言語〉

日:日本語	英:英語	仏:フランス語
独:ドイツ語	伊:イタリア語	西:スペイン語
蘭:オランダ語	中:中国語	露:ロシア語
韓:韓国語	＊:その他	

お好みの画質を設定する(映像)

画質選択

● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V

映像ディスク再生時の画質を選びます。
DRモードの番組には、「シネマ」の設定は効果がありません。

▶**ノーマル**:標準
▶**ソフト**:ざらつきの少ない柔らかな画質
▶**ファイン**:輪郭の強調されたくっきりした画質
▶**シネマ**:映画鑑賞向け
▶**ユーザー**:さらに画質を調整
[▶]で「詳細画質設定」を選び、**[決定]**を押す
·**コントラスト**(白黒の強弱)
·**ブライトネス**(画面全体の明るさ)
·**シャープネス**(鮮やかさ)
·**カラー**(色の濃さ)
·**ガンマ**(暗くて見えにくい映像の輪郭)

HDオプティマイザー

● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V

「入」を選ぶと、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

プログレッシブ(➜126)

プログレッシブ[480p(525p)]出力するかしないかを設定します。

●**初期設定**「D端子出力解像度」で「D2」~「D4」を選んでいる場合(**➜108**)
プログレッシブ[480p(525p)]出力を入/切 します。
●**初期設定**「HDMI映像優先モード」で「入」を選んでいる場合(**➜108**)
プログレッシブ[480p(525p)]出力は「入」固定になります。

映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

変換モード[「プログレッシブ」(**➜上記**)が「入」の場合のみ]

●プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

▶**Auto**(標準):フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換します。
▶**Video**:Autoでぶれが生じるとき

お好みの音声効果を設定する(音声)

音質効果

● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V CD

リ.マスター
(サンプリング周波数が48 kHz以下で記録された音声のみ)
音声圧縮処理によって欠落したデジタル信号の高音域部分を復元することで、より豊かな音質を楽しめます。
·音声がひずむ場合、「切」にしてください。
·再生する内容によっては、効果が現れない場合があります。

サラウンド(2チャンネル以上の音声のみ)
フロントスピーカー(L/R)だけで音の臨場感を出します。
·音声がひずむ場合、「切」にしてください。
·接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。
·本機で録音した二重音声には働きません。
·再生する内容によっては、効果が現れない場合があります。
· CD 音楽には働きません。

▶**リ.マスター標準**
▶**リ.マスター強**
▶**サラウンド標準**
▶**サラウンド強**
▶**切**

●リ.マスターとサラウンドの両方を同時に設定することはできません。
●音質効果をHDMI出力や光デジタル出力で働かせるためには、**初期設定**「デジタル出力」を「PCM」に設定してください。(**➜106**)(ただし、2チャンネルの音声になります)

シネマボイス

● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V

(ドルビーデジタル、DTS、AACでセンターチャンネルを含むディスクのみ)
セリフを聞き取りやすくします。

プレイリストの再生 (他の機器で作成したプレイリストのみ)

RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

他のDVDレコーダーなどで作成したプレイリストを再生することができます。本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

●再生可能なディスクを入れる。(**➜19**)
●**[HDD/DVD/SD/VHS切換]**を押して、「DVD」を選ぶ。

1 停止中に、

を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 [▲][▼]で「プレイリスト」を選び、(決定)を押す

4 [▲][▼][◀][▶]で再生したいプレイリストを選び、(決定)を押す

●選んだプレイリストの再生が始まります。

前後のページを表示するには
[|◀◀]または[▶▶|]を押す

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

VHSを再生する

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- [電源]を押して、本機の電源を入れる。
- 記録済みのカセットを入れる。(➜19)

■ふたを開いたところ

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、「VHS」を選ぶ

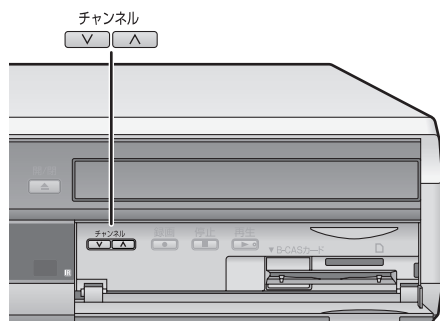
- 押すごとに、ドライブが切り換わります。

- 表示が消えると、選ばれたドライブに切り換わります。
([決定] を押すと、早く切り換えることができます)

2 再生▶ を押して、再生を始める

録画モード「DR」以外での
HDD録画中は、再生できません。
早送り、巻き戻しの操作は可能です。

SQPB(S-VHS 簡易再生)機能

(SQPB＝ S-VHS(エスブイエッチエス) Quasi(クワジ) Playback(プレイバック))
- S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットも再生することができます。
ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
- デジタル(D-VHS)方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。

お知らせ

- 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが"OFF"になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。(停止中、または録画モード「DR」でHDD録画中)
- カセットが入っているときは、電源が切れていても、[再生▶]を押すだけで再生を始めます。(電源を切る前に、VHSドライブを選んでいたときのみ)
- 本機以外の機器で5倍モード(➜70「VHSの録画モードについて」)で記録されたカセットは、再生できません。
- 5倍モードでダビングされたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
また、カセットによっては自動調整できないこともあります。
このときは、手動でトラッキングを調整してください。(➜61)

プログレッシブ対応テレビで高画質に楽しむ

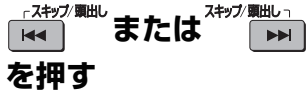
本機背面のD端子(D4まで)(➜準備編 9)またはHDMI映像·音声出力端子(➜準備編 10)と接続している場合、VHSの再生時も、プログレッシブの映像でお楽しみいただけます。(プログレッシブ➜126)
- D端子(D4まで)と接続している場合:
  - ·**初期設定**「D端子出力解像度」が「D2」～「D4」のときは、480p(525p) で出力されます。(➜準備編 26)
  - ·**初期設定**「D端子出力解像度」が「D1」のときは、プログレッシブでは出力されません。[480i(525i) で出力されます]
- HDMI映像·音声出力端子と接続している場合:
  - ·**初期設定**「HDMI 出力解像度」の設定に従って出力されます。(➜108)

再生中のいろいろな操作

停止	[停止■]を押す	
一時停止(静止画)	[一時停止 ❚❚ お好みチャンネル]を押す	●もう一度押すと、再生を再開します。 ●音声は出ません。 ●5倍モードでダビングされた部分では画面が乱れます。 ●静止画再生を約5分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。
早送り/巻き戻し	停止中に、 [巻戻し サーチ/スロー ◀◀]または[サーチ/スロー 早送り ▶▶]を押す	●テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。 ●早送り(巻き戻し)は高速で行うため、動作音が大きくなります。 また、[停止■]を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
早送り/ 巻き戻し再生	[巻戻し サーチ/スロー ◀◀]または[サーチ/スロー 早送り ▶▶]を押す (または押し続ける)	押すごとに速度が切り換わります。 標準のとき　　:約9倍速⟷約13倍速 3倍·5倍のとき:約27倍速⟷約43倍速 ●マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります(3段階)。速度を遅くすることはできません。 再生速度は、録画モード(➜70「VHSの録画モードについて」)によって異なります。 ●[再生▶]で通常再生に戻ります。 (マルチジョグを反対方向に回しても戻ります) ●[巻戻し◀◀][早送り▶▶]を押し続けるときは、指を離すと通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。 ●13倍速(43倍速)にすると映像が乱れることがあります。 ●5倍モードでダビングされた部分は、43倍速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。 ●テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。 ●約10分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。
スロー再生	[一時停止 ❚❚ お好みチャンネル]を約2秒以上押し続ける	●一時停止中に、マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります。速度を遅くすることはできません。 ·右回し:スロー再生(3段階) ·左回し:逆再生(逆スロー再生はできません) ●マルチジョグを反対方向に回すと、一時停止に戻ります。 ●[再生▶]で通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。 ●5倍モードでダビングされた部分では画面が乱れます。 ●スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。
画面モードを 切り換える	上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。 ☞ 操作方法については(➜26)	
音声を切り換える	再生中の番組の音声を切り換えます。(➜33)	

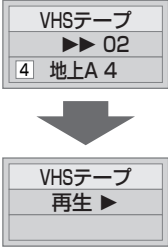
VHSを再生する(つづき)

再生中のいろいろな操作(つづき)

頭出し

本機でカセットにダビングすると、以下の場合に頭出し信号が記録されます。これを使ってダビングを始めたところを頭出しすることができます。
- ダビングを始めたとき
- 複数番組のダビング時は、番組が切り換わったとき

[スキップ/頭出し ⏮] または [スキップ/頭出し ⏭] を押す

早送り(巻き戻し)を始め、押した回数だけ先の(前の)番組を再生します。

早送り方向…[⏭]
巻戻し方向…[⏮]

お知らせ

- 最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 頭出し信号どうしの間隔が短い場合は、正しく探せないことがあります。記録は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。

戻し方向 ← → 送り方向

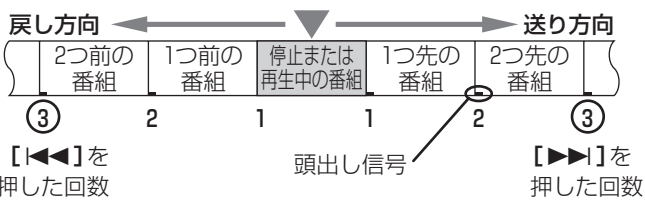
2つ前の番組	1つ前の番組	停止または再生中の番組	1つ先の番組	2つ先の番組

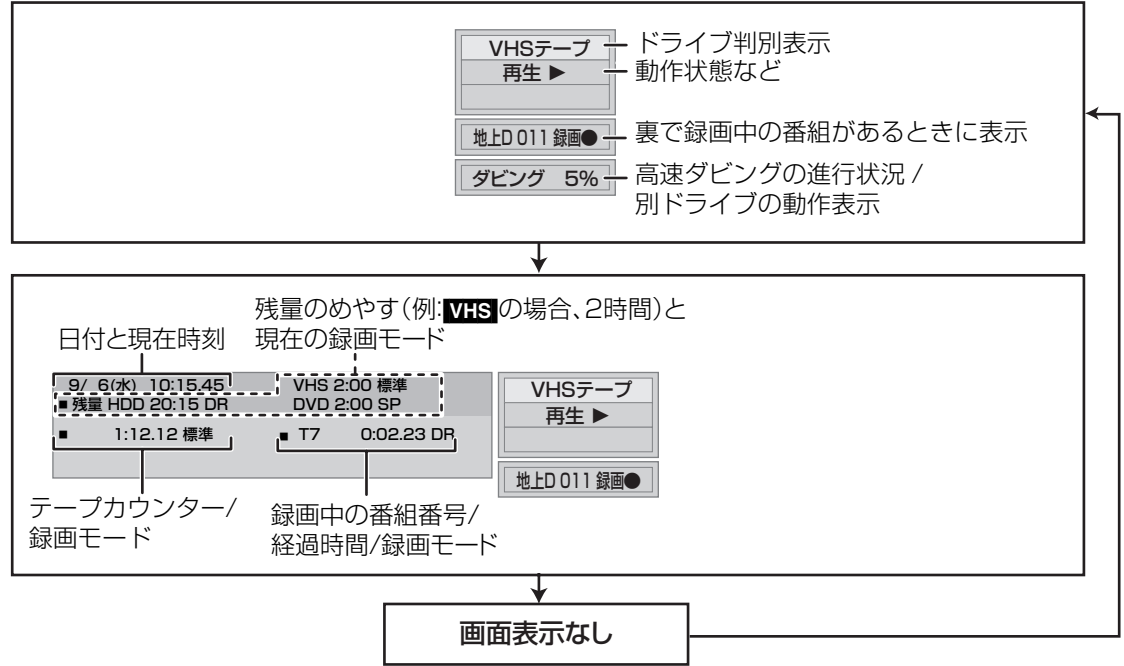
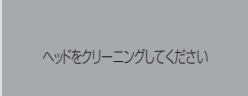
③ 2 1 1 2 ③

[⏮]を押した回数　頭出し信号　[⏭]を押した回数

- 録画モード「DR」以外でのHDD録画中は、頭出しすることができません。

操作の状態を表示する(情報表示)

本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

[画面表示](ふた内部)を押す

- 押すごとに切り換わります。

- **VHSの残量表示について**
  - ・テープ残量は、再生などの操作をしたあとに計算されます。カセットを入れた直後などは表示されません。また、多少時間がかかることがあります。
  - ・次の場合は、正しい表示になりません。
    - **初期設定**「テープ長さ」(➔105)を正しく合わせていないとき
    - 品質の悪いカセットを使ったとき
- VHSの再生時は、**[リセット/消去]**を押すと、テープカウンターの値が「0:00.00」になります。

きれいに再生できないとき

再生画面にノイズが出るときは、次の3つの要素が考えられます。

① **トラッキングがずれている**
（白い帯状のノイズが出るときなど）

② **ビデオヘッドが汚れている**
（画面全体にノイズが出るときなど）

③ **テープがいたんでいる**
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となる恐れがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

①トラッキングを調整する	再生中に、 （[∧]または[∨]） **を押し続ける**	●ノイズが消えるまで押し続けてください。 ●[**チャンネル∧,∨**]を同時に押すと、自動調整に戻ります。 ●通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別の機器で録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。 〇〇お知らせ〇〇 ●調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。 ●テープによっては、調整しきれないことがあります。 ●静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。 ●本体の[**チャンネル∨,∧**]でも調整できます。
②ビデオヘッドをクリーニングする	再生中、本体表示窓に"U11"が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。またこのとき、テレビ画面には右図のような表示が出ます。	本体表示窓　テレビ画面
	乾式のビデオヘッドクリーナー（別売）（➜準備編 裏表紙）を入れ、 再生▶**を押して約10秒間再生する**	●約10秒後に[**停止■**]を押してください。（テープカウンターは動きません。約10秒程度をめやすに、再生を停止させてください。） ●このあと、記録済みのカセットを入れて再生してみてください。 ●3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。
静止画面が上下にゆれるとき	静止画再生中に、 （[∧]または[∨]） **を押し続ける**	静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。 ●ゆれが止まるまで押し続けてください。 ●[**チャンネル∧,∨**]を同時に押すと、元の状態に戻ります。 〇〇お知らせ〇〇 ●本体の[**チャンネル∨,∧**]でも調整できます。 ●テレビの垂直同期も調整してみてください。（テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください）

番組を編集する

チャプターマークの作成や削除は(➜55)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
(ファイナライズしたディスクでは編集できません。ただし、-R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)は、ファイナライズ後でも「内容確認」のみできます。)

- ディスクの内容を直接編集します。消去などを行った場合には、元に戻すことはできません。お気をつけください。
- 録画やダビング中に「部分消去」、「番組分割」、「サムネイル変更」はできません。
- カセットに記録された番組は表示されません。
- RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) 他の機器で作成したプレイリストがある場合、その元になる番組を編集すると、プレイリストは変更されます。
- **初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜107)が「入」の場合、再生ナビ画面を表示中に、約 10 分以上本機の操作を何も行わなかったときは、再生ナビ画面は消えます。

編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集はHDD上で行い、そのあと -R(VR) -R DL(VR) にダビングすることをお勧めします。

- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したい映像が入っているドライブ(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。
- ディスクやカートリッジの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜97)

基本操作 ① 選び ② 決定する

1 再生中または停止中に、再生ナビ を押す

☞ HDD RAM
「番組一覧」を表示するには
[青](ビデオ)を押す

例) HDD

2 編集する番組を選び、サブメニュー を押す

☞ まとめ **番組内の番組を編集するには**
① [▲][▼]で編集する番組のある まとめ アイコンの番組を選び、[決定]を押す
② [▲][▼]で編集する番組を選び、[サブ メニュー]を押す

☞ **前後のページを表示するには**
[|◀◀]または[▶▶|]を押す

☞ **複数の番組をまとめて編集するには**
[▲][▼]で番組を選び、[一時停止❚❚] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

例) HDD

操作方法は ➜53 「再生ナビ画面の便利な機能」

3 編集する項目を選び、決定 を押す(➜右記へ)

- 「番組編集」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

☞ **前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞ **画面を消すには**

を押す

番組を消す
番組消去

内容を確認する
内容確認

番組名を付ける / 変更する
番組名編集

誤消去防止の設定/解除
プロテクト設定 / 解除
HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

番組の不要な部分を消す
部分消去
HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

番組を2つに分割する
番組分割
HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

トップメニューで表示される画像(サムネイル)を変更する
サムネイル変更
- 「1 回だけ録画可能」の番組を除く

消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す

消去後のディスク残量については(➜94)

番組名、録画日、チャンネルなどの確認ができます。

画面を消すには

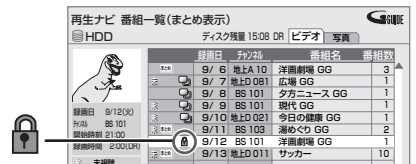
[決定]を押す

文字入力については(➜99)

- 新 アイコンの番組は変更できません。
- まとめ 番組の場合は、まとめ 番組内の最初の番組の名前が表示されます。
  まとめ 番組の番組名を変更しても まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

大切な記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」が選ばれている状態で、(決定)を押す

- プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。(まとめ アイコンの番組を選んでプロテクト設定した場合は、まとめ 番組内の番組を一覧表示した画面に「🔒」が表示されます)

記録した番組の消したい部分を指定して消去します。一度にまとめて消去できるのは20区間までです。

1 再生▶ を押して、再生を始める

2 「開始点」が選ばれている状態で、消去する部分の開始点※で(決定)を押す

3 再生▶ を押して、再生を始める

4 「終了点」が選ばれている状態で、消去する部分の終了点※で(決定)を押す

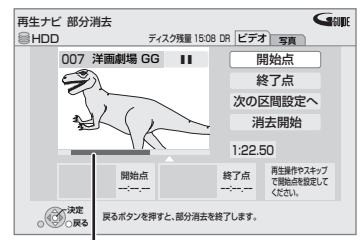
5 (続けて別の不要な部分を設定する場合)

[▲][▼]で「次の区間設定へ」を選び、(決定)を押す(➜手順2へ)

- 「次の区間設定へ」を選ぶと、すでに設定した区間の変更はできなくなります。

6 [▲][▼]で「消去開始」を選び、(決定)を押す

7 [◀]で「実行」を選び、(決定)を押す

- 部分消去した場面には、チャプターマークが作成されます。

黒い部分が消去される部分です。開始点を含む場面から終了点の直前までを消去します。

分割すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

1 「分割」が選ばれている状態で、分割する場面※で(決定)を押す

分割する場面を確認するには

「プレビュー」が選ばれている状態で、[決定]を押す
・分割する場面の前後10秒間が再生されます。

分割する場面を選び直すには

①[▲][▼]で「分割」を選び、[再生▶]を押して再生を始める
②分割する場面で、[決定]を押す

2 [▲][▼]で「終了」を選び、(決定)を押す

3 [◀]で「分割」を選び、(決定)を押す

- 分割した番組は、まとめ表示では まとめ アイコンの番組になります。
- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」(➜上記)で確認のうえ、実行してください。
- 番組名(➜上記)や録画制限などの情報は、分割した番組の両方に反映されます。

-R(V) -R DL(V) -RW(V) ファイナライズ後のトップメニュー画面で表示される画像を変更することができます。(➜98)
HDD 「サムネイル変更」を設定しておくと、-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速ダビング後も設定は保持されます。

1 再生▶ を押して、再生を始める

2 「変更」が選ばれている状態で、お好みの場面※で(決定)を押す

場面を選び直すには

①[▲][▼]で「変更」を選び、[再生▶]を押して再生を始める
②お好みの場面で、[決定]を押す

3 「終了」が選ばれている状態で、(決定)を押す

※編集したい場面を正確に選ぶには

① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜54,55)を使って、目的の部分を探す
② 編集したい場面で [一時停止❚❚] を押し、[◀❚❚] [❚❚▶] を押して場面を調整する

編集

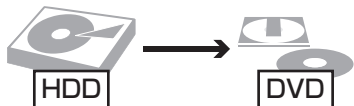
番組を編集する

番組のダビングについて

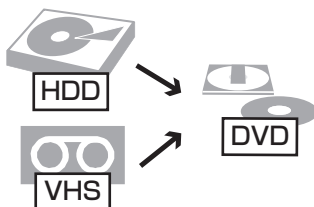
本機では、以下の３種類から番組のダビング方法が選べます。(写真のダビングは ➜90)

再生中番組の保存

HDDで再生中の番組を、DVDへダビングすることができます。
複数の音声や映像などが含まれるDRモードの番組の場合、ダビングする映像･音声などを選ぶことができます。

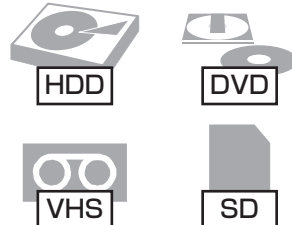
ダビングできる方向

おまかせダビング

ダビングの操作手順を音声ガイドが案内してくれます。音声ガイドに従って操作するだけなので、難しい設定なしに、HDDまたはVHSにある番組を簡単にダビングできます。

ダビングできる方向

※DVD-R、DVD-R　DL、DVD-RWにダビングする場合、ダビングを終了したあと自動的に、ファイナライズまで行います。

詳細ダビング

お好みの設定で番組のダビングを行うことができます。
リストを作ってダビングする方法と、録画時間を指定してダビングする方法があります。

ダビングできる種類

Q 何から何へダビングする?		Q どんなダビングがしたい?	A おすすめのダビング方法は…
HDD	DVD-RAM / DVD-R / DVD-R DL / DVD-RW	★デジタル放送の番組で、ダビングする映像や音声、字幕情報の入/切などの内容を選んでダビングする ★再生中の番組をダビングする	再生中番組の保存➜71 高速OK　DRモードの番組は高速ダビングできません。
HDD	DVD-RAM / DVD-R / DVD-R DL / DVD-RW	★いくつかの番組を組み合わせてダビングする	おまかせダビング ➜72 高速OK　ファイナライズ自動
			リストを作ってダビング ➜74 高速OK　ファイナライズ選択　CM早送り
HDD	DVD-RAM / DVD-R / DVD-R DL / DVD-RW	★録画モードを自分で設定してダビングする	リストを作ってダビング ➜74 高速OK　ファイナライズ選択　CM早送り
HDD	VHS	★いくつかの番組を組み合わせてダビングする	リストを作ってダビング ➜74 1倍速　CM早送り
VHS	HDD	★指定した時間だけダビングする ★4.7 GBのディスクにぴったり収まるようにダビングする	時間を指定してダビング ➜78 1倍速
VHS	DVD-RAM / DVD-R / DVD-R DL / DVD-RW	★カセットの記録部分だけをすべてダビングする	おまかせダビング ➜72 1倍速　ファイナライズ自動
VHS	DVD-RAM / DVD-R / DVD-R DL / DVD-RW	★指定した時間だけダビングする ★ディスクの残量に合わせてぴったりダビングする	時間を指定してダビング ➜78 1倍速　ファイナライズ選択

マークの見かた

ダビング速度

- 高速OK　高速でダビングすることができます。(高速でダビングできない場合➜67)
- 1倍速　番組の記録時間またはそれ以上の時間がかかります。

自動CM早送り

- CM早送り　録画モードが「高速」以外のときに、番組のCMを飛ばしてダビングすることができます。

ファイナライズの実行

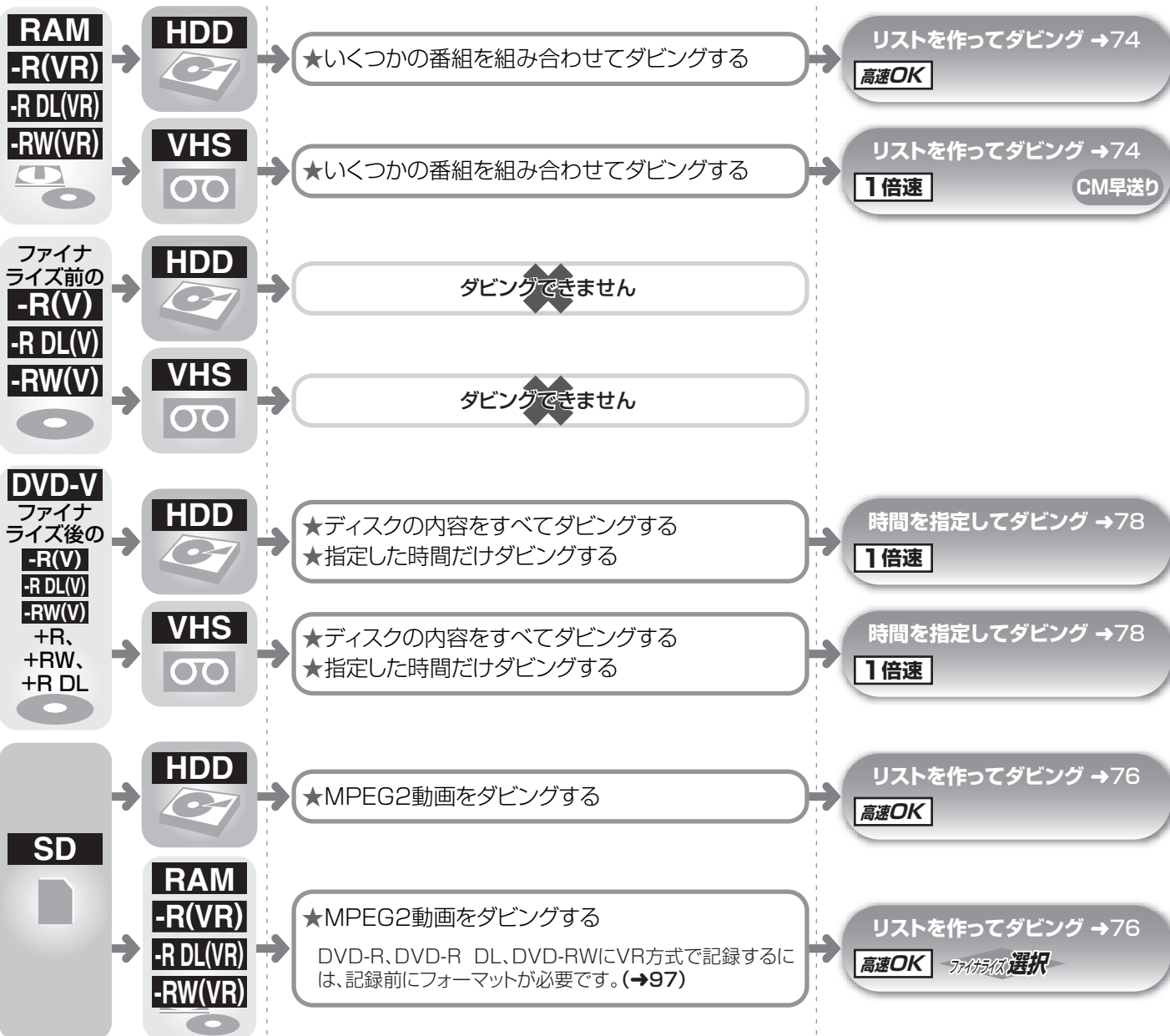
DVD-R、DVD-R DL、DVD-RWにダビングするとき

ダビングのあと自動でファイナライズします。

ダビングのあとファイナライズを行うか選択できます。

「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」は選べません。背景の色や再生方法を設定したい場合は、ダビングする前に、DVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(➜98)

ハイビジョン画質のまま ダビングはできません	録画モード「DR」で録画したハイビジョン画質の番組をそのままの画質でダビングすることはできません。

Q 何から何へダビングする?		Q どんなダビングがしたい?	A おすすめのダビング方法は…
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	HDD	★いくつかの番組を組み合わせてダビングする	リストを作ってダビング ➔74 高速OK
	VHS	★いくつかの番組を組み合わせてダビングする	リストを作ってダビング ➔74 1倍速 CM早送り
ファイナライズ前の -R(V) -R DL(V) -RW(V)	HDD	ダビングできません	
	VHS	ダビングできません	
DVD-V ファイナライズ後の -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R、+RW、+R DL	HDD	★ディスクの内容をすべてダビングする ★指定した時間だけダビングする	時間を指定してダビング ➔78 1倍速
	VHS	★ディスクの内容をすべてダビングする ★指定した時間だけダビングする	時間を指定してダビング ➔78 1倍速
SD	HDD	★MPEG2動画をダビングする	リストを作ってダビング ➔76 高速OK
	RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	★MPEG2動画をダビングする DVD-R、DVD-R DL、DVD-RWにVR方式で記録するには、記録前にフォーマットが必要です。(➔97)	リストを作ってダビング ➔76 高速OK ファイナライズ選択

番組のダビングについて（つづき）

ダビング Q&A

Q（質問）	A（回答）
こういうときはどのダビングで行えばいいですか？	
ダビング先のディスク残量が気になるとき	**詳細ダビング**です。 録画モードを変更してダビングすれば、ダビング先の容量に合わせてダビングできます。 **録画モードを「FR」にしてダビングすると、**ディスク残量に合わせて画質を自動で調節して記録します。ただし、何番組かをまとめてダビングする場合、ディスク残量ぴったりにならないことがあります。 ●ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。（劣化防止にはなります）
複数の映像や音声を含んだDRモードの番組をダビングするとき	**再生中番組の 保存**でDVDへダビングしてください。 DVDまたはVHSには映像や音声を1つしかダビングできません。 「再生中番組の 保存」だと、ダビングしたい映像や音声を選んだ状態でDVDへダビングできます。
カセットの未記録部分を飛ばしてダビングしたいとき	**おまかせダビング**をおすすめします。 ディスク残量に合わせて画質を調整しながら、カセットに録画されている部分のみをDVDへ記録できます。 HDDにダビングしたいときなどは、「録画時間を指定してダビングする」（詳細ダビング）で、録画モードを「FR」、「時間設定」を「切」にしてダビングしてください。（➜78）
番組のCMを飛ばしてダビングしたいとき	**詳細ダビング**です。 録画モードを「高速」以外に設定したときに実行できます。[DRモードの番組をダビングするとき、またはカセット、ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）からダビングするときは働きません] ●5分以上のCMには働きません。 ●番組の一部をCMとまちがえて、ダビングされない場合があります。 デジタル放送などの移動される番組（➜下記）では、元の番組が消されてしまうため、元に戻すことができません。CMを「部分消去」（➜62）で消してから、「切」（➜74「詳細設定」）でダビングすることをおすすめします。 **自動 CM 早送り** 音声が下記の場合のみ働きます。 番組 CM 番組 モノラル／二重 ステレオ モノラル／二重 再生 スキップ 再生 録画内容によっては正しく働かない場合があります。
デジタル放送の番組をダビングするとき、気をつけることは？	
デジタル放送の番組をHDDからディスクへダビングすると、HDDの番組が消去されるって本当ですか？	**HDDの番組は消去されます。** 「1回だけ録画可能」の番組は、HDDからCPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) へ移動できます。（HDDからは消去されます）複製はできません。 録画内容が消える 内蔵 HDD 移動 番組 ダビングできません プロテクト（➜62）を設定した番組 ●DVDディスクからHDDへの移動はできません。 ● RAM -R(VR) -RW(VR) にダビング（移動）する場合は、当社製のCPRM対応のディスクのご使用をおすすめします。
デジタル放送の番組は、カセットにもダビングできますか？	**ダビング（複製）できます。** ただし、「1回だけ録画可能」の番組をカセットへダビングすると、コピー制御信号が合わせて記録されます。再度、HDDやディスクへダビング（複製）するときは、コピー制御信号が記録された部分はダビング（複製）されません。 番組 番組 複製 番組 ダビングされません 内蔵 HDD 内蔵 HDD ●カセットにダビングする場合、マクロビジョン（著作権保護技術）信号により正常にダビングできないことがあります。
ハイビジョン画質やサラウンド音声をそのままダビングできますか？	画質や音声をそのままダビングすることはできません。以下のようにダビングされます。 **DRモードの番組** ➜ **ダビング後** ハイビジョン画質の映像 ➜ アナログ放送の録画画質に変換されてダビング サラウンド番組の音声 ➜ ステレオ音声でダビング 複数の映像が含まれている番組 ➜ 映像は1つだけダビング※ 複数の音声が含まれている番組 ➜ 音声は1つだけダビング※ 字幕情報が含まれた番組 ➜ 再生時、字幕表示の入/切はできない※ ※映像や音声、字幕情報を選んでダビングしたい場合は、「再生中番組の保存」でダビングしてください。（➜71）

Q(質問)	A(回答)
高速ダビングと１倍速ダビングの違いは？ ダビング中に録画や再生はできますか？	**高速ダビングは…** ダビングする番組の記録時間よりも短い時間でダビングします。画質(録画モード)を変えずに、すばやくダビングすることができます。 **１倍速ダビングは…** ダビングする番組の記録時間と同じ時間、またはそれ以上の時間をかけてダビングします。録画モードを選んでダビングすることができます。 ●ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。(劣化防止にはなります)

	高速ダビング	1倍速ダビング
「サムネイル変更」の保持	○	×
「チャプターマーク」の保持	○※1	×
ダビング中の録画・再生	○※2	×

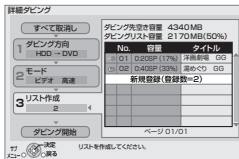
※１ -R(V) -R DL(V) -RW(V) チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。
※２ **HDDの番組のみ可能**です。(ただし、おまかせダビング中やファイナライズを含むダビング中、SDカードのMPEG2動画をダビング中はできません)
・追っかけ再生などはできません。
・写真の再生はできません。

Q(質問)	A(回答)
高速でダビングできないのはどんな場合？	下記の場合、1倍速でのダビングになります。 **●「DRモードの番組」をダビングする場合** 「DRモードの番組」は、**初期設定**「高速ダビング用録画」**(➜105)**を「入」にして録画しても、高速でダビングできません。 **● -R(V) -R DL(V) -RW(V) に下記のようにダビングする場合** ・**初期設定**「高速ダビング用録画」**(➜105)**を「切」にして、HDDに記録した番組を含むダビング ・部分消去を繰り返した番組 ・SDカードのMPEG2動画をHDDにダビングした番組 **●詳細ダビングで「録画モード」を「高速」以外にした場合** **● VHS を含んだダビングをする場合** HDD/DVDからVHSへ、またVHSからHDD/DVDへのダビング時は、高速でダビングできません。

高速でのダビング所要時間のめやす(最高速時/JEITA測定基準によるダビング時間と倍速表示値を示す)

HDD 録画モード	HDD 録画時間	5X高速記録対応DVD-RAM 所要時間	5X高速記録対応DVD-RAM 倍速	16X高速記録対応DVD-R※1 所要時間	16X高速記録対応DVD-R※1 倍速	4X高速記録対応DVD-R DL(片面2層) 所要時間	4X高速記録対応DVD-R DL(片面2層) 倍速	4X高速記録対応DVD-RW※2 所要時間	4X高速記録対応DVD-RW※2 倍速
XP	1時間	約12分	約5倍	約5分46秒	約10倍	約15分	約4倍	約15分	約4倍
SP	1時間	約6分	約10倍	約2分30秒	約24倍	約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍
LP	1時間	約3分	約20倍	約1分17秒	約47倍	約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍
EP(6時間)	1時間	約2分	約30倍	約55秒	約66倍	約2分30秒	約24倍	約2分30秒	約24倍
EP(8時間)	1時間	約1分30秒	約40倍	約45秒	約80倍	約1分53秒	約32倍	約1分53秒	約32倍

1時間の番組をHDDに録画し、表に記入した高速記録対応ディスクに高速ダビングした場合のダビング速度の最速値です。
ディスク上の書き込み位置やディスクの特性などの条件により時間や速度が変わります。

※1 本機では16X高速記録対応DVD-Rを使用しても、最大12Xの速度でダビングします。
※2 本機では6X高速記録対応DVD-RWを使用しても、最大4X高速記録対応DVD-RWの速度でダビングします。

●ダビング中にHDDの録画や再生をすると、最高速度にならないことがあります。

高速記録対応ディスク(RAM 5X、-R(VR) -R(V) 8X以上など)に高速ダビングする場合
動作音が気になるときは、**初期設定**「DVDの高速ダビング速度」**(➜105)**を「静音モード」にしてください。ただし、ダビングにかかる所要時間は長くなります。

番組のダビングについて（つづき）

ダビング Q&A（つづき）

Q（質問）	A（回答）
-R(V) -R DL(V) -RW(V) へのダビングや VHSからのダビングに時間がかかるのはなぜ？ またダビングできない場合は？	●**以下の場合、1倍速で番組をHDDに一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングするため時間がかかります。** ・HDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速モード以外でダビングする場合 ・VHSからDVDへダビングする場合 ●**以下の場合、上記のダビングはできません。** HDDの不要な番組を消去(➜94)してからダビングしてください。 ・HDDの残量が少ないとき（使用するディスクによっては、HDDの残量がSPモードで最大4時間必要な場合があります） ・HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500を超えるとき ダビング後、一時的に複製したHDDの番組は消去されます。
ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？	例）番組A・B・Cの順にダビングして 番組Cの途中で中止した場合 番組A／ダビング完了　番組B／ダビング完了　番組C　中止 高速 番組A・Bのみダビングされます。 1倍速 番組A・Bと番組Cの途中までがダビングされます。 ただし ●HDDからDVDへのダビングで、番組Cが「1回だけ録画可能」の番組の場合 ・番組Cはダビング（移動）されず、HDDに残ります。 ●HDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合 ・[HDDに一時的に複製中(➜上記)のとき]番組A・B・Cはダビングされません。 ・[ディスクに高速ダビング中(➜上記)のとき]番組Cはダビングされません。 ●VHSからDVDへダビングする場合 ・[HDDに一時的に複製中(➜上記)のとき]番組A・B・CはDVDへダビングされません。HDDに番組A・Bと番組Cの途中までが複製されたまま残ります。※ ・[ディスクに高速ダビング中(➜上記)のとき]番組CはDVDへダビングされません。HDDに番組A・B・Cが複製されたまま残ります。※（ただし、番組Aが「1回だけ録画可能」の番組の場合は、HDDには番組B・Cのみが残ります） ※ HDDに残った番組はDVDへダビングし直すことができます。 HDDの再生ナビ画面で、チャンネルが「VHS」の番組を選び、内容をご確認のうえ、ダビングすることをおすすめします。 -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) に高速ダビングする場合、番組Cがダビングされていない場合でも、番組Cの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、ディスク残量は減少します。
ダビング中に予約録画の開始時刻になるとどうなる？	高速 予約録画が実行されます。 （ただし、おまかせダビング中、ファイナライズを含むダビング中は実行されません） 1倍速 予約録画は実行されません。 ●ダビング中のため予約録画が実行されなかった場合、ダビング終了後の時間から、予約録画は開始されます。
複数の番組を組み合わせてダビングする場合、ダビングされる順番はどうなる？	おまかせダビング 画面の上から順にダビングされます。 （登録した順にダビングはされません） 詳細ダビング 「No.」の順にダビングされます。 ●お好みの順にダビングしたい場合は、「詳細ダビング」で1つずつ番組を登録してください。
HDD/DVDへ複数の番組をダビングしたあと、再生するには？	再生するときは、[**再生ナビ**] を押して番組を選んで再生してください。(➜52)

ダビングにかかる制限について

本機では、HDDまたはディスクにワイド放送や音声多重放送の番組をダビングするとき、使用するディスクや設定によって、以下のような制限がかかります。

16:9映像や4:3映像の番組のダビング

- に 1 倍速でダビングする場合
- **初期設定**「高速ダビング用録画」(➜105)を「入」にして、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)から HDD にダビングする場合
- **初期設定**「高速ダビング用録画」(➜105)を「入」にして、VHS から HDD にダビングする場合

初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」(➜105)の設定に従って記録されます

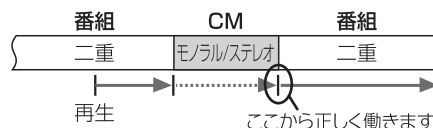
- **VHS からダビングする場合**
  設定を「オート」にしているときは、4:3 で記録されます。16:9 映像を記録したカセットをダビングするときは、「16:9」に設定してダビングすることをおすすめします。
  (お買い上げ時の設定は「オート」です)

主･副両音声を記録した番組のダビング

- にダビングする場合
- **初期設定**「高速ダビング用録画」(➜105)を「入」にして、VHS から HDD にダビングする場合
- **初期設定**「XP時の記録音声モード」(➜106)を「LPCM」にし、XP モードで、1 倍速でダビングする場合

どちらか一方のみ記録されます

初期設定「二重放送音声記録」の設定に従って記録されます。
ダビング前に記録したい音声を選んでください。(➜106)

- **VHS からダビングする場合**
  二重放送の番組の途中からダビングを始めたときは、その二重放送の間は**初期設定**「二重放送音声記録」の設定が正しく働きません。CM がモノラル放送またはステレオ放送で、次の音声が二重放送に切り換わったときに正しく働きます。

- 当社製の自動 CM 早送り機能付きビデオで録画していないカセットなどの場合は、そのままでダビングすると、主･副両音声が記録され、再生時に音声が混ざって聞こえます。
  ダビング前に VHS 側で **[音声]** を押して、記録したい音声に切り換えておいてください。

デジタル放送のマルチ音声など 複数の音声を含んだ番組のダビング

音声は 1 つだけ記録されます

記録する音声を選んでダビングしたい場合は、「再生中番組の保存」でダビングしてください。(➜71)

ハイビジョン画質やサラウンド音声をそのままダビングできますか？(➜66)

-R DL(VR) -R DL(V) にダビングする場合
2層にまたがって記録された番組は、再生時に層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。(➜9)

番組のダビングについて(つづき)

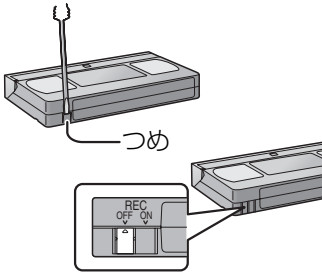
VHSを含んだダビングについて

本機では、VHS、S VHS、D VHS マークの付いたカセットにダビングできます。

記録済みの番組を誤って消さないために

●誤消去防止用の「つめ」を折ってください。
再び記録できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)

●誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて "OFF" にしてください。"ON" に戻すと、再び記録できます。

●カセットの説明書もよくご覧ください。

VHS の録画モードについて

標準:カセットに表示されている時間の記録ができます。
3 倍:標準に対して 3 倍の記録ができます。
5 倍:標準に対して 5 倍の記録ができます。

●本機で 5 倍モードでダビングしたカセットは、他のビデオでは再生できません。
カセットのラベルに「5 倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
●5 倍モードでダビングした番組を、再び HDD やディスクにダビングすると、ノイズが入る場合があります。
●他のビデオで再生したり、保存を目的とするときは、標準モードでダビングすることをおすすめします。

頭出し信号の書き込みと番組分割

HDD/DVD から VHS へダビングすると、1 つの番組ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます
ダビング後は、番組を頭出し(➜60)して探すことができます。

VHS から HDD/DVD へダビングすると、テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して記録します
ダビング後は、再生ナビ画面(➜52)から番組を探すことができます。

●約 15 分(5 倍モード時は約 25 分)以内の番組は、正しく分割されない場合があります。
●頭出し信号の数によっては、記録時間が実際よりも多少長くなる場合があります。
●分割動作をする際、テープの巻き戻し画面になる場合があります。

ダビングの種類や設定によって、頭出し信号の書き込み / 番組分割しない場合もあります(➜ 下記)

HDD へダビングするときは

HDD へダビングした番組を、あとで HDD から -R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速モードでダビングしたい場合は、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。
(お買い上げ時の設定は「入」です)

VHSを含んだダビング中の動作やダビング中にできる操作には、ダビングの種類、方向などによって以下のような違いがあります。

	おまかせダビング	ダビングリストを作成してダビング	録画時間を指定してダビング	
ダビング方向	VHS → DVD	HDD → VHS DVD → VHS	VHS → HDD VHS → DVD	DVD → VHS
頭出し信号の書き込み / 番組分割	○	○	○※ (「時間設定」が「切」の場合のみ)	×
[チャンネル∧,∨] によるトラッキング調整(➜61)	○	×	○	×

※ **番組分割しないでダビングしたいときは、「時間設定」を「入」にしてダビング**してください。(**➜79「ダビング時間」**)
ただし「時間設定」を「入」にした場合は、番組は分割されませんが、頭出し信号を検出するごとにチャプターマーク(**➜55**)が作成されます。ダビング後は、スキップ(**➜54**)を使って場面を飛び越すことができます。

番組をダビングする

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中に、ディスクへダビングすることができます。(再生中の番組を1つだけダビングします)

ダビング方向: HDD ➡ RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

準備
- ●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「HDD」を選ぶ。
- ●ダビング可能なディスクを入れる。(➜19)
- ●ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

お知らせ
- ●1倍速でダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビング中にHDDの録画や再生をするには(高速でダビング時のみ)

 を押して確認画面を消したあと、録画・再生の操作をする
- ●[画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

(➜68「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる?」)

1 ダビングしたい番組を再生する
- ●[一時停止❚❚]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。

複数の映像や音声、字幕情報を含むDRモードの番組をダビングするとき(➜ 下記)
ディスクには、再生されている内容しかダビングできません。ダビング後は、映像·音声の切り換えや字幕の入/切はできなくなります。

2 サブメニュー S を押す

3 「再生中番組の保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す
- ●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

「再生中番組の保存」時のダビング速度と録画モードについて

ダビング速度と録画モードは下記のように設定されます。

ダビングする番組 / ダビング方向	DRモードの番組	DRモード以外の番組: **初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」で録画した番組	DRモード以外の番組: **初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」で録画した番組
HDD ➡ RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	1倍速(録画モードは「FR」)	高速(録画モードはダビング元と同じ)	
HDD ➡ -R(V) -R DL(V) -RW(V)		高速(録画モードはダビング元と同じ)	1倍速(録画モードはダビング元と同じ)

ダビング先のディスク容量を超える場合は、1倍速(録画モードは「FR」)になります。

複数の映像や音声、字幕情報を含むDRモードの番組をダビングするとき

ダビングする音声などの内容を変更するには

再生設定「信号切換」(➜56)で、ダビングしたい内容を選ぶ

番組をダビングする(つづき)

おまかせダビング

ダビング方向: HDD ➡ RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
HDDに録画された複数の番組を組み合わせて、ディスクにダビングすることができます。

VHS ➡ RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
カセットに録画されている部分(未記録部分はダビングしません)だけすべてを、ダビングすることができます。

準備
●カセットを入れる。(➜19)

-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) にダビングする場合、**自動的にファイナライズ(➜125)**を行い、再生専用ディスクを作成します。
他のDVD機器でも再生できるようになりますが、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

新品のディスクにダビングする場合、**自動的にフォーマット(➜125)**を行います。**(フォーマットされる記録方式については➜右ページ)**

-RW(VR) ファイナライズ後のディスクでも、自動的に「ファイナライズ解除」(➜98)を行ってダビングします。

お知らせ

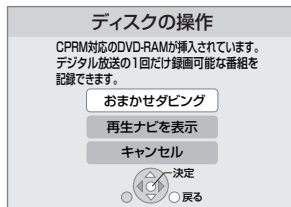
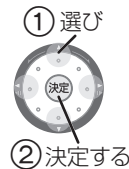
●**ダビング容量について**
(ダビング先に記録される容量)
管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。
●おまかせダビング中は、録画や再生はできません。予約録画の実行もされません。
●1倍速でダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

前の画面に戻るには
戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには
戻る を3秒以上押す
●ファイナライズ中は中止できません。
●ダビングを中止した場合は、ファイナライズも実行されません。
(➜68「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる?」)

音声ガイドを止めるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜104)

1 ダビング可能なディスクを入れる
●ディスクに十分な残量があることを確認してください。

記録可能なディスクを挿入すると、右記の画面が自動的に表示されます。
●HDDからダビングを行う場合は、「おまかせダビング」が選ばれている状態で、[決定]を押すと、手順5に進むことができます。
●VHSからダビングを行う場合は、[戻る]を押し、手順2から操作してください。

例) RAM
2 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、「HDD」または「VHS」を選ぶ
●HDDからダビングするときは「HDD」を、VHSからダビングするときは「VHS」を選んでください。

3 停止中に、 を押す

4 「ダビングする」を選び、決定 を押す

5 HDDからダビングする場合:ダビングしたい番組を選び、 を押す

●☑が表示されます。

登録を取り消すには
[▲][▼]で番組を選び、[一時停止❚❚]を押す
おまかせダビングの便利な機能(➜右ページ)
アイコン表示については(➜128)

VHSからダビングする場合:
手順7へ

6 すべてを選んだあと、決定 を押す
メッセージ画面が表示されたら
選んだ番組のダビング時の注意を表示します。
内容を確認してください。

7 「ダビング開始」を選び、決定 を押す
●ダビングが開始されます。
●ダビング終了後、引き続きファイナライズを行う場合、ファイナライズに数分から最大約15分(-R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) 最大約60分)かかります。
●VHSからのダビングの場合、ダビングが開始される前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。ダビングが開始されるまでに、時間がかかることがあります。(ダビング準備の進行状況を示す画面の背景が黒くなりますが、故障ではありません)

おまかせダビングの便利な機能(HDDからダビングする場合のみ)

おまかせダビング画面が表示されているとき

例)まとめ表示

アイコン

前後のページを表示するには

[|◀◀]または[▶▶|]を押す

1 [▲][▼]で番組を選び、サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定)を押す

例)全番組表示

内容確認

並び替え

まとめ表示へ

まとめ 番組内の番組を選ぶ	① **[▲][▼]で まとめ アイコンの番組を選び、[決定]を押す** ● まとめ 番組内の番組を一覧表示します。 ② **[▲][▼]でダビングしたい番組を選び、[決定]を押す**
番組の内容を確認する 内容確認	●選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどを表示します。 (番組に☑が付いているときはできません)
並び替えをする 並び替え ●全番組表示時のみ	●番組の表示順を変更します。表示順はNo、録画日などが選べます。(番組に☑が付いているときはできません)表示順は、おまかせダビングの画面を消すと、取り消されます。
表示を切り換える まとめ表示へ 全番組表示へ	●まとめ表示と全番組表示を切り換えます。 (番組に☑が付いているときはできません) **まとめ表示と全番組表示については(➜52)**

おまかせダビング時の速度と録画モードについて

ダビング速度と録画モードは下記のように設定されます。

ダビングする番組 / ダビング方向	DRモードの番組	DRモード以外の番組	
		初期設定「高速ダビング用録画」を「入」で録画した番組	**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」で録画した番組
HDD ➡ RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	1倍速(録画モードは「FR」)	高速※1(録画モードはダビング元と同じ)	
HDD ➡ -R(V) -R DL(V) -RW(V)		高速※2(録画モードはダビング元と同じ)	1倍速(録画モードは「FR」)
VHS ➡ RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)		1倍速(録画モードは「FR」)	

※1 DRモードの番組とまとめてダビングする場合、1倍速(録画モードは「FR」)になります。

※2 **初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」にして録画した番組とまとめてダビングする場合、1倍速(録画モードは「FR」)になります。

高速モードでダビング先のディスク容量を超える場合は、1倍速(録画モードは「FR」)になります。

新品のディスク(未フォーマットのディスク)のビデオ方式、VR 方式の自動フォーマットについて

ビデオ方式	●ダビングする番組のすべてに ▶▶◎ ※が表示されている場合、以下のディスクにダビングするときはビデオ方式でフォーマットを行います。 ・DVD-R ・DVD-R DL ・DVD-RW ●VHS から DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW へダビングする場合、ビデオ方式でフォーマットを行います。
VR 方式	●以下の番組を1つでも含んでダビングする場合、VR 方式でフォーマットを行います。 ・ が表示されている番組(「1 回だけ録画可能」な番組) ・▶▶◎ ※が表示されていない番組 ●DVD-RAM は VR 方式のフォーマットにしか対応していません。

※**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」で、以下のように録画またはダビングされた番組に ▶▶◎ が表示されます。

●地上アナログ放送を録画

●外部入力(L1)から録画(ただし、「1 回だけ録画可能」な番組を除く)

●ファイナライズ後のディスク(DVD ビデオ)からダビング

●VHS からダビング

番組をダビングする(つづき)

ダビングリストを作成してダビングする

ダビング方向: HDD ➡ RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) VHS
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) ➡ HDD VHS

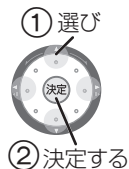
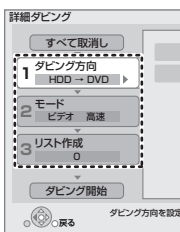
準備
- ダビング可能なディスクまたはカセットを入れる。(➔19)
- VHSにダビングするときは、ダビング開始点を探しておく。
- 十分な残量があることを確認しておく。

1 停止中に、 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

基本操作
①選び
②決定する

3 「詳細ダビング」を選び、決定を押す

4 設定したい項目を選び、[▶]を押す(➔右記へ)
- 各項目を設定してください。必要に応じてこの手順を繰り返します。

5 「ダビング開始」を選び、決定を押す

6 「はい」を選び、決定を押す
- ダビングが開始されます。

ファイナライズ確認画面が表示されたときは
(-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) にダビングする場合)

「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、[決定]を押す
- 「ダビングのみ」を選ぶと、ダビングのみ行います。ダビング終了後に他の機器で再生するには、ディスク(記録方式)または機器によっては、DVD管理でファイナライズを行ってください。(➔98)

例) -R(V)

ダビングのみ行います。本機以外で再生できません。
他のDVD機器で再生される場合は、ファイナライズを行ってからお使いください。
この動作を行いますか?
ダビングとファイナライズ ダビングのみ
ファイナライズは他のDVD機器で再生できる状態にすることです。

- 「ダビングとファイナライズ」を選ぶと、ダビング終了後、引き続きファイナライズ(➔125)を行い、再生専用ディスクを作成します。他のDVD機器でも再生できるようになりますが、記録や編集をすることはできなくなります。

前の画面に戻るには
戻る を押す

音声ガイドを止めるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➔104)

ダビング中にHDDの録画や再生をするには
(高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ)
決定 を押して確認画面を消したあと、録画·再生の操作をする
- [画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

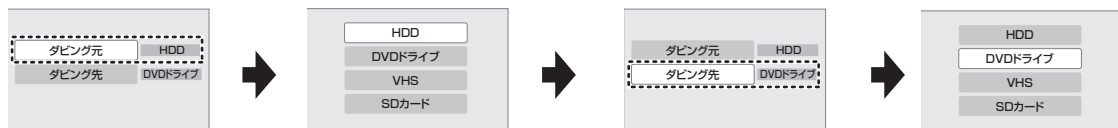
ダビングを実行中に中止するには
戻る を3秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
- ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを中止した場合はファイナライズも実行されません。
(➔68「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる?」)

何から何にダビング?
1 ダビング方向

ダビング素材を選ぶ/録画モードを設定する
2 モード
- 録画モードについて (HDD/DVD➔35, VHS➔70)

ダビングする番組を選ぶ
3 リスト作成

CMを飛ばしてダビングする
4 詳細設定
(録画モードを「高速」以外に設定したときのみ)

画面表示の例)ダビング元に「HDD」、ダビング先に「DVD ドライブ」を選んだとき

「ダビング元」が選ばれている状態で、決定 を押す → **ダビング元を選び、決定 を押す** → **「ダビング先」を選び、決定 を押す** → **ダビング先を選び、決定 を押す**

- ダビング元に「DVD ドライブ」、ダビング先に「VHS」を設定したあとにディスクトレイの開閉をすると、ダビング先が「HDD」になります。再度ダビング先を設定してください。

例）ダビング先「DVD ドライブ」

「ダビング素材」が選ばれている状態で、決定 を押す → **「ビデオ」を選び、決定 を押す** → **「録画モード」を選び、決定 を押す** → **録画するモードを選び、決定 を押す**

- ダビング元に「DVD ドライブ」、ダビング先に「HDD」を選んだときは、録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。
- ダビングしたい番組の中にDRモードの番組が含まれるときは、高速モードでダビングできません。録画モードは「高速」以外に設定してください。
- ダビング先が「VHS」のときは、録画モードは「標準」、「3倍」、「5倍」が選べます。

[◀]を押す
(➜左ページ手順4へ戻る)

ダビングリスト容量について(➜ 下記)

「新規登録」が選ばれている状態で、決定 を押す

ダビングする番組を選び、

を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

すべてを選んだあと、決定 を押す

☞ **まとめ アイコンの番組を選んだときは(HDD のみ)**

まとめ 番組内の番組を一覧表示します。
[▲][▼]でダビングしたい番組を選び、決定 を押す

☞ **アイコン表示については(➜128)**

- 高速モードで -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合、▶▶◎ 表示のあるもののみ登録できます。

☞**前後のページを表示するには**
[|◀◀] または [▶▶|] を押す

☞ **詳細ダビングの便利な機能(➜77)**

「自動CM早送り」が選ばれている状態で、決定 を押す → **「入」または「切」を選び、決定 を押す**

- ダビング元に「DVD ドライブ」、ダビング先に「HDD」を選んだときは、「自動CM早送り」はできません。
- DRモードの番組では働きません。

お知らせ

- **ダビングリスト容量について**(ダビング先に記録される容量)
  - ・1倍速の場合は、録画モードによって変化します。
  - ・管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。
- 当社製DVDビデオカメラで撮影した映像をDVD-RAMからHDDにダビングすると、撮影した日付単位で1番組になります。
- 1 倍速でダビングを開始すると、約 2 分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。(VHS へのダビングを除く)

番組をダビングする(つづき)

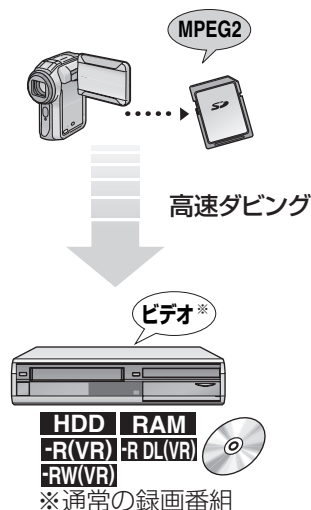
手順4で ディーガがしゃべる!

SDカードのMPEG2動画をダビングする

詳細ダビング

当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画を、SDカードからHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)、DVD-RW(VR 方式)に保存できます。ダビングをすると、ダビング先では撮影した日付単位で1番組(ビデオ)として扱われます。

ダビング方向: SD (MPEG2) ➡ HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

※通常の録画番組

準備

●DVDにダビングするときは、ダビング可能なディスクを入れる。(➜19)

お知らせ

●SDカードにあるMPEG2動画をそのまま本機で再生することはできません。
まずHDDなどにダビングしてください。

●MPEG2動画をダビング中は、録画や再生はできません。

●写真とMPEG2動画を同じリストに登録することはできません。

●本機では、AVCHD のハイビジョン動画をダビングすることはできません。

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

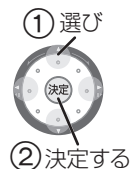
ダビングを実行中に中止するには

を3秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。

●ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを中止した場合はファイナライズも実行されません。
(➜68「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる?」)

音声ガイドを止めるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜104)

1 停止中に、SDカードを入れる

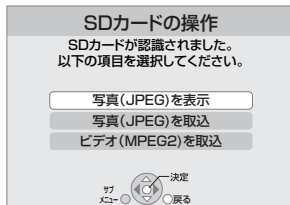
停止中にSDカードを入れると、右記の画面が自動的に表示されます。
[▲][▼]で「ビデオ(MPEG2)を取込」を選び、**[決定]**を押すと、手順**3**に進むことができます。

(画面上で設定項目を確認し、必要に応じて手順**2**で設定を変更してください)

●SDカード内にあるMPEG2動画は、自動的にダビングリストへ登録されます。

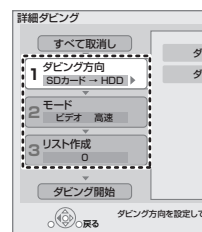
●SDカード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取込」は表示されません。

操作一覧から入る場合は

① **[HDD/DVD/SD/VHS 切換]**を押して、「SD」を選ぶ
② **[操作一覧]**を押す
③ 「その他の機能へ」を選び、**[決定]**を押す
④ 「詳細ダビング」を選び、**[決定]**を押す

2 設定したい項目を選び、[▶]を押す

例)ダビング先「HDD」

●**操作方法は"ダビングリストを作成してダビングする"(➜74)をご覧ください。**

設定項目は、以下のように設定してください。
・**「ダビング方向」**:「ダビング元」➜「SDカード」
・**「モード」**:「ダビング素材」➜「ビデオ」
・録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。

●リスト作成画面では、撮影した日付単位で動画ファイルの一覧が表示されます。(子画面には静止画が表示されます)

3 「ダビング開始」を選び、[決定]を押す

4 「はい」を選び、[決定]を押す

●ダビングが開始されます。

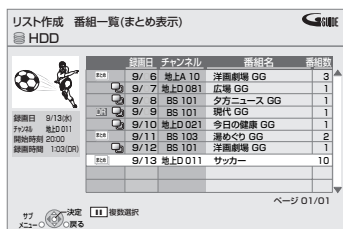
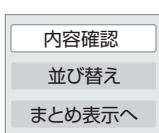
ファイナライズ確認画面が表示されたときは

(-R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) にダビングする場合)

「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、**[決定]**を押す(**詳しくは➜74**)

詳細ダビングの便利な機能

番組のダビング時

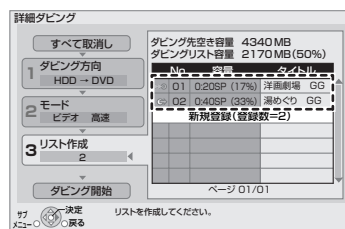
リスト作成画面が表示されているとき
(74ページ「ダビングリストを作成してダビングする」の「リスト作成」時)

1 [▲][▼]で番組を選び、サブメニュー(S)を押す

例) HDD 全番組表示

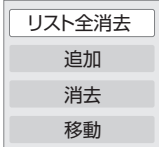
前後のページを表示するには
[|◀◀]または[▶▶|]を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定)を押す

番組の内容を確認する 内容確認	●選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどを確認できます。 (番組に☑が付いている場合はできません)
並び替えをする 並び替え HDD ●全番組表示時のみ	●番組の表示順を変更します。表示順はNo、録画日、曜日、チャンネル、番組名が選べます。 (番組に☑が付いている場合はできません) 表示順は、リスト登録画面の「リスト作成」に戻るか、ダビングの画面を消すと、取り消されます。
表示を切り換える まとめ表示へ 全番組表示へ HDD	●まとめ表示と全番組表示を切り換えます。 (番組に☑が付いている場合はできません) **まとめ表示と全番組表示については(➜52)**

番組、写真のダビング時

リスト登録画面が表示されているとき
(74、91ページ「ダビングリストを作成してダビングする」の「リスト作成」時)

1 [▲][▼]で番組などを選び、

を押す

複数の番組などをまとめて登録/消去するには
[▲][▼]で番組などを選び、
[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す
● ☑が表示されます。
もう一度**[一時停止❚❚]**を押すと解除されます。

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定)を押す

リストの項目を入れ替える	① **[▲][▼]で不要な項目を選び、[決定]を押す** ② **[▲][▼]([◀][▶])で新たに登録したい番組や写真などを選び、[決定]を押す** ●項目が入れ替わります。
登録されたリストや設定を一度に取り消す すべて取消し	① **[▲][▼][◀][▶]で「すべて取消し」を選び、[決定]を押す** ② **[◀]で「はい」を選び、[決定]を押す** ●設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。 ・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをしたとき ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、SDカードを取り出す、ダビング方向を変える、ダビング素材を変えるなどを行ったとき
リストに登録された項目を変更する リスト全消去 追加 消去 移動	**リスト全消去:** リストに登録されている項目をすべて消去します。「リスト全消去」を選んだときは、さらに**[◀]**で「はい」を選び、**[決定]**を押してください。 **追加:** 選んだ項目の上に新しい項目を追加します。「追加」を選んだときは、さらに**[▲][▼]([◀][▶])**で追加する番組や写真などを選び、**[決定]**を押してください。 **消去:** 選んだ項目を消去します。まとめて消去することもできます。**(➜上記「リスト全消去」)**「消去」を選んだときは、さらに**[◀]**で「はい」を選び、**[決定]**を押してください。 **移動:** 選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。「移動」を選んだときは、さらに**[▲][▼]**で移動先を選び、**[決定]**を押してください。(ダビング素材が「写真」のときはできません)

番組をダビングする（つづき）

録画時間を指定してダビングする [カセット、ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビングする]

カセットやディスクを再生しながら、再生している内容を設定時間までダビングします。

ダビング方向：

VHS ➡ **HDD** **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)**

ダビング開始時のテープの停止位置からダビングします。

●録画モード「FR」で「時間設定」を「切」にすると、テープの始端から終端まで全部をダビングすることもできます。**(➜右ページ)**

DVD-V（ファイナライズ後の **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)**）➡ **HDD** **VHS**

（ファイナライズ後の＋R、＋RW、＋R DLからもダビングできます）

準備

●ダビング可能なディスクまたはカセットを入れる。**(➜19)**

●VHSから、またはVHSにダビングするときは、ダビング開始点を探しておく。

●十分な残量があることを確認しておく。

DVD-V（ファイナライズ後のディスクを含む）をダビングする場合、ダビング中に行った操作や画面表示をそのまま記録します。ただし、**HDD** へダビングするときは、早送り・早戻し、コマ送り・コマ戻し、一時停止、早見再生をすると、その部分の映像は記録されません。（**VHS** へのダビングでは記録されます）

ただし、テープの終端になるか、DVDの残量が足りないときは、自動的にダビングを終了します。

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を3秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。

●ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを中止した場合はファイナライズも実行されません。
（➜68「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」）

音声ガイドを止めるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする**(➜104)**

1 停止中に、 を押す

2 「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す

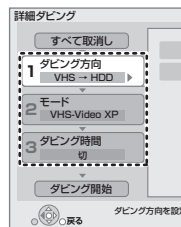
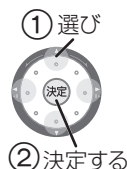
3 「詳細ダビング」を選び、(決定) を押す

4 設定したい項目を選び、[▶] を押す (➜右ページへ)

●各項目を設定してください。必要に応じてこの手順を繰り返します。

1 ダビング方向 VHS → HDD

2 モード VHS-Video XP

3 ダビング時間 切

5 「ダビング開始」を選び、(決定) を押す

6 「はい」を選び、(決定) を押す

●ダビングが開始されます。

ファイナライズ確認画面が表示されたときは

（**VHS** ➡ **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)** の場合）

「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、[決定] を押す（詳しくは➜74）

7 **DVD-V** ➡ **HDD** **VHS** の場合のみ：ダビングしたい番組を再生する

●ディスクの設定によっては、自動的に再生が始まります。

●最初に右の画面がダビングされます。

●ダビングの開始から終了までが1番組として記録されます。（ただしHDDへダビングする場合、8時間を超える番組は8時間ごとに分割されます）

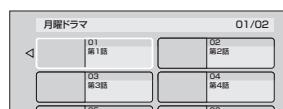
ディスクの再生が始まらないときは

[再生▶] を押す

トップメニューが表示されたときは

[▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[決定] を押す

●選んだ番組から順に再生し、設定した時間まで記録します。

●ディスクの最後の番組の再生が終わったあとは、設定時間までトップメニューを記録します。

好みの番組を再生するには

① [再生ナビ] を押す

② [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[決定] を押す

画面表示の例)ダビング元に「VHS」、ダビング先に「HDD」を選んだとき

何から何にダビング?

1 ダビング方向

「ダビング元」が選ばれている状態で、決定を押す

ダビング元を選び、決定を押す

「ダビング先」を選び、決定を押す

ダビング先を選び、決定を押す

- ダビング元に「VHS」を選んだときは、ダビング先に「HDD」と「DVD ドライブ」のみが、ダビング元に「DVD ドライブ」を選んだときは、ダビング先に「HDD」と「VHS」のみが選べます。

録画モードを設定する

2 モード

- 録画モードについて(HDD/DVD➜35, VHS➜70)

「録画モード」が選ばれている状態で、決定を押す

例)ダビング先「HDD」

例)ダビング先「VHS」

録画するモードを選び、決定を押す

- ダビング素材は自動的に「VHS-Video」または「DVD-Video」になり、変更はできません。
- カセットをダビングするときは、「高速」は選べません。
- ファイナライズ後のディスクをダビングするときは、「高速」と「FR」は選べません。

ダビング時間を設定する

3 ダビング時間

「時間設定」が選ばれている状態で、決定を押す

「入」または「切」を選び、決定を押す

左記で「入」を選んだときは、「録画時間」を選び、決定を押す

1 時間 15 分

"時間"または"分"を選び[▲][▼]で設定し、決定を押す

- 時間を設定するときは、[1]~[10/0]も使えます。
- 25時間を超えて設定することはできません。
- ファイナライズ後のディスクをダビングするときは、再生を始めるまでの操作時間もダビング時間に含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。

「時間設定」を「切」にしたときは

- 録画モードを「FR」以外に設定している場合、テープの終端になるか、HDDの容量がなくなるまでダビングを続けます。
  VHSからDVDへのダビングの場合は、HDDに一時的に複製したあとに、DVDの残量が足りない場合はDVDへはダビングされません。(HDDに一時的に複製された番組はHDDに残ります)(➜68「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる?」)

[◀]を押す
(➜左ページ手順4へ戻る)

VHS からダビングする場合:
録画モードを「FR」に設定しているとき、「時間設定」の切/入によって下記のような違いがあります

- **録画モード「FR」で「時間設定」を「切」に設定したときは**
  ・カセットに録画されている部分(未記録部分はダビングしません)だけすべてをダビングします。
  ・HDDでは、4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
  ・カセットの記録時間を計算するため、ダビングを開始すると、ダビングが開始される前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。ダビングが開始されるまでに、時間がかかることがあります。ディスクの残量が足りなかった場合は、ダビングは開始されません。
  ・テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して記録します。

このダビングで「FR」が選べるのは、カセットからのダビングのみです。

- **録画モード「FR」で「時間設定」を「入」に設定したときは**
  ・カセットのダビング開始点から、設定した録画時間分だけを(未記録部分もダビングします)ダビングします。
  ・HDDでは、設定した録画時間で4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
  ・番組分割はしません。ただし、頭出し信号を検出するごとにチャプターマーク(➜55)が作成されます。

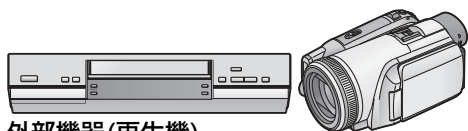
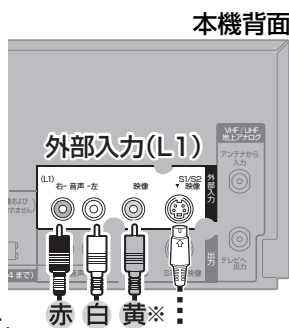
お知らせ

- **市販のDVDビデオやビデオソフトのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
  (ダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します)
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- ファイナライズした -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) の番組をダビングしたい場合は、ダビングリストを作成してダビングしてください。(➜74)
- 1 倍速でダビングを開始すると、約 2 分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。(VHS へのダビングを除く)

他のビデオやビデオカメラからダビングする

接続

接続時には、本機と他のビデオやビデオカメラなどの電源を切ってください。

外部入力(L1)端子に接続する

二重放送の音声を入力するときは

38ページ「音声多重放送の録画について」をご覧ください。

外部機器の音声出力端子がモノラルのときは

●ステレオ←→モノラルの映像·音声コード(別売)をお使いください。

16:9 の映像をダビングする場合は

● HDD RAM -R(VR) -RW(VR) (初期設定「高速ダビング用録画」が「入」のとき)
-R(V) -RW(V):
·初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」(➔105)に従ってダビングされます。

● HDD RAM -R(VR) -RW(VR) (初期設定「高速ダビング用録画」が「切」のとき):
·16:9 の映像でダビングされます。

お知らせ

●予約録画の開始時刻になると、予約録画が実行され、ダビングは中止されます。

ダビング

接続した機器を再生してダビングする

HDD

外部入力(L1)取込機能を使ってダビングする

外部入力(L1)取込

RAM -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)

●外部入力 (L1) 端子に接続したときのみ

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)
●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「HDD」を選ぶ。

1 [放送/入力切換] **を押して、外部機器を接続した端子(L1)を選ぶ**

2 [録画モード] (ふた内部)**を押して、録画モード**(➜35)**を選ぶ**

3 **接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、**[録画](ふた内部)**を押す**
●録画が開始されます。

録画を一時停止するには

[一時停止/お好みチャンネル] を押す
●もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

[停止] を押す
●接続した機器の再生も停止させてください。

ディスクの残量に合わせて録画するには
ぴったり録画(➜42)

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)
●[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して「ＤＶＤ」を選ぶ。

1 **本機の停止中に、** **を押す**

2 **[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、**(決定)**を押す**

3 **[▲][▼]で「外部入力(L1)取込」を選び、**(決定)**を押す**
●録画準備のため、次の画面が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。

4 **[◀][▶]で"時間"または"分"を選び、[▲][▼]で録画時間を設定する**
●[1]～[10/0]も使えます。
●8時間を超えて設定することはできません。

5 **接続した機器で再生を始め、「録画開始」が選ばれている状態で、**(決定)**を押す**

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

録画を止めるには

[停止] を押す

録画の残り時間を確認するには (➜42)

[画面表示](ふた内部)を押す

●録画モードは「FR」で録画します。(➜35)
● -R(VR) -R(V) 左記手順3あるいは記録や編集を約30回行うと記録できなくなる場合があります。
●外部入力(L1)取込中は、追っかけ再生や同時録画再生や放送/入力切換はできません。
● -R(V) -RW(V) ダビング後にファイナライズ(➜98)を行うと、自動的に約5分ごとのチャプターを作成します。
●ディスクにダビング中に停電などが発生した場合は、ダビング中の映像·音声はすべて記録されません。

CATV から本機に録画する

ケーブルテレビ

HDD

本機とホームターミナル / セットトップボックス(以下、CATV と表記します)を接続して、CATVで受信した番組をHDDに録画することができます。

準備

- 本機と CATV を接続する。
  - ・外部入力(L 1)と接続(**➜準備編 14**)

お知らせ

- 録画中に本機で設定した予約録画が始まると、CATV からの録画は中断されます。

1 [放送/入力切換] **を押して、CATV を接続している端子(「L1」)を選び、CATV でチャンネルを選ぶ**

2 [録画モード] (ふた内部)**を押して、録画モード**(➜35)**を選ぶ**

3 [録画 ●] (ふた内部)**を押す**

- 録画が開始されます。

録画を一時停止するには

を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

[停止 ■] を押す

本機に予約録画する

Ir(アイアール) システムを使う

- CATVで受信している放送を本機で連動予約またはタイマー予約することができます。

1 CATV 側で Ir システムの設定と予約の設定をする

- 「リモコン種別」を「DVDレコーダー(1、2…)」に設定してください。本機のリモコンモードに合わせても機器が動作しない場合は、動作する番号に合わせてください。

2 本機の設定をする

連動予約のとき

①**[HDD/DVD/SD/VHS切換]** を押して、「HDD」を選ぶ

②**[放送/入力切換]** を押して、接続した外部入力端子(L1)を選ぶ

③**[録画モード]**(ふた内部)を押して、録画モードを選ぶ(**➜35**)

④本機の電源を切る

タイマー予約のとき

- 予約待機状態であることを確認する。
  (本体表示窓の"◷"点灯)
- 予約内容の確認や変更をするには(**➜50**)

予約時刻になると、録画が実行されます。

- タイマー予約は、本機側の予約一覧に登録されます。(**➜50**) 連動予約は登録されません。
- 本機が動作中に予約登録を行うと正しく登録されない場合があります。予約登録後は、予約内容を確認されることをお勧めします。

連動予約時のみ

- 連動予約録画中に、本機で設定した予約録画が始まった場合、CATV からの録画は中断されます。本機側の予約をすべて解除(本体表示窓の"◷"消灯)しないと、正しく実行されない場合があります。
- 予約録画実行中に本機の操作を行うと、予約が中断する場合があります。
- 番組の先頭部分が録画されない場合があります。録画開始時間を多少早めに設定しておくことをお勧めします。

Ir システム以外で予約録画するには

- CATV 側で予約設定したあと、「時間指定予約」で予約してください。(**➜49**)
  ・「放送種別」を「外部入力」に設定してください。

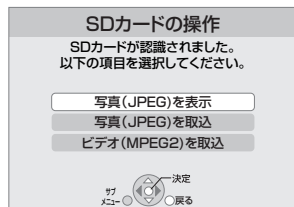
写真(JPEG)を再生する

HDD RAM CD SD

- 本機では、8 MB～4 GBまでのSDカードが使用できます。(➜11)
- CD パソコンなどで写真(JPEG)を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。
- 録画中やダビング中は写真の再生はできません。

準備

- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、再生するドライブを選ぶ。
- ディスクまたはSDカードを入れる。(➜19)

SD
停止中にSDカードを入れると、下記の画面が自動的に表示されます。
「写真(JPEG)を表示」が選ばれている状態で[決定]を押すと、右記の手順3に進むことができます。

- SDカード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取込」は表示されません。

お知らせ

- 16:9の写真は、上下左右に黒帯が表示される場合があります。
- SD 表示は「写真(JPEG)一覧」のみです。「日付別一覧」や「アルバム一覧」では表示されません。
「写真(JPEG)一覧」では、カード内の写真(JPEG)をすべて表示します。

☞ 再生を止めるには

 を押す

- 再生を止めた写真の位置を一時的に記憶します。ただし、以下の場合は解除されます。
  - ・CD SD 電源を切る、またはディスクやカードを取り出したとき。
  - ・RAM ディスクを取り出したとき。

☞ 再生ナビ/メニュー画面を消すには

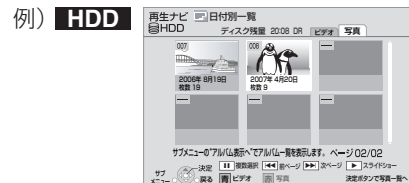
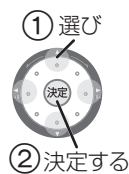
 を押す

☞ 再生ナビ画面のアイコン表示については (➜128)

1 停止中に、 を押す

- HDD RAM 「日付別一覧」または「アルバム一覧」が表示されます。
(➜ 手順 2 へ)

☞ 写真を表示するには
[赤](写真)を押す

例) HDD

☞「日付別一覧」と「アルバム一覧」を切り換えるには
① [サブ メニュー]を押す
② [▲][▼]で「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定]を押す

- SD CD「写真(JPEG)一覧」が表示されます。(➜ 手順 3 へ)

2 日付またはアルバムを選び、(決定) を押す

- 「写真(JPEG)一覧」が表示されます。

3 写真を選び、(決定) を押す

- 選んだ写真が再生されます。

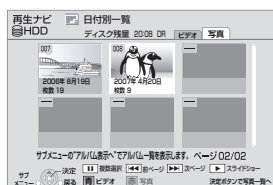
☞ 前後のページを表示するには
[|◀◀] または [▶▶|] を押す

日付別一覧とアルバム一覧について(HDD RAM)

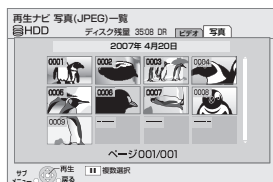
本機では、SD カードから写真を取り込んだ場合、日付別にまとめて表示します。取り込んだ写真は、好きな写真だけを集めたアルバムにまとめることができます。(➜86)

- 写真の再生ナビ画面では、「日付別一覧」と「アルバム一覧」に切り換えることができます。
- RAM 他の機器で記録した写真を表示する場合、「日付別一覧」に表示されないときがあります。その場合は、「アルバム一覧」に切り換えてください。

日付別一覧

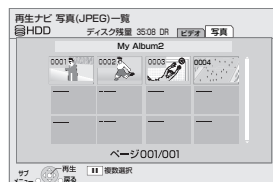
サブメニュー (S) を押して「アルバム表示へ」「日付別表示へ」を選び、(決定) を押す

アルバム一覧

日付を選び、(決定) を押す

戻る ◯ を押す

アルバムを選び、(決定) を押す

戻る ◯ を押す

写真 (JPEG) 一覧を表示します。

写真 (JPEG) 一覧を表示します。

写真(JPEG)を再生する(つづき)

写真再生のいろいろな機能

フォルダを切り換える
(本機で表示されるフォルダ構造例➜126)

RAM (「アルバム一覧」表示時に、上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ)

上位フォルダ選択
アクセスする上位フォルダを変更します。
¥DCIM
決定ボタンで確定します。
決定
戻る

1 「アルバム一覧」画面で、(サブメニュー S)を押す

2 [▲][▼]で「上位フォルダ選択」を選び、(決定)を押す

3 [◀][▶]でフォルダを選び、(決定)を押す

CD

1 「写真 (JPEG) 一覧」画面で、[▲]で「フォルダ選択」を選び、(決定)を押す

2 [▲][▼][◀][▶]でフォルダを選び、(決定)を押す

☞ **フォルダ選択画面からメニュー画面に戻るには**
[**戻る**] を押す

画像を回転、縮小する

1 写真を再生中に、(サブメニュー S)を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定)を押す

●スライドショー再生中はできません。

☞ **回転した写真を元に戻すには**
[**サブ メニュー**] を押して逆方向への回転を選び、[**決定**] を押す

☞ **縮小した写真を元に戻すには**
[**サブ メニュー**] を押して「拡大」を選び、[**決定**] を押す

お知らせ

●以下の場合、写真の回転の情報は保持されません。
- **CD** の写真
- ディスクやカードにプロテクトがかかっているとき
- 他の機器で再生したとき
- 写真をダビングしたとき

●再生ナビ画面表示中にSDカードを取り出すと、回転の情報が正しく保持されないときがあります。必ず再生ナビを終了してから取り出してください。

●縮小の情報は保持されません。

写真の情報を見る(情報表示)

写真を再生中に、(画面表示)(ふた内部)を2回押す

☞ **情報表示を消すには**
[**画面表示**] (ふた内部)を押す

例) **HDD**

フォルダー 写真No. 115-0001
撮影日 2007/ 4/20 枚数 1/10

情報がない場合「----/--/--」と表示されます。

再生中に前後の写真を見る

[◀][▶]を押す

写真を連続して再生する（スライドショー）

HDD RAM

「日付別一覧」または「アルバム一覧」画面で、[▲][▼][◀][▶]で再生したい日付またはアルバムを選び、[再生▶] を押す

☞ 以下の方法でもスライドショーを再生できます

① 「日付別一覧」または「アルバム一覧」画面で、[▲][▼][◀][▶]で再生したい日付またはアルバムを選び、[サブ メニュー]を押す
② [▲][▼] で「スライドショー開始」を選び、[決定]を押す

SD

1 「写真(JPEG)一覧」画面で、[サブメニュー S] を押す

2 「スライドショー開始」が選ばれている状態で、[決定] を押す

CD

1 「写真 (JPEG) 一覧」画面で、[▲]で「フォルダ選択」を選び、[サブメニュー S] を押す

2 「スライドショー開始」が選ばれている状態で、[決定] を押す

スライドショーの設定を変更する

① HDD RAM: 「日付別一覧」または「アルバム一覧」画面で、[サブ メニュー] を押す
SD: 「写真 (JPEG) 一覧」画面で、[サブ メニュー] を押す
CD: 「写真 (JPEG) 一覧」画面で、[▲] で「フォルダ選択」を選び、[サブ メニュー] を押す
② [▲][▼] で「スライドショー設定」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] で設定する項目を選ぶ
●下記項目をご覧ください。
④ HDD RAM SD 設定終了後、[▲][▼][◀][▶] で「確定」を選び、[決定] を押す

項目	説明
表示間隔 表示間隔	[◀][▶] で表示間隔を選ぶ ● CD 選んだあと、[決定] を押してください。 写真の画素数が大きいときは、写真を表示するまでに時間がかかるため、以下のような場合があります。 ●次の写真を表示するまでの表示間隔が長くなる。 ●設定を変更しても、表示間隔が短くならない。
リピート再生 リピート再生	[◀][▶] で「入」または「切」を選び、[決定] を押す ● CD 選んだあと、[決定] を押してください。

☞ スライドショーを終了するには

を押す

写真(JPEG)を編集する

HDD **RAM** **SD**

●写真単位、日付単位またはアルバム単位で編集することができます。
●本機では、8 MB～4 GBまでのSDカードが使用できます。(➔11)
●CD-RやCD-RWに記録された写真は編集できません。

準備 ●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したい写真が入っているドライブを選ぶ。
●ディスク、カートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➔97)

日付単位またはアルバム単位で編集する

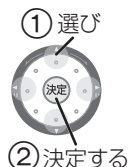
HDD **RAM**

1 停止中に、を押す

基本操作

HDD **RAM**

☞ **写真を表示するには**
[赤](写真)を押す

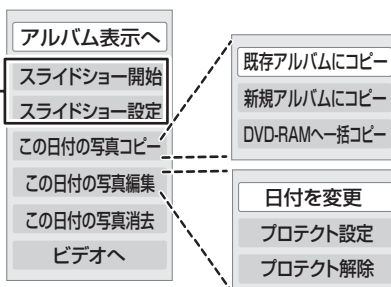
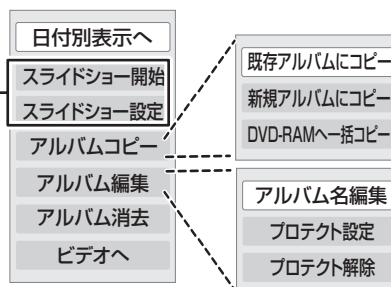
☞ **「日付別一覧」と「アルバム一覧」を切り換えるには**
① [サブメニュー]を押す
② [▲][▼]で「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定]を押す

2 編集したい日付またはアルバムを選び、サブメニュー(S)を押す

例) **HDD**
日付別一覧

操作方法は(➔85)

アルバム表示へ
スライドショー開始
スライドショー設定
この日付の写真コピー
この日付の写真編集
この日付の写真消去
ビデオへ

既存アルバムにコピー
新規アルバムにコピー
DVD-RAMへ一括コピー

日付を変更
プロテクト設定
プロテクト解除

アルバム一覧

☞ **複数の日付またはアルバムをまとめて編集するには**
[▲][▼][◀][▶]で日付またはアルバムを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す
● ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

3 編集する項目を選び、(決定)を押す(➔右記へ)

●「この日付の写真コピー」、「アルバムコピー」、「この日付の写真編集」または「アルバム編集」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

☞ **前の画面に戻るには**
 を押す

☞ **画面を消すには**
 を押す

既存のアルバムに写真をコピーする
既存アルバムにコピー

新しいアルバムを作成し写真をコピーする
新規アルバムにコピー

日付またはアルバム内の写真をすべてHDD または DVD-RAMへコピーする
DVD-RAMへ一括コピー
HDD
HDDへ一括コピー
RAM

消去する
この日付の写真消去
アルバム消去

日付を変更する
日付を変更
●日付別一覧のときのみ

アルバム名を付ける
アルバム名編集

誤消去防止の設定/解除
プロテクト設定 / 解除

選択した日付またはアルバムを既存のアルバムにコピーします。

1 [◀]で「コピー開始」を選び、(決定)を押す

2 [▲][▼][◀][▶]でコピー先のアルバムを選び、(決定)を押す

- プロテクト設定されたアルバムにはコピーできません。
- 複数選択されているときはできません。

選択した日付またはアルバムを新しいアルバムにコピーします。

1 [◀]で「コピー開始」を選び、(決定)を押す

2 (コピー終了後)

[◀][▶]で「はい」または「いいえ」を選び、(決定)を押す

「はい」のときには
アルバム名を付けます。(➜99「文字入力」)

「いいえ」のときには
アルバムの 1 枚目の写真の撮影日を、自動的にアルバム名にします。
(撮影日情報がない場合は、「撮影 : ---- 年 -- 月 -- 日」になります)

- 複数選択されているときはできません。

[◀]で「コピー開始」を選び、(決定)を押す

- 複数選択されているときはできません。

コピー先について

- 「日付別一覧」から写真をコピーした場合、コピー先では「日付別一覧」にコピーされます。
- 「アルバム一覧」から写真をコピーした場合、コピー先では「アルバム一覧」にコピーされます。

消去すると記録内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す

- RAM 日付やアルバム内に DCF 規格以外のファイルがある場合や下位フォルダがある場合は、その日付やアルバム自体は消去されません。

1 [◀][▶]で年月日を選び、[▲][▼] で設定する

2 (決定)を押す

年	月	日	
2007	4	15	(日)

- 変更した元の日付は残ります。不要な場合は、消去してください。(➜ 上記)
- 変更した日付が、既存の日付の場合、その日付に写真を移動します。ただし、既存の日付にプロテクトが設定されている場合、日付の変更はできません。プロテクトを解除してください。(➜ 下記)
- 複数選択されているときはできません。

文字入力については(➜99)

- 本機で入力したアルバム名は、他の機器では表示されないことがあります。

[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定)を押す

- プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。解除すると消えます。
- 本機でプロテクトを設定していても、他の機器では解除されることがあります。
- 「日付別一覧」でプロテクト設定すると、SD カードから写真を取り込む場合に、同じ日付の写真を取り込めなくなります。

お知らせ

- 「既存アルバムにコピー」、「新規アルバムにコピー」、「DVD-RAMへ一括コピー」、「HDDへ一括コピー」、「日付を変更」を実行中は予約録画は実行されません。
- 上位フォルダに「既存アルバムにコピー」、「新規アルバムにコピー」を実行することはできません。

写真(JPEG)を編集する(つづき)

写真単位で編集する

HDD RAM SD

基本操作

1 停止中に、 を押す

- HDD RAM「日付別一覧」または「アルバム一覧」が表示されます。(➜ 手順２へ)
  - **写真を表示するには**
    [赤](写真)を押す
  - **「日付別一覧」と「アルバム一覧」を切り換えるには**
    ①[サブ メニュー]を押す
    ②[▲][▼]で「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定]を押す
- SD「写真(JPEG)一覧」が表示されます。(➜ 手順３へ)

2 編集したい写真のある日付またはアルバムを選び、決定を押す

3 編集したい写真を選び、サブメニュー S を押す

例)HDD
日付別一覧から

- **複数の写真をまとめて編集するには**
  [▲][▼][◀][▶]で写真を選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す
  - ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

4 編集する項目を選び、決定を押す

(➜右記へ)

- 「写真コピー」または「写真編集」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

項目	説明
既存のアルバムに写真をコピーする 既存アルバムにコピー HDD RAM	選択した写真を既存のアルバムにコピーします。 **操作方法は(➜86)**
新しいアルバムを作成し写真をコピーする 新規アルバムにコピー HDD RAM	選択した写真を新しいアルバムにコピーします。 **操作方法は(➜86)**
日付を変更する 日付を変更 HDD RAM ●日付別一覧のときのみ	●変更した日付が、既存の日付の場合、その日付に写真を移動します。 ●変更した日付が、新規の日付の場合、新しい日付を作成し、写真を移動します。 **操作方法は(➜86)**
消去する 写真消去	**操作方法は(➜86)**
誤消去防止の設定 / 解除 プロテクト設定 / 解除	**操作方法は(➜86)**
プリンターや写真店でプリントする枚数を設定する DPOF プリント設定 SD	カードに残量がない場合は設定できません。 **[◀][▶]で枚数を選び、決定を押す** ●DPOFマークが表示されます。 ●本機での設定は他の機器で見られない場合があります。 ●本機で設定すると、他の機器で行った設定は解除されます。 **設定を解除するには** 「0枚」に設定する

お知らせ

- 「既存アルバムにコピー」、「新規アルバムにコピー」、「日付を変更」を実行中は予約録画は実行されません。
- 上位フォルダに「既存アルバムにコピー」、「新規アルバムにコピー」を実行することはできません。

前の画面に戻るには
 を押す

画面を消すには
 を押す

SDカードの写真(JPEG)を取り込む

SD ➡ HDD

SD カードの写真(JPEG)を HDD に取り込むことができます。
本機は取り込んだ SD カードや写真の情報を保持しているため、同じカードから、次回取り込むときは、SD カードに新たに追加された写真(JPEG)のみを取り込みます。
●本機では、8 MB～4 GBまでのSDカードが使用できます。(➜11)

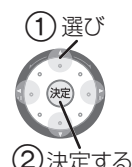
お知らせ

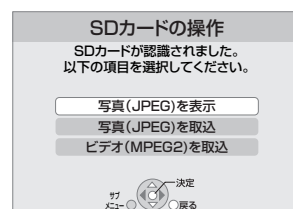
●一度取り込んだ写真をもう一度取り込むことはできません。その場合は、「詳細ダビング」(➜90)から写真をダビングしてください。
●写真を取り込んだSDカードの情報は30枚まで保持します。それ以上の場合、古い SD カードの情報から削除します。
また、取り込んだ写真の情報を各カード 12000 枚まで保持します。それ以上の場合、古い写真の情報から削除します。
●プリント枚数の設定(DPOF)は取り込みされません。
●取り込み先の容量や、ファイルやフォルダの数(➜11)がいっぱいになった場合は、途中で取り込みを中止します。
●取り込み中は予約録画は実行されません。

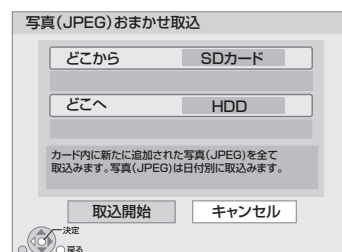
前の画面に戻るには

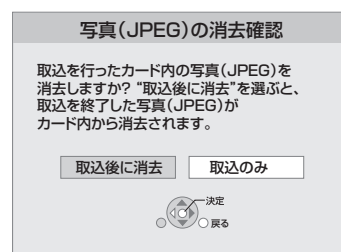
を押す

取り込みを実行中に中止するには

を3秒以上押す

1 停止中に、SD カードを入れる

停止中にSDカードを入れると、右記の画面が自動的に表示されます。
[▲][▼]で「写真(JPEG)を取込」を選び、[決定] を押すと、手順2 に進むことができます。

操作一覧から入る場合は

① [HDD/DVD/SD/VHS 切換] を押して、「SD」を選ぶ
② [操作一覧] を押す
③ 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
④ 「写真おまかせ取込」を選び、[決定] を押す

2 「取込開始」を選び、決定 を押す

●カードに誤消去防止設定(プロテクト)(➜97)をしていた場合は、取り込みを開始します。
●カードに誤消去防止設定(プロテクト)(➜97)をしていない場合は、右記画面が表示されます。(手順3へ)

3 「取込後に消去」または「取込のみ」を選び、決定 を押す

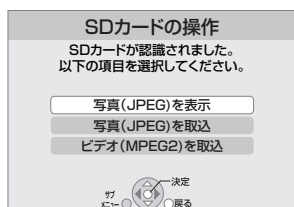
取込後に消去：取り込みの終わった写真を SD カードから消去します。(プロテクト設定された写真は消去できません)
取込のみ：SD カードの写真は消去しません。

●取り込みが開始されます。
●取り込まれた写真は、撮影日時に基づいて日付別に分類されます。撮影日時のデータがない場合は、写真の作成された日を使用して分類されます。
取り込む写真の日付と HDD 側のプロテクト設定されている日付が同じ場合は、取り込みできません。プロテクトを解除してください。(➜86)
●取り込まれた写真は、再生ナビの「日付別一覧」で確認することができます。新たに追加された写真のある日付には、NEW が表示されます。

写真(JPEG)をダビングする

HDD RAM SD

●本機では、8 MB～4 GBまでのSDカードが使用できます。(➜11)
●CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。
●カセットにはダビングできません。

SD
停止中にSDカードを入れると、下記の画面が自動的に表示されます。
[戻る]を押して、画面を消してください。

●SDカード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取込」は表示されません。

お知らせ

●ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(➜11)がいっぱいになった場合は、途中でダビングを中止します。
●(アルバム単位のダビングの場合)ダビング元のアルバム名が入力されていないときは、ダビング先ではアルバム名の番号が変わることがあります。ダビング前にアルバム名を入力することをおすすめします。(➜86「アルバム名編集」)
●プリント枚数の設定(DPOF)はダビングされません。
●ダビングリストへの登録順は、ダビング先に反映されないことがあります。
●SD からダビングする場合、写真は撮影日時に基づいて日付別に分類されます。撮影日時のデータがない場合は、写真の作成された日を使用して分類されます。
●ダビングする写真の日付とダビング先のプロテクト設定されている日付が同じ場合は、ダビングできません。プロテクトを解除してください。(➜86)
●本機で記録したSDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。
●ダビング中は予約録画は実行されません。

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには

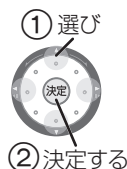
戻る を3秒以上押す

音声ガイドを止めるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜104)

ダビングリストを作成してダビングする

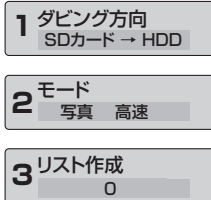
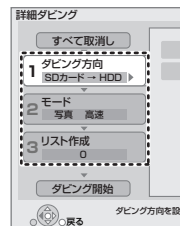
ダビング方向： HDD ➜ RAM SD、 RAM ➜ HDD SD、 SD ➜ HDD RAM

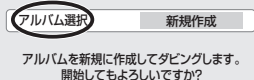
準備 ●DVD-RAMまたはSDカードを入れる。(➜19)

1 停止中に、 操作一覧 を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

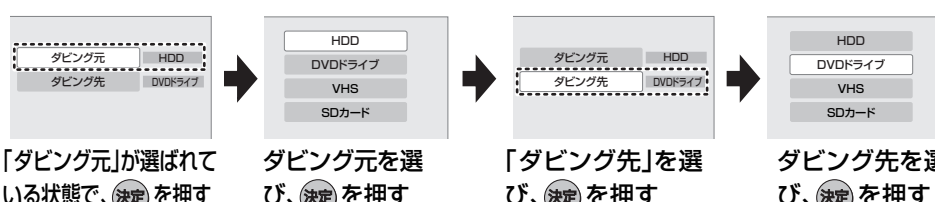
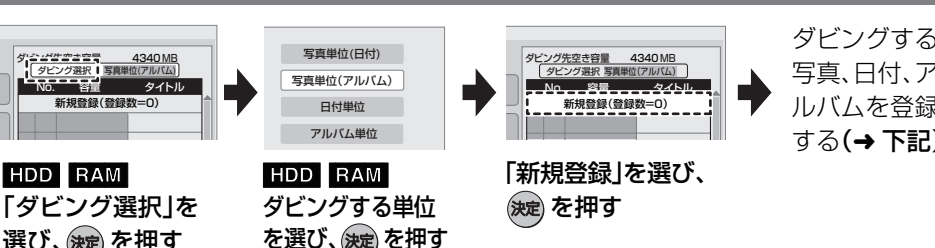
4 設定したい項目を選び、[▶]を押す(➜右ページへ)

●各項目を設定してください。必要に応じてこの手順を繰り返します。

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

●HDD ➜ RAM、RAM ➜ HDD
[写真単位(アルバム)のダビングの場合]
別のアルバムをダビング先に指定できます。

① 「アルバム選択」を選び、[決定]を押す
② アルバムを選び、[決定]を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

●ダビングが開始されます。

ダビング先について

●HDD ➜ RAM、RAM ➜ HDD
・[写真単位(日付)、日付単位のダビングの場合]
ダビング先：日付別一覧
・[写真単位(アルバム)、アルバム単位のダビングの場合]
ダビング先：アルバム一覧

●SD ➜ HDD RAM
ダビング先：日付別一覧

画面表示の例)ダビング元に「HDD」、ダビング先に「DVD ドライブ」を選び、写真をダビングするとき

何から何にダビング？
1 ダビング方向

「ダビング元」が選ばれている状態で、決定 を押す ➡ **ダビング元を選び、決定 を押す** ➡ **「ダビング先」を選び、決定 を押す** ➡ **ダビング先を選び、決定 を押す**

ダビング素材を設定する
2 モード

「ダビング素材」が選ばれている状態で、決定 を押す ➡ **「写真」を選び、決定 を押す**

●写真のダビングでは、録画モードは自動的に「高速」になり、変更できません。

ダビングする写真を選ぶ
3 リスト作成

HDD RAM
「ダビング選択」を選び、決定 を押す

HDD RAM
ダビングする単位を選び、決定 を押す

「新規登録」を選び、決定 を押す

ダビングする写真、日付、アルバムを登録する(➜ **下記**)

●**SD** からダビングする場合は、「ダビング選択」はできません。写真単位で登録します。

☞ 写真単位(日付 / アルバム)で登録するときは

ダビングする写真を選び、決定 を押す

☞ HDD RAM 別の日付 / アルバムの写真を選ぶには

① **[サブ メニュー]** を押す
② 「日付選択」または「アルバム選択」が選ばれている状態で、**[決定]** を押す
　・**RAM** 上位フォルダを切り換えるには(➜ **下記**)
③ **[▲][▼][◀][▶]** で日付またはアルバムを選び、**[決定]** を押す

☞ HDD RAM 日付単位 / アルバム単位で登録するときは

ダビングする日付またはアルバムを選び、決定 を押す

●別々の日付やアルバムの写真を同じリストに登録することはできません。
●いったんリストに登録した場合、ダビングする単位を切り換えることはできません。

☞ 複数の写真、日付、アルバムをまとめて登録するには

[▲][▼][◀][▶] で写真などを選び、**[一時停止❚❚]** を押す操作を繰り返す
●☑ が表示されます。もう一度 **[一時停止❚❚]** を押すと解除されます。
●ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。

☞ 前後のページを表示するには

[⏮] または **[⏭]** を押す

☞ 詳細ダビングの便利な機能(➜77)

[◀] を押す
(➜左ページ手順4へ戻る)

上位フォルダを切り換えるには

RAM(本機で認識できる上位フォルダがある場合のみ)
●アルバム一覧のときのみ

① **[サブ メニュー]** を押す
② **「上位フォルダ選択」が選ばれている状態で、[決定] を押す**
③ **[◀][▶] でフォルダを選び、[決定] を押す**

●上位フォルダの異なるアルバムを同じリストに登録することはできません。

音楽CDを再生する

CD

音楽CDを入れる(➜19)

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには
[▲][▼]で再生したい曲を選び、[決定]を押す

再生ナビ画面を表示するには / 再生ナビ画面を消すには
[再生ナビ]を押す

再生中の曲の経過時間/現在の再生位置/演奏時間

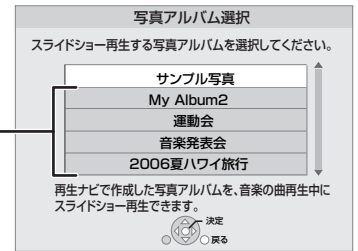
再生中の曲
(♪が表示されます)

お知らせ

●デジタル放送を録画モード「DR」以外で録画中やダビング中は再生できません。
●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜107)が「入」の場合、再生中に、約10分以上本機の操作を何も行わなかったときは、写真のスライドショー画面が表示されます。([戻る]を押すと、元の画面に戻ります)

音楽再生中のいろいろな操作

操作	方法	補足
停止	[停止 ■] **を押す**	
一時停止	[一時停止 ❚❚](お好みチャンネル) **を押す**	●もう一度押す、または[再生▶]を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し	[巻戻し⌐サーチ/スロー ◀◀] **または** [サーチ/スロー¬早送り ▶▶] **を押す**	●[再生▶]で通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。
スキップ	再生中または一時停止中に、 [⌐スキップ/頭出し ❙◀◀] **または** [スキップ/頭出し¬ ▶▶❙] **を押す**	●押した回数だけ曲を飛び越して再生します。
リピート ランダム	**1** [再生設定](ふた内部)**を押す** **2 [▲][▼]で「再生」を選び、[▶]を押す** **3 [▲][▼]で「リピート」または「ランダム」を選び、[▶]を押す** **4 [▲][▼]で設定を変更する** **リピート**:繰り返し再生の方法を選びます。 ●**切** ●**全曲**:ディスク全体 ●**1 曲**:選んだ曲のみ **ランダム**:順不同に再生します。 ●**切** ●**入**	
リ. マスター ●サンプリング周波数が 48 kHz 以下で記録された音声のみ	デジタル信号の高音域部分を補完することで、より豊かな音質を楽しめます。 ●音声がひずむ場合、「切」にしてください。 ●再生する内容によっては、効果が現れない場合があります。 **1** [再生設定](ふた内部)**を押す** **2 [▲][▼]で「音声」を選び、[▶]を押す** **3 [▲][▼]で「音質効果」を選び、[▶]を押す** **4 [▲][▼]で設定を変更する** **リ. マスター標準** **リ. マスター強** **切** ●「サラウンド標準」、「サラウンド強」の設定は働きません。 ●リ. マスターを HDMI 出力や光デジタル出力で働かせるためには、**初期設定**「デジタル出力」を「PCM」に設定してください。(➜106)(ただし、2 チャンネルの音声になります)	

写真のスライドショーを表示する	**音楽再生中に、[青]を押す** ☞ **スライドショーを停止するには** [戻る]を押す （音楽を停止したときも、スライドショーは停止します）	●写真の表示間隔は一定になり、リピート再生します。
	表示させる写真を変更する	本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ内蔵されている写真（サンプル写真）または HDD の「アルバム」の写真から選ぶことができます。 ① **スライドショー再生中に、[サブ メニュー] を押す** ② **「写真アルバム選択」が選ばれている状態で、[決定] を押す** ③ **[▲][▼] で表示させたいアルバムを選び、[決定] を押す** HDD の「アルバム」が表示されます。（➜83） ●写真が 1 枚もないアルバムは表示されません。
テレビの電源を切って音楽の再生を続ける	（ビエラリンク Ver.2 対応のビエラおよびビエラリンク対応のアンプと接続しているときのみ） ●ビエラリンクが有効な場合、テレビの電源を切ると連動して本機やアンプの電源も切れますが、以下の操作でテレビの電源を切ると、音楽再生を続けることができます。 **1 音楽再生中に、[サブメニュー S] を押す** **2 [▲][▼] で「TV のみ電源 OFF」を選び、[決定] を押す** ●テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。 ●テレビから音声を出力しているときに、この操作を行うと、音が出なくなる場合があります。その場合は、アンプ側から音声が出るようにしてから操作してください。	

番組や写真を消去する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) SD
（ファイナライズしたディスクではできません）

準備
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、消去したい記録内容が入っているドライブを選ぶ。
- ディスクやカートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜97)

- **消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。**よく確認してから実行してください。
- カセットに記録された番組は、消去できません。

消去後のディスク・SDカードの残量について

- HDD RAM -RW(VR)
  記録した番組(または写真)を消去すると、消去した分、ディスク残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます

番組または写真 1	番組または写真 2	･･･	最後に記録した番組または最後に記録した写真	残量

- -RW(V)
  最後に記録した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

消去しても残量は増えません／消去すると残量が増えます

番組 1	番組 2	･･･	最後に記録した番組	残量

- SD
  記録した写真を消去すると、消去した分、カード残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます

写真1	写真2	･･･	最後に記録した写真	残量

- -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V)
  消去しても残量は増えません。

☞ **前の画面に戻るには**
[戻る]を押す

☞ **画面を消すには**
[戻る]を数回押す

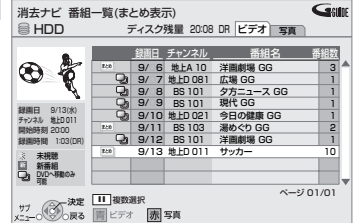
☞ **音声ガイドを止めるには**
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜104)

消去ナビを使って消去する

不要になった番組などを一覧画面から簡単に選んで消去することができます。

1 停止中に、[操作一覧]を押す

2 「消去する」を選び、[決定]を押す(➜ 右ページへ)

例) HDD

☞ HDD RAM
「番組一覧」を表示するには(番組を消去する場合)
[青](ビデオ)を押す

☞ HDD RAM
写真を表示するには(写真を消去する場合)
[赤](写真)を押す

番組や写真を再生中に消去する

1 再生中に、[消去(リセット)]を押す
- スライドショー再生中は、写真の消去はできません。

2 [◀]で「消去」を選び、[決定]を押す

<table>
<tr><td rowspan="1">番組を消去する</td><td colspan="2">1 [▲][▼]で消去する番組を選び、(決定)を押す
☞ [まとめ] アイコンの番組を選んだときは(HDD のみ)
[まとめ] 番組内の番組を一覧表示します。
[▲][▼]で消去したい番組を選び、[決定]を押す
2 [◀]で「消去」を選び、(決定)を押す</td><td rowspan="3">☞ 前後のページを表示するには
[⏮] または [⏭] を押す
☞ 複数の番組などをまとめて消去するには
[▲][▼]([◀][▶])で番組などを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す
● ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">写真を消去する</td><td>日付単位・アルバム単位で消去する</td><td>1 [▲][▼][◀][▶]で消去する日付またはアルバムを選び、[リセット 消去] を押す
2 [◀]で「消去」を選び、(決定)を押す</td></tr>
<tr><td>写真単位で消去する</td><td>1 HDD RAM
[▲][▼][◀][▶]で消去する写真のある日付またはアルバムを選び、(決定)を押す
2 [▲][▼][◀][▶]で消去する写真を選び、(決定)を押す
3 [◀]で「消去」を選び、(決定)を押す</td></tr>
</table>

消去ナビ画面上(**上記手順1 など**)では[**サブ メニュー**]を使って、内容確認やプロテクト解除などの操作が行えます。

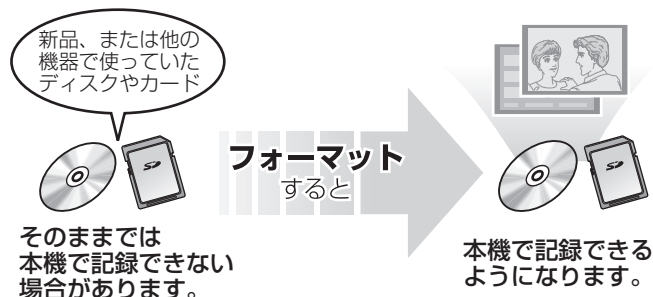
サブメニュー操作について

- 「番組一覧」(**➜62手順2**)
- 「日付別一覧」または「アルバム一覧」(写真)(**➜86手順2**)
- 「写真一覧」(**➜88手順3**)

フォーマット/ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去

フォーマットとは

そのままでは本機で記録できない場合があります。

本機で記録できるようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます）

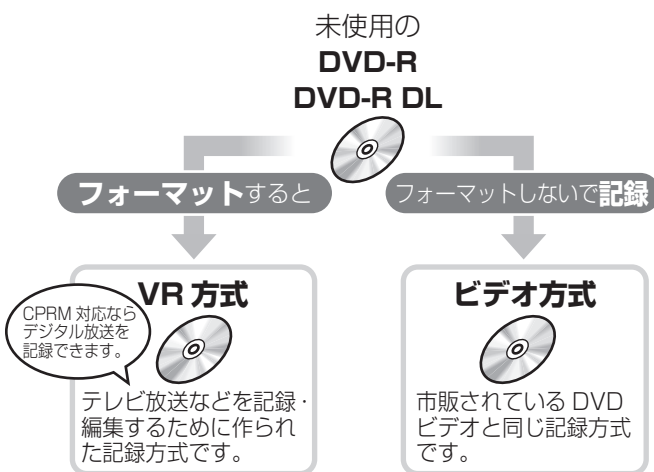
DVD-R、DVD-R DLの記録方式とフォーマットについて
- VR方式で記録したい場合は、記録前にフォーマットを行ってください。
- 本機では、DVD-R、DVD-R DLをフォーマットせずに使用した場合、ビデオ方式で記録します。

未使用の
DVD-R
DVD-R DL

VR 方式

テレビ放送などを記録・編集するために作られた記録方式です。

ビデオ方式

市販されている DVD ビデオと同じ記録方式です。

いったん記録またはフォーマットすると、あとから記録方式を変更することはできません。

記録方式については（➜7）

DVD-RWのフォーマットについて
- 本機では、VR方式またはビデオ方式のどちらの記録方式でフォーマットするかを選ぶことができます。

前の画面に戻るには
［戻る］を押す

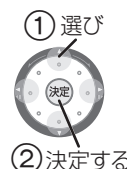
画面を消すには
［戻る］を数回押す

音声ガイドを止めるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする（➜104）

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) SD

準備
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したいドライブを選ぶ。
- ディスクやSDカードを編集する場合は、ディスクやSDカードを入れる。（➜19）
- ディスクやカートリッジ、カードの誤消去防止設定（プロテクト）を解除しておく。（➜右ページ）

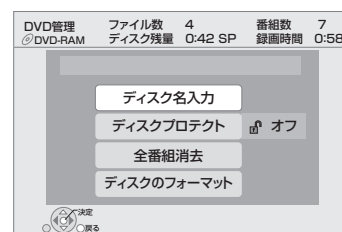
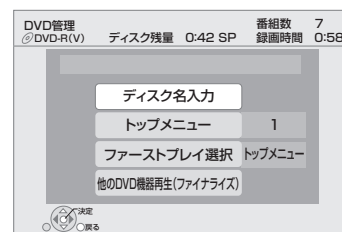
基本操作

1 停止中に、［操作一覧］を押す

2 「その他の機能へ」を選び、（決定）を押す

3 「HDD管理」、「DVD管理」または「カード管理」を選び、（決定）を押す

ドライブによって、それぞれ以下のメニューを選んでください。
- ドライブが「HDD」の場合 ：「HDD管理」
- ドライブが「DVD」の場合 ：「DVD管理」
- ドライブが「SD」の場合 ：「カード管理」

例）RAM

例）-R(V)

4 操作したい項目を選び、（決定）を押す

（➜右ページへ）

左ページ手順1～4のあとに操作します。

ディスクに名前を付ける

ディスク名入力

RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

（ファイナライズしたディスクにはできません）

☞ **文字入力については(➜99)**

●未使用のDVD-R、DVD-R DLにディスク名を入力すると、ビデオ方式になります。
VR方式で記録したい場合は、先にフォーマットしてください。(➜下記)

入力したディスク名は、「DVD管理」画面に表示されます。

-R(V) -R DL(V) -RW(V)
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

誤消去防止の設定/解除

ディスクプロテクト

RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

（ファイナライズしたディスクにはできません）

ディスクの内容を誤って消去しないようにできます。

[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定)を押す

●プロテクト設定すると「🔒 オン」が表示されます。

カートリッジ付きDVD-RAMやSDカードの場合

本機で左記の設定をしなくても、ディスクやカードで誤消去防止設定ができます。

カートリッジ付きディスク　SDカードなど

スイッチを「LOCK」側にする。

番組をすべて消去する

全番組消去

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

（ファイナライズしたディスクではできません）

実行すると元に戻すことはできません。
よく確認してから実行してください。

例）HDD

全番組消去
全番組消去を行うと、HDDの番組が全て消去されます。全番組消去を実行してもよろしいですか?
はい　いいえ

1 [◀]で「はい」を選び、(決定)を押す

2 [◀]で「実行」を選び、(決定)を押す

お知らせ

●全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
●プロテクトを設定した番組がある場合は、働きません。
● HDD RAM 写真は消去されません。
● -R(VR) -R DL(VR) 消去しても残量は増えません。

ディスクやSDカードを初期化する

HDDのフォーマット

HDD

ディスクのフォーマット

RAM -RW(VR) -RW(V)

フォーマット(VR方式)

-R(V) -R DL(V)
（未使用のディスクのみ）

カードのフォーマット

SD

HDD RAM -R(V) -R DL(V) SD

例）RAM

ディスクのフォーマット
フォーマットを行うと、ディスク内容が全て消去されます。このディスクのフォーマットには、約○分かかります。フォーマットを行いますか?
はい　いいえ

1 [◀]で「はい」選び、(決定)を押す

2 [◀]で「実行」を選び、(決定)を押す

●フォーマットが始まります。通常は数分（RAM 最大約70分）かかります。

-RW(VR) -RW(V)

1 [◀][▶]で「VR方式」または「ビデオ方式」を選び、(決定)を押す

2 [◀]で「実行」を選び、(決定)を押す

●フォーマットが始まります。通常は数分かかります。

☞ **フォーマットを中止するには**

(戻る)を押す

● RAM -RW(VR) フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットを行わないと使えません。

お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

お知らせ

●本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
●CD-R/RW、記録済みのDVD-R、DVD-R DLはフォーマットできません。
●本機では未使用のDVD-R、DVD-R DLをフォーマットすると、VR方式になります。（フォーマットすると、ビデオ方式では記録できなくなります）
●ディスクに汚れや傷があると、フォーマットに時間がかかったり、できない場合があります。

他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

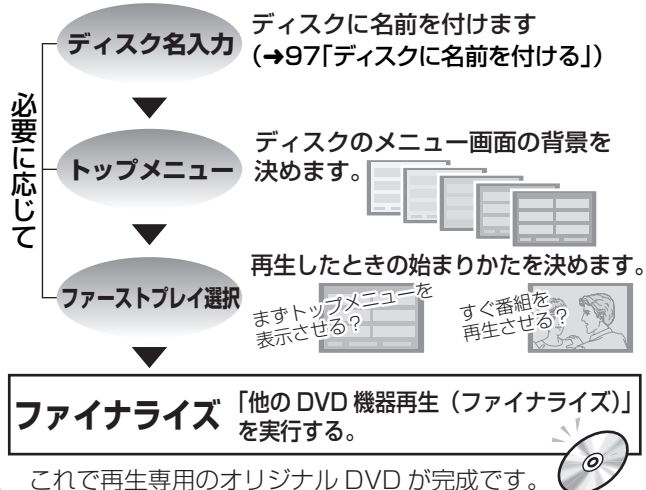
ファイナライズとは

そのままでは他の DVD 機器で再生できません。

他の DVD 機器で再生できるようになります。ただし記録や編集はできなくなります。

-R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) はファイナライズしても、-R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) の再生に対応した機器でしか再生できません。

- 他の機器で再生するには、その機器がファイナライズしたディスク(記録方式)の再生に対応している必要があります。
- 本機でファイナライズしたディスクでも、記録状態によっては他の機器で再生できない場合があります。

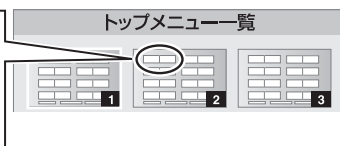
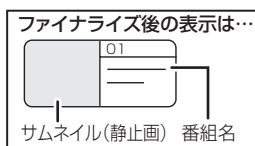
96ページ手順1～4のあとに操作します。

メニュー画面の背景を設定する

トップメニュー

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

[▲][▼][◀][▶]でお好みの背景を選び、決定 を押す

- トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。(➜62「サムネイル変更」)

再生の始まりかたを設定する

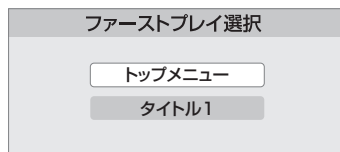
ファーストプレイ選択

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生の始まりかたを設定できます。

[▲][▼]で「トップメニュー」または「タイトル1」を選び、決定 を押す

トップメニュー：再生時、メニュー画面を表示する
タイトル1　　：再生時、ディスクの先頭(タイトル1)から再生する

ファーストプレイ選択
トップメニュー
タイトル1

他のDVD機器で再生できるようにする

他のDVD機器再生（ファイナライズ)

-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

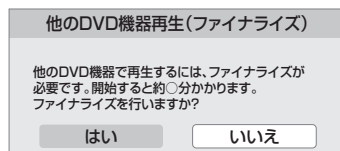
1 [◀]で「はい」を選び、決定 を押す

2 [◀]で「実行」を選び、決定 を押す

- ファイナライズが始まります。実行中は中止できません。
- ファイナライズは、数分から最大約15分(-R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) 最大約 60分)かかります。
- 高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(最大で約4倍)

他のDVD機器再生(ファイナライズ)
他のDVD機器で再生するには、ファイナライズが必要です。開始すると約○分かかります。
ファイナライズを行いますか?
はい　いいえ

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

ファイナライズすると…

- **-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) 再生専用となり、記録や編集はできなくなります。**
- -RW(V) 再生専用となりますが、フォーマット(➜97)すると、繰り返してダビングや編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- -RW(VR) 再生専用となりますが、「ファイナライズ解除」(➜ 下記)を行うと、繰り返してダビングや編集ができます。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。

ファイナライズを解除する

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除して、ダビングや編集を行えるようにします。

- 当社製以外の機器でファイナライズしたディスクは、本機では解除できない場合があります。

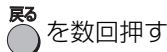
1 [◀]で「はい」を選び、決定 を押す

2 [◀]で「実行」を選び、決定 を押す

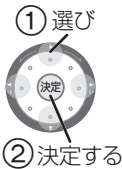
前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

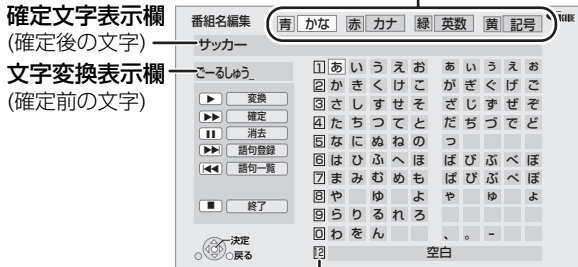
戻る を数回押す

文字入力

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

録画した番組などに名前を付けることができます。

1 入力画面を表示する

予約番組の番組名(➜49「番組名入力」)
記録済みの番組の番組名(➜62「番組名編集」)
ディスク名(➜97「ディスク名入力」)
写真のアルバム名(➜86「アルバム名編集」)

2 青(かな)、赤(カナ)、緑(英数)、黄(記号)で文字の種類を選び、決定を押す

●漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

3 入力する文字を選び、決定を押す

☞ **ひらがなを入力するには**
[早送り ▶▶](確定)を押す

☞ **ひらがなを漢字変換するには**
① [再生▶](変換)を押す
●変換候補選択画面が表示されます。
② [▲][▼]で変換したい漢字の候補を選び、[決定]を押す
●[|◀◀]または[▶▶|]を押すと、別のページの変換候補選択画面が表示されます。
●[戻る]を押すと、入力画面に戻ります。

☞ **よく使う語句を登録したり、登録した語句を呼び出すには**(➜右記)

☞ **消去するには**
[一時停止❚❚](消去)を押す

●確定文字表示欄では"_"の部分に文字が挿入されます。
●この手順を繰り返し、複数の文字を入力します。

4 入力が終わったら、停止■(終了)を押す

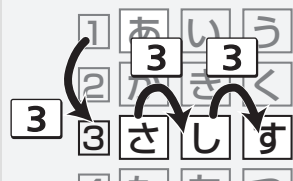
5 「保存」を選び、決定を押す

●番組一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

☞ **前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞ **途中で終わるには**
戻る を数回押す
(入力した文字は保存されません)

よく使う語句を登録する	**登録できる語句数**:20個まで **登録できる文字数**(1個あたり): 英数　先頭から20文字 その他　先頭から10文字 **1 登録したい語句を入力する** **2 スキップ/頭出し ▶▶|(語句登録)を押す** **3 [◀]で「登録」を選び、決定を押す** ☞ **登録を中止するには** 戻る を押す
登録した語句を呼び出す	**1 スキップ/頭出し |◀◀(語句一覧)を押す** **2 [▲][▼][◀][▶]で呼び出す語句を選び、決定を押す** ●確定文字表示欄に選んだ語句が入力されます。
登録した語句を消去する	**1 スキップ/頭出し |◀◀(語句一覧)を押す** **2 [▲][▼][◀][▶]で消去する語句を選び、サブメニュー Ⓢ を押す** **3 「語句消去」が選ばれている状態で、決定を押す** **4 [◀]で「消去」を選び、決定を押す**

数字ボタン[1]～[10/0]、[12*]でも文字を入力できます。
例:ひらがな「す」を選ぶ場合
1 [3]を押す
●「さ」行に移動します。
2 [3]を2回押し、[決定]を押す
●「す」が文字変換表示欄に表示されます。

入力できる文字数について

	種類	英数	その他
HDD	番組名	64	32
	写真のアルバム名	36	18
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	番組名	64	32
	写真のアルバム名(RAMのみ)	36	18
	ディスク名	64	32
-R(V) -R DL(V) -RW(V)	番組名	44	22
	ディスク名	40	20

お知らせ
●入力したすべての文字が表示されない画面もあります。

いろいろな情報を見る（メール/情報）

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

メール/情報の基本操作

1 **を押す**

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 [▲][▼]で「メール / 情報」を選び、(決定)を押す

4 [▲][▼]で確認する項目を選び、(決定)を押す

メール/情報
放送メール
購入記録
購入記録送信結果
双方向通信一覧
B-CASカード
ID表示
ボード
お好みページ
決定
戻る

☞ 前の画面に戻るには

 を押す

☞ 画面を消すには

 を数回押す

項目	内容
放送メール	放送メールには、放送局からのお知らせ（最大31通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の1通のみ保存）などがあります。 **[▲][▼]で確認したいメールを選び、[決定]を押す** ●本機の機能向上のためのダウンロード情報が届いたときに、メールの内容画面の下部にダウンロード予約ボタンが表示されます。ダウンロードの予約を「する」または「しない」を選んでください。 「する」を選んだ場合、メールに記載されているダウンロード開始時刻の約5分前には、電源を切っておいてください。 ※ダウンロード予約の設定が「自動」の場合は、ダウンロード予約ボタンは表示されず、自動的にダウンロードが行われます。 **☞ ダウンロード予約の設定については（➔準備編 36）** ●メールが最大保存数を超えると、未読/既読に関係なく、日付の古い順に消去されます。また、最大保存数を超えていなくても、受信から14日経過したメールは消去されます。 ●メールはお客様自身で消去することはできません。 ●メールの送信や返信はできません。
購入記録	購入した有料番組を確認できます。 ●価格改定などにより請求金額は異なる場合があります。 **☞ 累計金額をリセット（0円に戻す）するには** ① [取消し/11 #]を押して、リセット画面を表示させる ② [◀]で「はい」を選び、[決定]を押す ●リセットした項目は、うすい文字で表示されます。
購入記録送信結果	有料番組の購入情報が正しく送信されているかどうか確認します。 ●前回の送信結果として、送信失敗のために再送信をうながす旨が表示される場合があります。その場合は「送信」を選び、[決定]を押すと再送信できます。 最新の送信記録を表示 — 購入記録送信結果 / 番組の購入記録を送信しました。 / 送信 前回の送信結果を表示 — カスタマーセンターとの通信に成功しました。
双方向通信一覧	データ放送で電話回線を利用した履歴などを確認します。
B-CASカード	契約されている各委託放送事業者のカスタマーセンターへの問い合わせのときなど、B-CASカードの番号が必要なときに使用します。
ID表示	当社の「お客様ご相談センター」への問い合わせのときなど、本機の情報を調べたいときに使用します。 **☞ その他の情報を見るには** ●[青]を押すと、本機のソフト情報を表示。 ●[赤]を押すと、データ放送時のルート証明書情報を表示。
ボード	110度CSデジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。 ① [▲][▼]で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、[決定]を押す ② [▲][▼]で確認したい情報を選び、[決定]を押す ボード / CS1ボード / CS2ボード CS1ボード:「CS1」からの情報 CS2ボード:「CS2」からの情報
お好みページ	データ放送の画面上で、「お好みページ」の登録操作を行ったときに登録されます。今後、このようなデータ放送が徐々に増えてくる予定です。（2007年 2月現在） ただし、ページによっては本機で登録や表示ができないものがあります。 **[▲][▼]で実行したいタイトルを選び、[決定]を押す** ●登録されている内容に従った動作が行われます。 例えば、指定されたテレビ放送のチャンネルに切り換わったりします。 **☞ お好みページを削除したり自動で消去するには** ① [サブ メニュー]を押す ② 削除する場合は「削除」を選び、[決定]を押す ●データ放送からの指示により自動で消去してもよい場合は、「消去許可設定」で「許可」を選んだあと、「更新」を選び、[決定]を押します。

放送設定を変える（放送設定）

放送設定一覧（➜下記～103）をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

放送設定の基本操作

1 [操作一覧] を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]でメニューを選び、[決定]を押す

5 [▲][▼]で設定項目を選び、[決定]を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [◀][▶]で設定内容を変更する

放送設定
かんたん設置設定
放送設置
デジタル放送・再生
ダウンロード
放送設定リセット
決定
戻る

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

●[決定]を押すときは、周囲の回転部をいっしょに押さないようにお気をつけください。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
かんたん設置設定	かんたん設置設定（➜準備編 23）	→[決定]を押して、さらに設定します。
放送設置	チャンネル設定（➜準備編 40～44）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上アナログ	
	地上デジタル	
	BS	
	CS1	
	CS2	
	スキップ設定	▶視聴する ▶スキップする：[放送/入力切換]を押しても選択できなくなります。
	番組表設定（➜準備編 31）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	Gガイド地域設定	▶札幌～沖縄：（「かんたん設置設定」の実行で自動的に設定）
	番組表受信設定	BS908：（放送局からの案内がない限り、変更しないでください）
	Gガイド受信確認	Gガイド受信スケジュールを確認できます。
	地域設定（➜準備編 36）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	県域設定	▶東北海道～沖縄県
	郵便番号	――― - ――――（郵便番号）
	地域設定消去	▶はい　▶いいえ
	受信設定（➜準備編 32）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上デジタル	→[決定]を押して、さらに設定します。
	アッテネーター	▶オン　▶オフ
	物理チャンネル選択 物理チャンネル（➜準備編 33）を指定してアンテナレベルを確認します。	▶物理チャンネル入力　－－ CH
	衛星	→[決定]を押して、さらに設定します。
	アンテナ電源	▶オン　▶オフ 「オン」にした場合、テレビ側でBS・110度CSデジタル放送の受信ができない、または映りが悪くなるときがあるため、テレビ側の衛星アンテナ電源を「入（オン）」にしてください。
	トランスポンダ選択	BS-1～BS-15、CS-2～CS-24
	衛星周波数 （放送局からの案内がない限り、変更しないでください）	――.―――― GHz

放送設定を変える(放送設定)(つづき)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
放送設置(つづき)	電話設定(➜準備編 38)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	回線設定	▶自動 ▶プッシュ ▶ダイヤル 20 ▶ダイヤル 10
	トーン検出 「回線設定」(➜上記)が「自動」以外のときに設定できます。	▶する ▶しない
	内線設定	ーーーーーーーー(内線番号)
	電話テスト	ーー
	発信者番号通知	▶指定なし ▶通知する ▶通知しない
	電話会社設定	ーーーーーーーー(電話会社番号)
	マイラインプラス 「電話会社設定」(➜上記)を設定したときのみ設定できます。	▶解除する ▶解除しない
	B-CASカードテスト(➜準備編 36)	ーー
デジタル放送・再生	字幕の設定 デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど(文字スーパー)を表示させるための設定です。 録画モード「DR」以外で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時にはその設定内容で再生されます。	→[決定]を押して、さらに設定します。 字幕の設定 字幕 オン オフ 字幕言語 日本語 英語 文字スーパー オン オフ 文字スーパー言語 日本語 英語 ●「字幕」/「文字スーパー」が「オン」でも、字幕/文字スーパーのない番組や設定した言語の字幕/文字スーパーがない場合、字幕/文字スーパーは表示されません。 ●強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。 ●地上アナログ放送の文字放送(字幕)は見られません。
	字幕	▶オン ▶オフ
	字幕言語	▶日本語 ▶英語
	文字スーパー	▶オン ▶オフ
	文字スーパー言語	▶日本語 ▶英語

リモコンのボタンに割り当てられた放送局(2007年2月現在)

●地上アナログ放送(➜準備編 46)
●地上デジタル放送(➜準備編 48)

● BSデジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHKハイビジョン
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日
6	161	BS-i
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル
11	211	BS11 デジタル※
12	222	TwellV ※

● CS1(e2 by スカパー!)

番号	チャンネル	放送局名
1	001	e2 メイト
2	990	生活スタイルTV
3	025	BBC JAPAN
4	991	SHOP & TV5
5	055	ep055チャンネル
6	027	
7		
8		
9		
10	888	スターチャンネルHV
11		
12		

●CS2(e2 by スカパー!)

番号	チャンネル	放送局名
1	100	e2 プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS映画
4	147	ベルーナお買い物テレビ
5	250	アクティブ!スポーツ
6	160	C-TBSウェルカム
7	177	ショップチャンネル
8	258	フジテレビ739
9	194	AQステーション
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	宝塚スカイ・ステージ
12	232	スター・クラシック

※ BS11 デジタルと TwellV は 2007 年 12 月より放送が開始される予定です。

●放送局名やチャンネル番号は、実際の表示と異なる場合があります。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
デジタル放送・再生(つづき)	**制限項目設定** ●年齢や購入金額の上限を設定できます。 ●上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。入力すると番組を見ることができます。 ●年齢制限を超える番組は、番組表(Gガイド)などで「・・・」と表示されます。	→[決定]を押して、さらに設定します。 暗証番号登録 0 ～ 9 番号入力 # 1文字削除 戻る 視聴制限を利用するには暗証番号登録が必要です。 暗証番号を入力してください。 \- \- \- \- **画面の指示に従って[1]～[10/0]を押し、暗証番号(4けた)を入力する** ●10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。 ●初めて入力するときは番号を2回入力し、登録します。暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。 ○○ お知らせ ○○ **●4けたの暗証番号は自由にお決めいただけます。もし忘れた場合は、契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。** ●暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。
	視聴可能年齢	▶ **無制限** ▶4才～19才(1才刻み)
	一番組限度額	▶ **無制限** ▶100円 ▶500円 ▶1000円 ▶1500円 ▶2000円 ▶2500円 ▶3000円
	暗証番号変更	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は残ります。
	暗証番号取消し	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は「無制限」に戻ります。
	設定した年齢や購入金額を超える番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。 視聴制限があります。 暗証番号を入力してください。 \- \- \- \-	●暗証番号を入力すると、番組が映ります。 ●「視聴可能年齢」の場合は、一度暗証番号を入力すると、電源を「切」にするまで見ることができます。
	選局対象 デジタル放送で[**チャンネル∧,∨**]を押して順送りできるチャンネルを選びます。	▶ **設定チャンネル**:リモコンの[1]～[12＊]に設定されているチャンネルとデジタル放送で設定した13～36までのチャンネル ▶ **テレビ**:テレビ放送(映像＋音声)のチャンネルのみ ▶ **ラジオ**:ラジオ放送(音声)のチャンネルのみ ▶ **データ**:データ放送のチャンネルのみ ▶ **すべて**:受信できるすべてのチャンネル
ダウンロード	**ダウンロード予約(➜準備編 36)** デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。	▶ **自動**:電源「切」時に、自動的にダウンロードします。 ▶ **手動**:情報が届いた場合、メールで知らせます。 (➜100「放送メール」)
放送設定リセット	**設定項目リセット** **放送設定**「受信設定」の「衛星」(➜101)、**放送設定**「電話設定」(➜ 左ページ)をお買い上げ時の設定に戻します。	▶はい ▶**いいえ**
	個人情報リセット **初期設定**項目(➜104～108)[時刻(年/月/日/時/分)は除く]、**放送設定**項目(➜101～103)をお買い上げ時の設定に戻します。 また、本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)や、予約一覧画面(➜50)の内容も消去されます。 廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。	→[決定]を3秒以上押して、さらに設定します。 ▶はい ▶**いいえ** ○○ お知らせ ○○ ●双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。 ●HDDに録画された番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」(➜97)を行ってください。

本機の設定を変える（初期設定）

初期設定一覧（➜下記～108）をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

初期設定の基本操作

1 [操作一覧] を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]でメニューを選び、[決定]を押す

5 [▲][▼]で設定項目を選び、[決定]を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [▲][▼][◀][▶]で設定内容を選び、[決定]を押す

初期設定
設置
ディスク／テープ
映像
音声
画面設定
テレビ/機器の接続
決定
戻る

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
設置	**自動電源〔切〕** 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶2時間　▶6時間　▶切 時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。
	リモコンモード（➜準備編 34）	▶リモコン1　▶リモコン2　▶リモコン3
	ワイドモード テレビのS映像入力に合わせて出力を設定します。 （➜準備編 26） （➜127「S映像出力」）	▶S1　:テレビの端子が「S1」のとき ▶S1/S2 :テレビの端子が「S1」または「S2」のとき ▶切　:テレビの端子が「S」、またはテレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき
	時刻合わせ（➜準備編 34）	▶（年/月/日/時/分）　▶自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 「かんたん設置設定」などの実行時に、音声で操作ガイダンスを行います。	▶入:本書の マーク部分で働きます。（詳しくは➜4） ▶切
	クイックスタート 「入」に設定すると、電源「切」状態から以下の操作がすばやく行えるようになります。（映像またはS映像コード接続時） ●[番組表]を押して約0.9秒後※に、番組表（Gガイド）を表示します。（➜30） ※D端子ケーブルやHDMIケーブルで接続している場合は、さらに数秒かかります。 ●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。 ●そのほかの操作は、電源を入れてから数十秒かかります。 以下の場合、「クイックスタート」の設定は自動的に「入」になります。 ●「ビエラリンク録画待機」（➜108）を「入」に設定したとき	▶入 ▶切 「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 ●待機時消費電力が増えます。 ●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に"PLEASE WAIT"と表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、ドライブやHDDから動作音がしますが、故障ではありません。） ●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
	初期設定リセット 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 ただし、以下の設定は除きます。 ・時刻 ・視聴制限	▶する　▶しない 初期設定リセットを行うと、本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン1）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合は（本体表示窓に"U30"と表示）、リモコンモードを変更してください。（➜準備編 35「本体表示窓に"U30"と表示されたとき」）

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
ディスク／テープ	**DVD-Video 再生設定**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1] ～ [10/0]で暗証番号(4けた)を入力してください。 ●**暗証番号は忘れないでください。**	▶ **レベル8 すべて視聴可**：すべてのディスクが視聴可。 ▶ **レベル7～1**：制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可。 ▶ **レベル0 すべて視聴不可**：すべてのディスクが視聴不可。 ▶ **ロック解除**　▶ **暗証番号変更**　▶ **レベル変更**　▶ **一時解除**
	音声言語 DVDビデオ再生時の音声を選びます。	▶ **日本語**　▶ **英語** ▶ **オリジナル**(ディスクの最優先言語で再生) ▶ **その他＊＊＊＊** **＊には [1]～[10/0] で言語番号(➜107)を入力**
	字幕言語 DVDビデオ再生時の字幕言語を選びます。	▶ **オート**： 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶ **日本語**　▶ **英語**　▶ **その他＊＊＊＊**
	メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶ **日本語**　▶ **英語**　▶ **その他＊＊＊＊** 選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面(➜51)でのみ切り換えるものもあります。
	記録設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	EP時の記録時間 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。 **(録画モード➜35)**	▶ **6時間**：4.7 GBディスクに6時間記録 ▶ **8時間**：4.7 GBディスクに8時間記録
	高速ダビング用録画 -R(V) -R DL(V) -RW(V) HDDに録画した番組を、高速ダビングできるようになります。ただし録画される番組は画面サイズなどが制限されます。 **(➜ 右記)** 「切」に設定していると、右記の制限はかかりませんが、-R(V) -R DL(V) -RW(V) への高速ダビングはできなくなります。 ●この設定は、アナログ放送や外部入力から録画するとき、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングするとき、VHS からダビングするときに有効です。	▶ **入**：高速ダビング対応にする →[決定]を押して、さらに「はい」を選びます。 ・記録される番組には以下の制限がかかります。 - 画面サイズは「ビデオ方式の記録アスペクト」**(➜下記)**の設定に従って記録されます。 - 二重放送の音声は「二重放送音声記録」**(➜106)**で選んだほうの音声のみ記録されます。 ・放送受信中の音声を切り換えることはできなくなります。 - 二重放送の音声は、「二重放送音声記録」**(➜106)**で選ばれているほうが出力されます。 ▶ **切**
	ビデオ方式の記録アスペクト 記録時のアスペクトの設定をします。この設定は、以下の場合に有効です。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) に記録するとき ●「高速ダビング用録画」**(➜上記)**を「入」にして、地上アナログ放送や外部入力から記録するとき ● HDD「高速ダビング用録画」**(➜上記)**を「入」にして、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)または VHS からダビングするとき	▶ **オート**：番組の記録開始時のアスペクトに従って記録します。 ▶ **4:3** ▶ **16:9** ●録画モード「EP」、「FR(EPモード相当の画質)」での記録時は、設定にかかわらず4:3で記録されます。 ●VHSからダビングする場合は、「オート」に設定していると、4:3で記録されます。16:9映像をダビングするときは、「16:9」に設定することをお勧めします。
	DVDの高速ダビング速度 高速モードでのダビング速度を設定します。 (RAM 5X、-R(VR) -R(V) 8X以上の高速記録対応ディスクの場合など)	▶ **最高速モード** ▶ **静音モード**：ダビング時の動作音が小さくなります。ただし、ダビングの所要時間は長くなります。
	VHS設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	テープ長さ ●D-VHSカセットのときは、どの位置に設定してもテープ残量が正しく表示されません。	▶ **－120**：T120(120分)、TC20(VHS-C・20分)カセットや、それより短いものを使うとき ▶ **－160**：T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS-C・30分)カセットを使うとき ▶ **180**：T180(180分)カセットや、それより長いものを使うとき

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
映像	**スチルモード** HDDまたはディスク再生時、一時停止中の画像の表示方法が選べます。 **（➜126「フレーム/フィールド」）**	▶**オート** ▶**フィールド**：動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるとき ▶**フレーム**　：「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 HDDまたはディスク再生時、番組と番組のつなぎ目や部分消去した部分などの再生する状態が選べます。（DRモードの番組には、この設定は無効です）	▶**入**：なめらかに再生（早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります） ▶**切**：精度よく再生（つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります）
	HDノイズフィルター HDDまたはディスク再生時、ざらつきが少なく柔らかい画像にします。	▶**入**：「D端子出力解像度」**（➜108）**が「D3」「D4」のときのみ有効 ▶**切**
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶**入**（ドルビーデジタルの音声にのみ働きます） ▶**切**
	二重放送音声記録 記録する二重放送の音声を選びます。この設定は、右記の場合に有効です。	▶**主音声**　▶**副音声** 以下の場合、両音声を記録できません。記録する音声を選んでください。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) に記録するとき ●「高速ダビング用録画」**（➜105）**を「入」にして、地上アナログ放送や外部入力からの番組を記録、または VHS からダビングするとき ●「XP時の記録音声モード」**（➜下記）**を「LPCM」にして、録画モード「XP」で記録するとき
	デジタル出力	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	PCMダウンサンプリング変換 サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHzに変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。	▶**入**：96 kHzまたは88.2 kHzに対応していない機器と接続したとき ▶**切**：96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器と接続したとき （176.4 kHz以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定にかかわらず48 kHzまたは44.1 kHzに変換されます）
	Dolby Digital※ ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、本機で"PCM(2ch)"に処理して出力するかを設定します。	▶**Bitstream**：ドルビーデジタルロゴのある機器に接続したとき ▶**PCM**　：ドルビーデジタルロゴのない機器に接続したとき 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。 **ドルビーデジタル** DOLBY DIGITAL **DTSデジタルサラウンド** DIGITAL dts SURROUND / dts Digital Surround
	DTS※ DTSの信号を接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、本機で"PCM(2ch)"に処理して出力するかを設定します。	▶**Bitstream**：DTSデジタルサラウンドロゴのある機器に接続したとき ▶**PCM**　：DTSデジタルサラウンドロゴのない機器に接続したとき
	AAC※ AACの信号を接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、本機で"PCM(2ch)"に処理して出力するかを設定します。	▶**Bitstream**：AACをデコードできる機器に接続したとき ▶**PCM**　：AACをデコードできない機器に接続したとき
	外部入力の音声 外部入力(L1)から録画するときに記録する音声の種別を設定します。	▶**ステレオ** ▶**二重音声**　：二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」**（➜上記）**で音声をあらかじめ選んでください。（「高速ダビング用録画」**（➜105）**が「入」のときに、選んだ音声のみ記録します）
	XP時の記録音声モード 録画モードが XP 時に、記録する音声の種類が選べます。 （XPでの録画時やダビング時に働きます）	▶Dolby Digital（➜126） ▶LPCM（➜127）： ・画質は少し下がります。 ・XP以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」**（➜上記）**であらかじめ選んでください。

※HDMI映像·音声出力端子から音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれていると、接続機器の性能により設定どおりに出力されない場合があります。

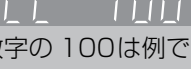
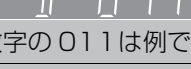
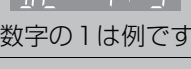
メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
画面設定	**画面表示動作〔オート〕** 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶入 ▶切（表示しない）
	地上アナログ時のブルーバック 地上アナログ放送の受信信号が弱いときや、カセットの未記録部分を再生するときに画面背景を表示しないようにできます。	▶入 ▶切（表示しない）
	テレビ画面の焼き付き低減機能 テレビ画面の焼き付きを低減するための設定です。通常は「入」に設定しておくことをおすすめします。「入」に設定すると、以下のような動作を行います。 ●黒帯部分を明るくします。 [D端子またはHDMIケーブルで接続して、「HDMI出力解像度」(➜108)が「480p(525p)」以外のときや「D端子出力解像度」(➜108)が「D3」「D4」のときのみ] ●以下の状態のときに10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を次のように切り換えます。 ・再生ナビ、番組表、操作一覧、予約確認、おまかせダビング、消去ナビのときは画面を消します。 ・写真を再生中のとき（スライドショー再生中は除く）は、再生ナビ画面に戻ります。 ・CD 音楽を再生中のときは、写真のスライドショー画面が表示されます。 （[戻る]を押すと、元の画面に戻ります）	▶入 ▶切
	本体表示窓の明るさ 本体表示窓の明るさを調節します。	▶常時 明　▶常時 暗 ▶**オート**：再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ・電源「切」時の消費電力の節電になります。 **（電源「切」時の消費電力➜準備編 18）**
	SDカードLED制御 SDカードスロットの上にあるランプの点灯方法を設定します。	▶常時点灯 ▶常時消灯 ▶**カード入点灯**：電源「入」時に、SDカードを入れると点灯します。

言語番号一覧

アイスランド…7383
アイマラ…6589
アイルランド…7165
アゼルバイジャン…6590
アッサム…6583
アファル…6565
アフリカーンス…6570
アブハジア…6566
アムハラ…6577
アラビア…6582
アルバニア…8381
アルメニア…7289
イタリア…7384
イディッシュ…7473
インターリングア…7365
インドネシア…7378
ウェールズ…6789
ウォロフ…8779
ヴォラピュック…8679
ウクライナ…8575
ウズベク…8590
ウルドゥー…8582
英語…6978
エストニア…6984
エスペラント…6979
オーリヤ…7982
オランダ…7876
カザフ…7575
カシミール…7583
カタロニア…6765
ガリチア…7176
韓国（朝鮮）語…7579
カンナダ…7578
カンボジア…7577
キルギス…7589
ギリシャ…6976
クルド…7585
クロアチア…7282
グアラニー…7178
グジャラト…7185
グリーンランド…7576
グルジア…7565
ケチュア…8185
ゲール（スコットランド）…7168
コーサ…8872
コルシカ…6779
サモア…8377
サンスクリット…8365
ショナ…8378
シンド…8368
シンハラ…8373
ジャワ…7487
スウェーデン…8386
スロバキア…8375
スロベニア…8376
スワヒリ…8387
スンダ…8385
スペイン…6983
ズールー…9085
セルビア…8382
セルボクロアチア…8372
ソマリ…8379
タイ…8472
タタール…8484
タミル…8465
タガログ…8476
タジク…8471
チェコ…6783
中国語…9072
チベット…6679
ティグリニア…8473
テルグ…8469
デンマーク…6865
トウイ…8487
トルクメン…8475
トルコ…8482
トンガ…8479
ドイツ…6869
ナウル…7865
日本語…7465
ネパール…7869
ノルウェー…7879
ハウサ…7265
ハンガリー…7285
バシキール…6665
バスク…6985
パシュト…8083
パンジャブ…8065
ヒンディー…7273
ビハール…6672
ビルマ…7789
フィジー…7074
フィンランド…7073
フェロー…7079
フランス…7082
フリジア…7089
ブータン…6890
ブルガリア…6671
ブルターニュ…6682
ヘブライ…7387
ベトナム…8673
ベロルシア（白ロシア）…6669
ベンガル（バングラ）…6678
ペルシャ…7065
ポーランド…8076
ポルトガル…8084
マオリ…7773
マケドニア…7775
マライ（マレー）…7783
マラッタ…7782
マラヤーラム…7776
マルタ…7784
マダガスカル…7771
モルダビア…7779
モンゴル…7778
ヨルバ…8979
ラオ…7679
ラテン…7665
ラトビア（レット）…7686
リトアニア…7684
リンガラ…7678
ルーマニア…8279
レトロマンス…8277
ロシア…8285

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
テレビ／機器の接続	TVアスペクト 接続したテレビに合わせて設定します。 **（➜準備編 24）**	▶4:3　:4:3 標準テレビに接続しているとき ▶<u>16:9</u>　:ワイドテレビに接続しているとき ▶16:9フル :ワイドテレビに接続していて、サイドパネル（左右に黒い帯がある状態）をなくして表示したいとき
	HDMI接続	→[決定]を押して、さらに設定します。
	HDMI映像優先モード（➜準備編 28）	▶<u>入</u> ▶切：アンプなどの機器とHDMIケーブルで接続し、テレビとD端子ケーブルで接続するとき（アンプと接続する前に設定してください）
	HDMI出力解像度 接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、本体の[停止■]と[再生▶]を5秒以上押したままにしてください。その場合は「480p(525p)」に設定されます。再度正しく設定してください。	▶<u>オート</u>：1080i(1125i)、720p(750p)、480p(525p)の順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。 ▶480p(525p)　：プログレッシブ ▶1080i (1125i)：インターレース ▶720p(750p)　：プログレッシブ アンプと接続する場合、接続するアンプが設定した解像度に対応していないときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビをHDMIケーブルで接続し、本機とアンプはHDMI以外のケーブルで接続してください。**（➜準備編 12）**
	HDMI RGB出力レンジ RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）に接続したとき有効になります。	▶<u>スタンダード</u> ▶エンハンス　：映像の黒白が鮮明でないとき
	HDMI音声出力（➜準備編 28）	▶<u>入</u> ▶切：テレビと本機をHDMIケーブルで接続し、HDMI非対応のアンプなどと光デジタルケーブルで接続するとき
	ビエラリンク制御 ビエラリンクに対応した機器とHDMIケーブルで接続したときに、連動操作の設定をします。	▶<u>入</u> ▶切：ビエラリンクの機能を使わないとき
	ビエラリンク録画待機 ビエラの電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。 ●「ビエラリンク制御」**（➜上記）**が「入」のときのみ有効です。	▶入 ▶<u>切</u> 「入」に設定すると、「クイックスタート」**（➜104）**は自動的に「入」になります。 ●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
	D端子出力解像度（➜準備編 26）	▶D1　▶D2　▶<u>D3</u>　▶D4 設定を変更して映像が乱れた場合は、本体の[停止■]と[再生▶]を5秒以上押したままにしてください。「D1」に設定されます。
	TVアスペクト(4:3)の設定 （4:3テレビに接続時） 16:9映像の映しかたを選びます。 DVD-Videoの16:9 映像	▶<u>パン＆スキャン</u>：左右の切れた映像で再生するとき（パン＆スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します） ▶レターボックス：上下に帯のある映像で再生するとき
	TVアスペクト(4:3)の設定 録画ディスクの16:9 映像	▶スルー　：録画された映像の横縦比で再生するとき ▶パン＆スキャン：左右の切れた映像で再生するとき ▶<u>レターボックス</u>：上下に帯のある映像で再生するとき HDD DRモードの番組は、設定にかかわらずレターボックスで再生されます。
	D端子と S/ ビデオ出力切換 本機は映像 /S 映像出力、またはD端子出力のどちらか一方からしか映像を出力できません。 この設定で、映像を出力する端子を変更できます。 ただし、映像が映らないとき以外は、変更する必要はありません。 設定は、本体の[チャンネル∧]と[再生▶]を5秒以上押しても変更できます。 **（➜準備編 26「映像端子、S映像端子、D端子に接続して映像が出ない場合」）**	▶<u>自動検出</u>：映像 /S 映像出力、またはD端子出力のどちらか一方のみ接続している場合は、接続した端子から出力します。 映像 /S 映像出力と D 端子出力の両方に接続している場合は、D 端子出力から出力します。 ▶D 端子出力：D端子出力から出力（D端子出力に接続して、「自動検出」で映像が出力されないとき） ▶S/ ビデオ出力：映像 /S 映像出力から出力 設定を変更して映像が映らなくなった場合は、[操作一覧]を押して、本体表示窓の“SETUP”の表示を消したあと、本体の[チャンネル∧]と[再生▶]を5秒以上押す操作を繰り返してください。

Q＆A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	ページ
ディスク	CD-RやCD-RWは使えるか？	●CD-DAや写真（JPEG）のフォーマットで記録されたCD-RやCD-RWが再生できます。 ●本機はCD-RやCD-RWには記録できません。	10,11 ―
	海外で買ったDVDビデオは再生できるか？	●映像方式がNTSCであれば再生できます。 ●リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	― 10
	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか？	●リージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。リージョン番号がない（規格を満たしていない）場合は再生できません。	―
カセット	S-VHS や D-VHS 、S-VHS C 、VHS C カセットは使えるか？	●S-VHS、D-VHS カセットは、使用できますがVHS方式でしか記録できません。 ●S-VHS C 、VHS C カセットは、カセットアダプター（別売）を使えば使用できます。ただし、S-VHS C カセットを使っても、VHS方式でしか記録できません。 ●S-VHS方式で記録されたカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。 ●デジタル（D-VHS）方式で記録された D-VHS カセットは再生できません。	― ― 58 ―
	海外で録画したカセットを再生できるか？	●同じNTSC方式のSP（標準）、またはEP（3倍）で録画されたものならできます。	―
録画・ダビングや録音	市販のビデオやDVDから録画できるか？	●市販されているほとんどのDVDやビデオタイトルは、録画禁止処理がされています。その場合は録画できません。	―
	本機で記録したディスクは他の機器で再生できるか？	●RAM 当社製DVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは再生できます。（2007年2月現在） ●-R(VR) 2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーで再生できます。（2007年2月現在） ●-R(V) -RW(V) ファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます（ただし、すべての機器で再生保証するものではありません）。また、記録状態によって再生できない場合があります。 ●-R DL(VR) DVD-R DL（VR方式）に対応した機器で再生できます。 ●-R DL(V) ファイナライズすると、DVD-R DL（ビデオ方式）に対応した機器で再生できます。 ●-RW(VR) DVD-RW（VR方式）に対応した機器で再生できます。	― ― 98 ― 98 ―
	本機で、外部入力からのデジタル信号を録音できるか？	●できません。本機のデジタル音声端子は出力のみです。	―
	本機からDVDの音声をデジタル信号のままMDなどに録音できるか？	●できます。DVDの音声を録音する場合、**初期設定**「デジタル出力」を以下のように設定してください。 「PCMダウンサンプリング変換」:「入」 「Dolby Digital」:「PCM」 「DTS」:「PCM」 「AAC」:「PCM」 （ただし、ディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です）	106
	ディスクに高速でダビングしたいときは？	●デジタル放送は、録画モード「DR」以外でHDDに録画すると、HDDからCPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) に高速ダビングすることができます。 ●アナログ放送は、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしてHDDに録画すると、HDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速ダビングができます。（お買い上げ時の設定は「入」です）	― 105
	MPEG4は録画できるか？	●できません。本機はMPEG4に対応していません。	―

こんな表示が出たら

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	61PCT （数字の 61は例です）	●高速ダビング中やファイナライズ中などの進捗状況を表します。 （61PCT の場合、61 パーセントまで進捗していることを表します）	—
	A 1 （数字の 1は例です）	●現在選んでいる地上アナログ放送のチャンネルを表します。	—
	BS 101 （数字の 101は例です）	●現在選んでいる BS デジタル放送のチャンネルを表します。	—
	B-CAS OUT	●デジタル放送の録画開始時にB-CASカードが正しく挿入されていなかったり、デジタル放送の録画中にB-CASカードが抜けるなどしたときに、表示されます。B-CASカードを挿入してください。	—
	C1 001 （数字の 001は例です）	●現在選んでいる CS1 放送のチャンネルを表します。	—
	C2 100 （数字の 100は例です）	●現在選んでいる CS2 放送のチャンネルを表します。	—
	D 011 （数字の 011は例です）	●現在選んでいる地上デジタル放送のチャンネルを表します。	—
	DL 1/5 （数字の 1は例です）	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。 （1/5などはダウンロードの進み具合を表します）	準備編 36
	HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	JPEG	●写真（JPEG）を再生中に表示します。	—
	L1	●現在、外部入力が選ばれています。	—
	NAVI	●再生ナビや消去ナビ画面を表示中に表示します。	—
	NoFINALIZE	● -R(V) -R DL(V) -RW(V) (未ファイナライズのディスクのみ) HDD の録画や再生中などに、本体の [開/閉▲] を押したときに表示されます。その場合、ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。	113
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー（別売）(**➜準備編 裏表紙**)での作業が終了したときにも、左記のメッセージが表示されることがあります。**[開/閉▲]** を押してクリーナーを取り出してください。	13 —
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。“BYE” が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— —
	PROG FULL	●「新番組おまかせ録画」以外の予約が３２件登録されています。不要な予約を消してください。	50
	SLIDE	●写真のスライドショー再生中に表示されます。	—

	表示文字		調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	U11	※	●ビデオヘッドが汚れています。クリーニングしてください。	61
	U30 2 1～3のいずれかを表示	※	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を2秒以上押したままにしてください。	準備編 34
	U50	※	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。	―
	U59	※	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	―
	U61	※	●(ディスクトレイにディスクが入っていないとき)録画や再生、ダビング中に、異常が確認された場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示しています。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	―
	U71	※	●接続機器がHDMIに対応していません。	―
	U72 U73	※ ※	●HDMI接続時に異常が発生しました。 ・接続機器がHDMIに対応していません。 ・HDMIケーブルが破損しています。 ・HDMIロゴの付いたケーブルをお使いください。	―
	U76	※	●本機とHDMIケーブルで接続されたテレビやアンプなどの機器が、著作権保護に対応していないため、著作権保護されたDVDビデオは再生できません。	―
	U77	※	●お使いのDVDビデオは著作権情報が不正なため再生できません。	―
	U88	※	●(ディスクトレイにディスクが入っているとき)再生やダビング中に、ディスクに異常が確認された場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示しています。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	―
	F99	※	●本機が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	―
	F00 H00 (数字の 00は例です)	※ ※	●異常が発生しました。(“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります) 電源を一度、切 / 入してください。	―
	UNFORMAT		●フォーマット(初期化)されていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	97
	UNSUPPORT		●本機で記録や再生できないディスクが入っています。	8～10

※これらの表示は、本機の症状を表すサービス番号です。
上記に紹介している操作をしても表示が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口(➔135)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などとお知らせください。

こんな表示が出たら（つづき）

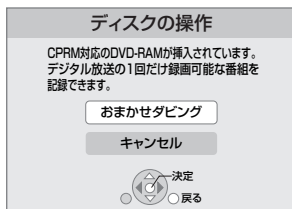
	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
テレビ画面	読み込みできません。 ディスクを確認してください。	●ディスクが裏返しになっていませんか。	19
	（対応）カードが入っていません。	●本機に対応していない SD カードが入っていませんか。対応したSDカードを入れたのに表示された場合は、本機の電源を切り、SDカードを入れ直してください。 ●SDカードのフォーマットが異なっていませんか。	11,19 11
	記録できないディスクが入っています。 このディスクは規定のフォーマットがされていません。	●本機で記録できないディスクが入っていませんか。 ● -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) ファイナライズ後のディスクが入っていませんか。 ● RAM -RW(VR) -RW(V) フォーマットを行ってください。	8 — 97
	（ディスクなどが）いっぱいで記録できません。 番組数がいっぱいで記録できません。 ダビング先の容量が足りません。	● HDD RAM -RW(VR) -RW(V) SD 不要な番組や写真を消去してください。 ●新しいディスクやSDカードを使ってください。	94 —
	録画を正常に終了できませんでした。	●録画禁止の番組のため、録画できません。 ●ディスクの残量がなくなっていませんか。 ●最大番組数を超えていませんか。	— — 36
	ディスクへの書き込みができません。 フォーマットできません。	●ディスクに傷や汚れがありませんか。	13
	チャンネルを設定してください。	●ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、Gコード®予約ができません。	準備編 40
	🚫この操作は現在できません。	●ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。	—
	再生できません。	●非対応のディスク（映像方式が異なるディスクなど）が入っています。	10
	本機では再生できません。	●非対応の画像を再生しようとしています。 ●本体表示窓の“SD”が点滅していないことを確認して、SDカードを入れ直してください。	11 19
	フォルダがありません。	●本機で対応したフォルダがありません。	126
	データを取得中です	●デジタル放送からデータを取得中です。	—
	B-CASカードを正しく挿入してください。	●B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。B-CASカードを正しく挿入してください。	準備編 17
	アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。	—
	受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。	●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。	準備編 32
	受信できません。 B-CASカード、アンテナ設定、もしくはこのチャンネルの契約をご確認ください。	●正しく受信できない番組を録画した場合、または購入されていない有料放送の番組を録画した場合に表示されます。 ●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局している場合は正しく受信できません。 ●有料放送の場合は、購入してから録画してください。 ●契約したB-CASカードを挿入していますか。	28 準備編 32 28 —
	現在、このチャンネルは放送を休止しています。	●放送を休止しているチャンネルを選んでいます。	—
	番組データがありません。決定ボタンで取得します。	●地上デジタル放送の番組表（Gガイド）のみで表示されます。番組表（Gガイド）で取得したい番組を選んで[決定]を押すと、受信可能なチャンネルであれば数分で受信します。	—
	購入できません。電話の接続・設定を確認のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	●B-CASカードの記録容量を超えている場合など、購入記録が送信できないときに表示されます。電話回線の接続や設定を確認してください。	準備編 16 準備編 38
	現在、受信できません。	●受信するための送信データが異常の場合に表示されます。	—
	視聴できません。視聴するには決定ボタンを押してください。	●有料番組の購入をしていません。 [決定]で、再度購入操作が行えます。	—
	データを送信します。よろしいですか？	●データ放送の指示により、データをサービスセンターに送信します。	—
	降雨対応放送に切り替わりました。	●雨の影響により、衛星電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り替えました。画質、音質が少し悪くなり、番組情報が表示できない場合もあります。	—
	緊急警報放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	●緊急警報放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。	—

ディスク挿入時

RAM **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)**

-R(V) **-R DL(V)** **-RW(V)** （未ファイナライズのディスクのみ）

停止中に、ディスクを入れると下記の画面が表示されます。 ディスクやディスク状態によって表示される内容は異なります。

フォーマットが必要なディスクの場合

「おまかせダビング」が選ばれている状態で、**[決定]** を押すと、HDDからDVDへのおまかせダビング画面を表示することができます。**(➜72 手順5)**

記録可能なディスクの場合

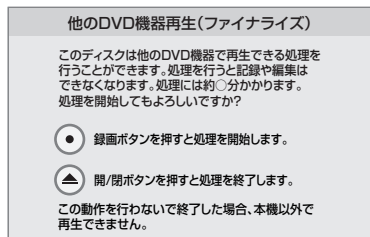
ディスクの操作
CPRM対応のDVD-RAMが挿入されています。
デジタル放送の1回だけ録画可能な番組を
記録できます。
おまかせダビング
再生ナビを表示
キャンセル
決定
戻る

[▲][▼] で項目を選び、**[決定]** を押すと、各操作画面へ進むことができます。

再生ナビを表示　：再生ナビ画面を表示します。**(➜52)**
おまかせダビング　：おまかせダビングを表示します。**(➜72 手順5)**

- **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)** 以下の場合は、「おまかせダビング」は表示されません。
  ･ファイナライズしたディスクのとき
  ･プロテクト設定されたディスクのとき

ディスク取り出し時 -R(V) -R DL(V) -RW(V) （未ファイナライズのディスクのみ）

停止中に、本体の[開/閉⏏]を押して記録済みのディスクを取り出そうとすると、下記の画面が表示され、ファイナライズを行うか、行わずにディスクを取り出すかを選ぶことができます。ファイナライズを行うと、再生専用ディスクとなり、他のDVD機器で再生できるようになります。ただし、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

ファイナライズを行う場合

[録画●] を押す
- ファイナライズが実行されます。

ファイナライズを行わない場合

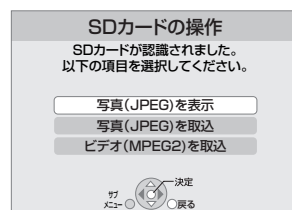
本体の **[開/閉⏏]** を押す
- ディスクトレイが開きます。

HDD の録画や再生中などに、本体の **[開/閉 ⏏]** を押すと、ファイナライズを行わずにディスクトレイが開きます。その場合、本体表示窓には、下記の表示が出ます。

No FINALIZE

- ファイナライズ後のディスクのトップメニュー画面の背景色や再生方法を設定したい場合は、ファイナライズを実行する前に、DVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。**(➜98)**

SDカード挿入時 SD

停止中に、SDカードを入れると下記の画面が表示されます。

[▲][▼] で項目を選び、**[決定]** を押すと、各操作画面へ進むことができます。

写真(JPEG)を表示　：再生ナビ画面を表示します。**(➜83)**
写真(JPEG)を取込　：写真(JPEG)おまかせ取込を行います。**(➜89)**
ビデオ(MPEG2)を取込　：MPEG2動画をダビングします。**(➜76)**

- SDカード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取込」は表示されません。

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➔135)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- ●周期的なディスクの回転音がする。（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- ●電源切/入およびHDDの休止時に音がする。休止中の反応が遅い。
- ●気象条件が悪いため、受信映像が乱れる。
- ●早送り･早戻し（VHS 巻き戻し再生）すると映像が乱れる。
- ●BS/CS放送の一時的な休止による受信障害。

本機が操作を受けつけなくなったときは…	●各種安全装置が働いていることがあります。 ① **本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る** ●電源が切れない場合は、約10秒間押し続けると強制的に切れます。（または、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む） ② **本体の[電源 ⏻/I]を押し、電源を入れる** 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	電源が入らない	●電源コードがコンセントから外れていませんか。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」の場合、本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、ドライブやHDDから動作音がしますが、故障ではありません。） ●停電のあとなどに一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。そのときは、本体の **[電源⏻/I]** を押し、電源を入れてください。	準備編 18 104 —
	自動的に電源が切れた	●節電機能が設定されていませんか。（**初期設定**「自動電源〔切〕」が「2時間」または「6 時間」になっている） ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の **[電源 ⏻/I]** を押し、電源を入れてください。 ●ビエラリンク対応のテレビ（ビエラ）とHDMIケーブルで接続した場合、テレビの電源が切れると本機の電源も自動的に切れます。ビエラリンクを使用しない場合は、**初期設定**「ビエラリンク制御」を「切」にしてください。	104 — 108
	自動的に電源が入る	●ビエラリンク対応のテレビ（ビエラ）とHDMIケーブルで接続した場合、テレビの番組表から予約が登録されると、本機の電源が自動的に入ります。 ビエラリンクを使用しない場合は、**初期設定**「ビエラリンク 制御」を「切」にしてください。	108
表示	表示が出ない	●**初期設定**「本体表示窓の明るさ」が「オート」になっていませんか。「オート」の場合は、電源「切」時は本体表示窓の表示が消灯しています。	107
	表示が暗い	●**初期設定**「本体表示窓の明るさ」で明るさを変えてください。	107
	“0：00”が点滅している	●停電や電源コードをコンセントから抜いたあとなどに、点滅します。 時刻を合わせてください。 デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。	準備編 34
	“録画”が点滅している	●以下の場合に点滅します。 ･予約録画の開始時刻の約 1 分 30 秒前から開始時刻までの間 ･デジタル放送録画時、アンテナ抜けや電波が弱くて正常に録画できないとき ･録画中や予約録画中に B-CAS カードが抜けているとき ･予約録画時に、HDD の残量がないとき	—
	電源「切」時に、本体表示窓に“D”が表示される	●番組データを受信中など自動的に放送情報を受信するために、表示する場合があります。	準備編 30
	電源「切」時に、本体表示窓に“TEL”が表示される	●購入記録の送信など電話回線使用中です。	29
	残量表示が使用した量に比べて少なくなったり多くなったりする	●残量表示は実際より増減することがあります。録画モード「DR」で録画した場合はとくにばらつきが大きくなります。 ● -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) 記録や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。	36 —
	VHSのテープカウンターの値が動かない	●テープの未記録部分では、値は動かずに秒表示の部分が右図のようになります。 -- -- 汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、表示されることあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
テレビ画面や映像	本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった	●分配器を使っていませんか。市販のブースターなどを使うと改善されることがあります。（効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください） ●アンテナ線が劣化していませんか。販売店にご相談ください。 ●以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。 ･かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき ･**放送設定**「アンテナ電源」を「オン」にしているとき	— — 準備編 21 101

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
テレビ画面や映像(つづき)	**映像が出ない** **映像が乱れる**	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブ映像に対応していないテレビとD端子ケーブルで接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしていませんか。本体の**[停止■]**と**[再生▶]**を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ●本機は、映像/S映像出力、またはD端子出力のどちらか一方からしか映像を出力できません。映像/S映像出力、またはD端子出力を接続して映像が出ない場合は、テレビに映像が映るまで、本体の**[チャンネル∧]**と**[再生▶]**を5秒以上押す操作を繰り返してください。 ●D端子ケーブルでテレビと接続し、HDMI ケーブルでアンプなどの機器と接続していませんか。その場合、映像は「D1」で出力されます。HDMIケーブルで接続した機器の電源を切り、**初期設定**「HDMI映像優先モード」を「切」にしてください。 ●HDMIケーブルで接続した機器から映像を出力する場合は、**初期設定**「HDMI映像優先モード」を「入」にしてください。 ●テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。 ●お使いのテレビによっては、再生、停止などの操作時に画面にノイズが出る場合があります。 ●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。	準備編6~18 — 準備編 26 108 108 — — —
	表示していた画面が消える	●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」が「入」の場合、以下の状態のときに10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を次のように切り換えます。 ・再生ナビ、番組表、操作一覧、予約確認、おまかせダビング、消去ナビ画面のときは画面を消します。 ・写真を再生中のとき(スライドショー再生中は除く)は、再生ナビ画面に戻ります。 ・**CD** 音楽を再生中のときは、写真のスライドショー画面が表示されます。 ([戻る]を押すと、元の画面に戻ります)	107
	横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる **画面サイズがおかしい**	●**初期設定**「TVアスペクト」をお使いのテレビに合わせて設定してください。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 ●**初期設定**「ワイドモード」や「TVアスペクト(4:3)の設定」の「DVD-Videoの16:9 映像」、「録画ディスクの16:9 映像」の設定を確認してください。 ●D端子ケーブルで接続している場合、**再生設定**「映像」メニューの「プログレッシブ」を「切」にしてください。効果がない場合や「切」にできない場合は、**初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」に、または「HDMI映像優先モード」を「切」に設定してください。	108 104,108 57,108
	記録した番組の映像が縦に引き伸ばされる	●以下のように記録した場合、**初期設定**「ビデオ方式の記録アスペクト」で設定した画面サイズで記録します。(お買い上げ時の設定は「オート」です。 16:9映像を記録したカセットを以下のようにダビングする場合、「オート」に設定していると、4:3映像で記録されます。「16:9」に設定することをおすすめします。) ・**-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** に記録したとき ・**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして、地上アナログ放送や外部入力からの映像を記録、またはファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)やVHSからダビングしたとき 4:3映像で記録された場合、**初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。	105 — 105,108
	テレビの左右に黒帯(サイドパネル)が表示される	●**初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」にするか、「画面モード切換」で「サイドカット」を選んでください。ただし、画像が左右に伸びる場合があります。	26,108
	映像の左右の端が切れる、または色が薄い	●表示領域の広いテレビでは、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	—
	再生時の映像に残像が多い	●**再生設定**「映像」メニューの「HDオプティマイザー」を「切」にしてください。	57
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時、映像の一部が二重にぶれて見える	●映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。**初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」にしてください。480i(525i)(インタレース)で出力されます。 HDMI映像・音声出力端子から映像出力時は、以下の手順で設定してください。 **① HDMI映像・音声出力端子以外の映像端子で接続する** **② 初期設定「HDMI映像優先モード」を「切」にする** **③ 初期設定「D端子出力解像度」を「D1」にする**	108 — 108 108
	画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	—
	画面メッセージが出ない	●**初期設定**「画面表示動作〔オート〕」が「入」になっていますか。	107
	ブルーバック(青い画面)にならない	●**初期設定**「地上アナログ時のブルーバック」が「入」になっていますか。	107
	予約録画中の映像が映らない	●予約録画は電源の入/切にかかわらず実行されます。予約録画中の映像を確認するには、電源を「入」にしてください。	—
	ハウリング(ピー)音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクなどを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
デジタル放送	BS･110度CSデジタル放送が受信できない 映像や音声が出ない、または映りが悪くなった	●BS･110度CSデジタル放送対応アンテナを使用していますか。BSデジタル放送のみを受信する場合でも、従来のBSアンテナでは受信できない場合があります。	—
		●アンテナ線やアンテナプラグが劣化またはショートしていませんか。	—
		●BS･110度CSデジタル放送に対応したアンテナ線や分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。	—
		●**放送設定**「受信設定」が正しく設定されていますか。アンテナレベルを調整してください。	準備編 32
		●風や振動により、アンテナの向きが変わっていませんか。アンテナを調整し、**放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になる角度にしてください。	準備編 32
		●着雪(アンテナ)、雨、雷雲などによる電波の減衰が考えられます。BS･110度CSデジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復をお待ちください。	—
		●降雨対応放送になっていませんか。雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、放送によっては電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換わることがあります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。	—
		●衛星アンテナ設定で、アンテナレベルの表示が白色で映らないときは、位相雑音の多いことが考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
		●放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。	—
	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの場所が、地上デジタル放送の放送エリアになっていますか。 地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られます。 また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。	—
		●地上デジタル放送に対応したUHFアンテナ、ブースターなどを使用していますか。 現在の地上アナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要になる場合があります。	—
		●UHFアンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていますか。現在の地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
		●風や振動により、アンテナの向きが変わっていませんか。アンテナを調整し、**放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になる角度にしてください。	準備編 32
		●**放送設定**「受信設定」のアンテナレベルを確認し、レベルが低い場合は、「アッテネーター」の設定を変更すると、受信できる場合があります。	準備編 32
		●共聴システムをご使用の場合、共聴システムが地上デジタル放送に対応(パススルー方式)になっていますか。CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。	—
	字幕や文字スーパーが出ない	●**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オン」になっていますか。	102
		●字幕や文字スーパーのない番組を選局していませんか。字幕のある番組は、番組内容画面に「字幕」のアイコンが表示されています。	—
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	●有料放送の視聴には、放送局ごとに機器と受信契約が必要です。視聴契約手続きをしてください。	28
		●契約したB-CASカードを挿入していますか。	—
		●電話回線を正しく接続していますか。	準備編 16
		●**放送設定**「電話設定」を正しく行っていますか。	準備編 38

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
音声	音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ●間違った音声を選んでいませんか。 ・**[音声]**を押して、正しい音声を選んでください。 ・(デジタル放送のマルチ音声のみ)「信号切換」の「音声」で、正しい音声を選んでください。 ●デジタル放送はアナログ放送に比べ、音量が小さいときがあります。 ●カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクの場合や二重放送の番組を再生する場合は、**再生設定**「音声」メニューで「音質効果」を「切」にしてください。 ●デジタル音声出力(光)端子またはHDMI映像・音声端子から音声出力時は、**初期設定**「デジタル出力」を「Bitstream」にしていると、リ.マスターなどの音質効果が働きません。設定を「PCM」にしてください。(ただし、2 チャンネルの音声になります) ●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。 ●テレビと本機をHDMIケーブルで接続し、音声をデジタル音声出力(光)端子から出力する場合は、**初期設定**「HDMI音声出力」を「切」にしてください。 ●HDMIケーブルで接続した機器から音声を出力する場合は、**初期設定**「HDMI音声出力」を「入」にしてください。 ●HDMIケーブルで接続している場合、お使いの機器によっては異音が生じる場合があります。	106 33 27,56 — 57 106 — 108 108 —
	音声が切り換えられない	●**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」の場合(お買い上げ時の設定は「入」です)、地上アナログ放送は音声の切り換えができません。 ●以下のような場合、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画またはダビングすると、「主音声」か「副音声」のどちらか一方のみが記録されます。 再生時に切り換えることはできません。(お買い上げ時の設定は「入」です) ・地上アナログ放送の番組や外部入力から録画する ・VHS から HDD へダビングする ●録画モードが「XP」で、**初期設定**「XP時の記録音声モード」が「LPCM」の場合、音声を切り換えることはできません。 ●デジタル放送を録画モード「DR」以外で録画した場合、マルチ音声は、録画前に「信号切換」(または「信号設定」)の「音声」で選ばれていたほうのみ記録されます。再生時に切り換えることはできません。 ●光デジタルケーブルまたはHDMIケーブルでアンプと接続していませんか。**初期設定**「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。	105 105 106 27,47 106 —
	VHS再生時にステレオ音声がブツブツと聞こえる	●トラッキングがずれている。 ●再生中のテープに傷などが付いている。	61 13
ボタン操作	テレビが操作できない リモコンが働かない	●テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、メーカー番号を合わせ直す必要がある場合があります。 ●電池が入っていますか。電池が切れていませんか。 ●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 ●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがありませんか。 ●本体とリモコンのリモコンモードが異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。 U30 2　表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、**[決定]**を2秒以上押したままにしてください。	準備編 34 — 準備編 5 準備編 5 準備編 34
	操作できない	●「HDD」、「DVD」、「SD」または「VHS」を間違って選んでいませんか。 ●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部操作ができない場合があります。 ●本体表示窓に"U59"点灯時は本体内部温度が高くなっています。"U59"が消えるまで待ってください。 ●ダウンロードの実行中になっていませんか。(本体表示窓に"DL"が表示)ダウンロードが終了するまでお待ちください。	— — 111 110

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
本体	**本機底面が熱い**	●本機の底面の温度が高くなりますが、性能･品質には問題ありません。 本機の底面に手で触れると熱く感じる場合がありますので、移動させるときは、電源コードを抜いた状態から3分以上待ってから移動させてください。	—
	ディスクが取り出せない	●本機の故障が考えられます。 電源「切」状態で、本体の**[停止■]**と**[チャンネル ∧]**を同時に約5秒以上押したままにすると、ディスクトレイは開きます。（ただし、**初期設定**「本体表示窓の明るさ」が、「常時 明」または「常時 暗」に設定されている必要があります） ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	—
	ディスクを取り出すのに時間がかかる	●チャプターマークを作成または削除した場合、取り出し時にディスクの管理情報を更新するため、取り出すのに時間がかかります。	55
	起動が遅い **電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる**	●HDDが休止状態になっていませんか。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていますか。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても、以下のような場合は起動に時間がかかります。 ･ RAM 以外のディスクが入っているとき ･ 時計が設定されていないときや、停電直後または電源コードを差した直後 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても、D端子ケーブルやHDMIケーブルで接続している場合は、映像や音声の出力に時間がかかります。	12 104 — —
録画や予約、ダビング	**デジタル放送の録画やダビングができない**	●デジタル放送には「1回だけ録画可能」という著作権保護の仕組みで守られた番組があります。「1回だけ録画可能」な番組をディスクにダビングするには、CPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) が必要です。 ● -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) CPRM対応の場合でも、ダビングする前にデジタル放送が記録できるようにフォーマットする必要があります。 ●デジタル放送のラジオ番組や、データ放送の番組は録画できません。 ●「1回だけ録画可能」な番組がダビングされたカセットの場合は、再度、HDD や CPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) にダビングするとき、「1回だけ録画可能」な番組の部分はダビングされません。	— 97 — 66
	予約録画ができない	●予約内容が間違っていませんか。予約録画の時間が重なっていませんか。 ●予約の実行が「切」になっていませんか。予約一覧画面で「予約実行切」が表示されているときは、「予約実行入」にしてください。 ●1倍速でダビング中やおまかせダビング中、ファイナライズを含むダビング中は、予約録画は実行されません。 ●フォーマット中、ダウンロード実行中など中断できない操作の実行中は予約録画は実行されません。 ●時刻が合っていますか。 本体表示窓に“0：00”が点滅しているときは、時刻を合わせてください。	50 50 — — 準備編 34
	番組追従機能が働かない	●Gコード® 予約や時間指定予約では働きません。 ●毎週予約をした場合、放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった番組には働きません。 ●毎週予約をした場合、番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては、正しく働かない場合があります。（番組名が変更されない場合でも、番組名によっては追従できない場合があります） ●アナログ放送の場合、予約登録後に放送時間が変更になると正しく働きません。	— — — —
	Gコード予約ができない	●ガイドチャンネルが正しく設定されていますか。 ●同じガイドチャンネルが複数のチャンネルに設定されていませんか。不要なほうを削除してください。	準備編 40 準備編 40
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎日･毎週予約のときは予約内容が残ります。 ●予約が正しく終了しなかった場合は「一部未実行」などのアイコンが表示されます。予約を取り消す操作をしてください。（翌々日の午前4時を過ぎると自動的に消えます）	43 50

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画や予約、ダビング（つづき）	録画した番組の一部、またはすべてが消えた	●録画、ダビングや編集中に停電になったり、電源コードが抜けるなどで電源が切れませんでしたか。番組が消えたり、ディスクが使えなくなる場合があります。フォーマット（HDD RAM -RW(VR) -RW(V)）するか、新しいディスクを使ってください。（当社では、消えた番組や使えなくなったディスクは補償できません） ●自動更新（オートリニューアル）を「入」にして予約録画すると、前回録画した番組を自動的に消去し、録画します。 ●「1回だけ録画可能」な番組をDVDにダビングすると、HDDの番組は消去されます。	97 43 66
	ダビングできない	●記録できないディスクが入っていませんか。 ●フォーマットされていない RAM -RW(VR) -RW(V) が入っていませんか。 ●ファイナライズ後のディスクは記録できません。-RW(V) はフォーマット、-RW(VR) はフォーマットまたはファイナライズ解除すると、繰り返し記録できます。 ●ディスクやカートリッジに誤消去防止（プロテクト）が設定されていませんか。 ●カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れていませんか。または誤消去防止つまみが“OFF”になっていませんか。 ●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。（不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください） ●HDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V)、またはVHSからDVDへのダビング時、以下の場合ダビングできません。HDDの不要な番組を消去してダビングしてください。 ・HDDの残量が少ないとき（使用するディスクによっては、HDDの残量がSPモードで最大４時間必要な場合があります） ・HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500を超えるとき ●記録したあとにディスクの出し入れや電源の切/入を約50回以上繰り返したDVD-R、DVD-R DL、DVD-RWは、記録や編集ができなくなることがあります。 ●本機で記録したディスクは、他の当社製DVDレコーダーで追記できない場合があります。 ●市販されているDVDソフトやビデオソフト（レンタルDVD、レンタルビデオも含む）の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像は録画・録音できません。	8 97 97,98 97 70 94 94 — — —
	高速モードでダビングできない	● -R(V) -R DL(V) -RW(V) HDDへ録画する前に**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」に設定しませんでしたか。（お買い上げ時の設定は「入」です） ●録画モード「DR」で録画した番組は、高速ダビングできません。	105 —
	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っていませんか。 高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ●番組数が多い場合は時間がかかります。	— —
	ダビングしたディスクが他のDVD機器で再生できない	● -R(V) -RW(V) ファイナライズするとDVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます。 ● RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) 再生するには、各機器がそれぞれのディスク（記録方式）の再生に対応している必要があります。 ● -R DL(V) ファイナライズするとDVD-R DL（ビデオ方式）に対応した機器で再生できます。	98 — 98
	ダビング後の音声レベルがHDD/DVDとVHSで合っていない	●ディスクによっては音声レベルが合わない場合があります。会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、カセットにダビングしたときには音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。	—
	外部機器からダビングできない	●正しく接続していますか。 ●外部機器を接続した外部入力チャンネル「L1」を選んでいますか。	80 —
	外部機器からダビングすると、黒い帯状のノイズが録画された	●接続した機器がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けていることが考えられます。接続した機器をテレビから離してください。	—

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
番組表(Gガイド)	番組表(Gガイド)が表示されない 8日分表示されない	●本機を初めてご使用のときや、約1週間以上本機の電源コードを抜いて使用していなかった場合は、番組表(Gガイド)が表示できません。 本機はデジタル放送の「受信設定」を正しく設定したうえ、電源「切」の状態で、番組表(Gガイド)データを自動受信します。(1日程度かかる場合があります)本機をご使用にならないときは、電源を「切」にしてください。 ●本機は、地上アナログ放送の番組表(Gガイド)であっても、衛星アンテナを接続し、BSデジタル放送が受信できる必要があります。 ●地上アナログ放送の場合、**放送設定**「チャンネル設定」の放送局名が正しく設定されている必要があります。 ●地上デジタル放送の番組表(Gガイド)は、表示させたい局を選んで、**[決定]**を押すと表示できます。 ●**放送設定**「番組表設定」を確認してください。 ・「Gガイド受信確認」で、番組表(Gガイド)の受信スケジュールなどを確認してください。 ・「番組表受信設定」で「BS908」が設定されている必要があります。(2007年2月現在) ●お住まいの地域の受信状態に問題がある場合(電波状態が弱い場合など)は、番組表(Gガイド)データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	— — 準備編 40 — 準備編 31 —
	地上アナログ放送で、映像が受信できるのに番組表(Gガイド)に表示されない放送局がある	●放送局名が正しく設定されていない場合は、番組表(Gガイド)に正しく表示されません。正しい放送局名を表示させてください。 ●**放送設定**「Gガイド地域設定」で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表(Gガイド)に放送内容は表示されません。	準備編 40 準備編 31
	番組表(Gガイド)に同じ放送局が2つ表示されている	●現在視聴中の放送局は一番左に追加表示されるため、画面内に同じ放送局が2つ表示される場合があります。どちらを選んでも問題はありません。	—
	番組表(Gガイド)に“予”が表示されない	●Gコード® 予約や時間指定予約の場合は、予約した番組の放送時間が、番組表の放送時間を含んでいるときのみ表示されます。	—
	録画した番組と番組名が合っていない	●番組表で予約設定後に番組内容が変更されると、変更された番組名で録画されます。 ●番組表で毎週予約設定後に番組内容が変更され、番組追従でも同じ名前の番組名を見つけられなかった場合は、予約時の番組名で録画されます。	— —
HDD／DVD再生	再生が始まらない、またはすぐに停止する	●ディスクを正しく入れていますか(裏表が逆になっているなど)。またはディスクが汚れていませんか。 ●本機で使えないディスク、未記録のディスクが入っていませんか。 ●他のDVDレコーダーやパソコンなどで録画した「1回だけ録画可能」の番組は、本機のHDDへダビングできる場合がありますが、著作権保護のため再生できません。 ●RAM EP(8時間)モードで記録した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーで再生できないことがあります。この場合は、EP(6時間)モードで記録してください。	13,19 10 — 105
	再生の映像が乱れたり、正しく再生されない	●天候などにより電波状態の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。 ●録画モードの異なる番組や、アスペクト比(映像の横縦比)、解像度[480i(525i)、480p(525p)、720p(750p)、1080i(1125i)など]の異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。	— —
	番組の先頭から再生が始まらない	●続き再生メモリー機能が働いています。番組の先頭から見たい場合は、**[⏮]**を数回押して番組の先頭に戻ってください。	54
	映像や音声が一瞬止まる	●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ●-R DL(VR) -R DL(V) 2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。	— 9
	録画した番組が再生ナビ画面に表示されない	●HDD RAM 他の画像の一覧を表示していませんか。「番組一覧」に切り換えてください。	52,53
	DVDビデオを再生できない	●視聴制限が設定されていませんか。**初期設定**「視聴制限」を変更してください。	105
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ●**再生設定**「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	— 51
	市販ディスクの字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録され、**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」が「入」になっていますか。	56
	録画した番組の字幕が出ない	●録画モード「DR」で録画した番組の場合、ディスクに字幕が収録され、**再生設定**「ディスク」メニューの「信号切換」の「字幕」が「オン」になっていますか。 ●録画モード「DR」以外で録画した場合、録画時に「字幕」を「オン」に設定して、字幕を記録しましたか。録画時の設定のまま記録されるため、再生時に字幕の入/切を切り換えることはできません。	56 27,47
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所のみ切り換わります。	—

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD/DVD再生(つづき)	DVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。DVDドライブを選び、[開/閉▲]を押してトレイが開いている状態で、本体の[再生▶]と[録画●]を同時に5秒以上押すと戻ります。(本体表示窓に"INIT"が表示)	—
	自動CM早送りが働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。 ●「DRモード」の番組や、外部入力から録画した番組では働きません。 ●最大49回働きます。(HDD:1番組あたり49回/RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR):ディスク1枚あたり49回)それを超えた場合は働きません。	— — —
	早見再生の速さが変化する 早見再生の再生時間が長い	●「DR モード」の番組の場合、録画した放送の内容によっては、部分的に早見再生が働かないときがあります。	—
	続き再生メモリー機能が働かない	●記憶した位置は、以下の場合解除されます。(HDDを除く) ・ディスクやSDカードを取り出す。 ・CD SD 電源を切る。	—
	SDカードのMPEG2動画が再生できない	●SDカードから直接再生できません。HDDなどにダビングしてから再生してください。	76
	再生した番組の先頭が見られない	●(ビエラリンク対応のテレビとHDMIケーブルで接続した場合) テレビの電源が「切」のときに、本機のリモコンの[再生▶]を押して再生を始めた場合、テレビの電源が自動的に「入」になり、テレビ画面が表示されるまで、再生した番組の先頭部分が見られない場合があります。その場合は、[I◀◀]を押して番組の先頭に戻ってください。	—
VHS再生	再生できない	●他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセットは再生できません。 ●録画モード「DR」以外でHDD録画中のときは、VHSの再生はできません。	— —
	VHSの再生画面がブルーバックになる	●テープの未記録部分、または記録状態の悪い部分を再生している。 ●汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	— —
	再生画面がチラチラする	●ビデオヘッドが汚れている。 ●テープが古い、またはいたんでいる。	61 13
	再生画面にノイズが出る	●本機以外の機器で3倍/5倍モードを使って記録されたテープを再生した場合は、テープによっては画面にノイズが出る場合があります。 ●テレビと本機をHDMIケーブルで接続した場合、映像の周囲にノイズ状のものが見えることがあります。このときは、テレビ側で画面サイズを調整してください。詳しくは、テレビの説明書をご覧ください。 テレビ側で画面サイズの調整ができない場合は、**初期設定**「HDMI出力解像度」を「480p(525p)」に設定すると(お買い上げ時の設定は「オート」です)、ノイズ状のものを見えなくすることができます。ただし、VHS以外の映像を高画質で再生するときには、設定を元に戻しておいてください。	— — 108
HDD/DVD編集・整理	番組を消去しても残量が増えない	●-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) 消去しても残量は増えません。 ●-RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。途中の番組を消去しても残量は増えません。	— —
	編集できない	●HDD 空き容量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去して空き容量を増やしてください。 ●ファイナライズ済みの -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) を使っていませんか。	94 —
	フォーマットできない	●ディスクが汚れていませんか。 ●本機で使えないディスクを使っていませんか。	13 8,10
	部分消去の開始点や終了点が設定できない	●開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。	62
	プレイリストが作成できない	●本機ではプレイリストの作成はできません。	—
写真	再生ナビ画面を表示できない	●番組を録画中やダビング中のときはできません。	—
	再生ナビ画面で写真が表示されない	●日付別一覧とアルバム一覧とを間違っていませんか。間違っている場合は切り換えてください。	83
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。	97
	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れていませんか。(カードの内容が壊れている場合もあります)本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっていませんか。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では8 MB～4 GBまでのSDカードが使用できます。	11 126 — 11
	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。 カードやディスクをフォーマットしてください。	— 97

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ビエラリンク	ビエラリンクが働かない	●本機の電源を「入」にしたときに、本体表示窓に“HDMI”が表示されていますか。HDMIケーブルの接続を確認してください。 ●**初期設定**「ビエラリンク制御」が「入」になっていますか。 ●接続した機器側のビエラリンクの設定を確認してください。 ●HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにビエラリンクが動作しなくなる場合があります。このときは、以下の操作をしてください。 **① HDMIケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ(ビエラ)の電源を入れ直す** **② テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する(詳しくはビエラの取扱説明書をご覧ください)** **③ テレビ(ビエラ)の入力を、本機を接続したHDMI入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、ビエラリンクが動作するか確認する**	準備編 10 準備編 13 108 — —
その他	電話機にノイズ(雑音)が入る 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	●モジュラー分配器を使用すると、一部の電話機やファクシミリでこの症状が出る場合がありますが、市販の自動転換器(パソコン対応用も含む)または電話回線用ノイズフィルター(雑音防止器)で改善される場合があります。 詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。	—
	ダウンロードができない	●ダウンロードは、本機の電源を「切」にした状態で行われます。	準備編 36
	ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買い上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	準備編 23

「故障かな!?」に従ってご確認のあと修理が必要になったときは、裏面の「修理診断カルテ」にご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

修理診断カルテ

ご記入日：　　年　月　日

修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

<商品に関して>

機種名		製造番号（保証書または本体後面に記載）	
お買い上げ日	年　月　日	保証書添付	□ 有り　□ 無し

<確認事項>

修理代金の見積り（有償修理時のみ）	□ 不要　□ ＿＿＿ 万円以上必要　□ 必要
修理ご依頼時の添付品	（本体以外の添付品をご記入ください） □ 電源コード　□ リモコン　□ ディスク　□ その他 ＿＿＿＿

設定項目の初期化	修理の際に、初期設定、録画予約などを出荷状態に戻さなければならない場合があります。 あらかじめご了承ください。	
HDDの初期化（録画内容の消去）	修理の際に、HDDを出荷状態に戻さなければならない場合があります。（記録内容はすべて失われます） HDDの初期化に同意されますか。 □ 同意する □ 同意しない（初期化しないと修理ができない場合があります）	ご署名　　印

<不具合症状について>

不具合症状	（発生症状をなるべく詳しく、具体的にご記入ください）　例：HDDからDVD-Rへ高速モードでダビング時、途中で止まった。	
発生条件	<発生条件> 1. □ HDD　□ DVD　□ VHS （下欄※に詳細をご記入ください） 2. □ 録画時　□ 再生時　□ ダビング時 └□ 本機のチューナーからの録画 └□ 外部入力からの録画（他のビデオからのダビングや外部チューナーからの録画など）	<エラー表示> □ 有り └□ テレビ画面 表示内容：＿＿＿＿ └□ 本体表示窓 表示内容：＿＿＿＿ □ 無し
発生頻度	□ 常時　□ 時々　□ ＿＿＿ 回に ＿＿＿ 回位	

<※DVDディスクに関して>

正確な診断を行うために、できるだけ症状の発生したディスクの添付をお願いします。

発生ディスク	□ DVD-RAM　メーカー名：　品番： □ DVD-R　メーカー名：　品番： □ DVD-R DL　メーカー名：　品番： □ DVD-RW　メーカー名：　品番： □ DVDビデオ　タイトル：　ディスクNo.： □ その他
発生箇所	□ 最初から再生できない　□ ＿＿ 分 ＿＿ 秒位の部分から症状が発生　□ タイトルNo.：　チャプターNo.：

<接続テレビに関して>

接続テレビ	テレビメーカー名：　機種名： 接続端子：□ ピン端子　□ S端子　□ D端子　□ HDMI端子　□ その他

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

きりとり線

用語解説

ア アンテナレベル
アンテナ設置方向の最適値を確認するためのめやすです。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、アンテナを接続したケーブルの長さなどによって影響を受けます。

カ （株）B-CAS（ビーキャス）
BSデジタル放送の限定受信システム（CAS）を管理するために設立された（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行･管理をしています。地上デジタル放送や110度CSデジタル放送も同システムを使用しています。

サ サムネイル
複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。（本機では、ファイナライズ後のトップメニューに番組内の1場面が表示されます）

● サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

● 字幕放送
字幕情報を表示させることができる放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する「文字スーパー」という機能もあります。

● スプリッター
電話回線のネットワーク用の信号と電話用の信号を分ける機器です。

● 双方向サービス
視聴者が自宅にいながら、クイズ番組に参加したり、買い物をすることができます。電話回線の接続が必要です。

タ ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

● ダウンミックス
ディスクに収録されたサラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。

● データ放送
お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができる放送です。例えば、お客様のお住まいの地域の天気予報を、表示させることができます。また、テレビ放送やラジオ放送に連動したデータ放送もあります。そのほかに、電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向（インタラクティブ）サービスなどが行われます。

● デコーダー
DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

● デジタルハイビジョン
デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送（SD）とデジタルハイビジョン放送（HD）があります。ハイビジョンの走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

● ドライブ
本機では、ハードディスク（HDD）、ディスク（DVD）、SDカード（SD）、カセット（VHS）のことをいいます。
データの読み書きを行います。

ハ パン＆スキャン/レターボックス
DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面（画面の横縦比が16:9）を前提に制作されているため、従来のサイズ（横縦比が4:3）のテレビに映し出そうとすると、16:9の映像が4:3に収まらなくなります。
4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン＆スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。

● ファイナライズ
番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。
ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

● フィルム/ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。（映画の映像などで使われています）
- **ビデオ素材**
  映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。（テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています）

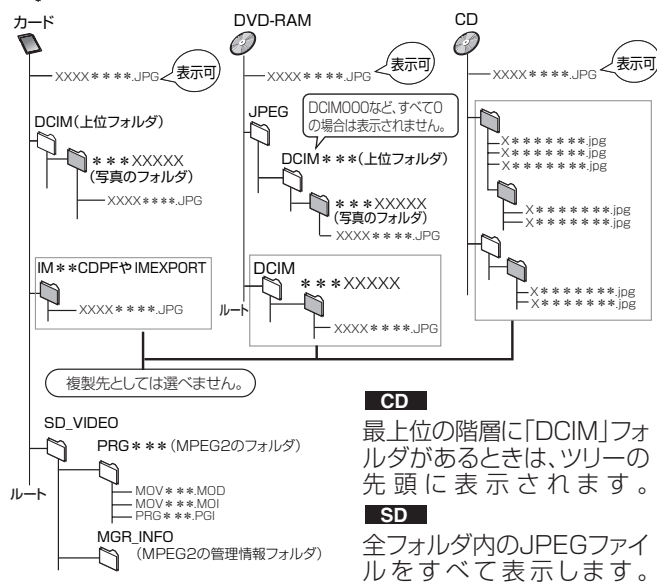
● フォーマット
記録前のDVD-RAMなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。
フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

用語解説（つづき）

フォルダ

ハードディスクやSDカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真（JPEG）やMPEG2などの保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例

：表示されるフォルダ　＊：数字　x：半角文字

- **RAM** ルート上のファイルは「上位フォルダ選択」で選ぶことができます。（➜84）
- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム　＝　フィールド　＋　フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

プログレッシブ/インターレース

従来の映像信号（NTSC）は480i（525i）（i：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その480i（525i）信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を480p（525p）（p：プログレッシブ＝順次走査）といいます。プログレッシブでは、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。

マ　マルチビュー放送

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

ヤ　有料放送

チャンネル単位で購入する場合と、番組単位で購入する場合（ペイ・パー・ビュー）があり、それぞれ放送事業者との契約が必要です。ペイ・パー・ビューでは、テレビ画面上で購入操作を行います。ペイ・パー・ビューをご覧になるためには電話回線の接続が必要です。

A　AAC（Advanced Audio Coding）

衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

B　Bitstream

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1チャンネルなどのサラウンド音声信号に戻されます。

C　CPRM（Content Protection for Recordable Media）

デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応した機器とディスクに記録できます。

D　D映像端子

コンポーネント（色差）ビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子で、デジタル放送やDVDプレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

Dolby Digital

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2チャンネル）はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

DPOF（Digital Print Order Format）

デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

DTS（Digital Theater Systems）

映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

EPG（Electronic Program Guide）

テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表（Gガイド）を使って予約録画などができます。

HDD（ハードディスクドライブ）

パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の1つです。表面に磁気体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMIとは、デジタル機器向けの次世代インターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

Ir システム

セットトップボックスなどから予約録画などの信号を、録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。当社製CATV用セットトップボックスなどのIrシステムがDVDレコーダーに対応している場合、Irシステムを使って本機を操作できます。セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。

JPEG（Joint Photographic Experts Group）

カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。

デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

LPCM（リニア PCM）

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

MPEG2（Moving Picture Experts Group）

カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。

MPEG2はDVDやデジタル放送などに使われる圧縮方式で、本機では番組をMPEG2で録画します。

PCM（Pulse Code Modulation）

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

S映像出力

映像信号をC（色信号）とY（輝度信号）に分離してテレビに伝えます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

●**S1映像信号**

映像の横縦比が4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して映します。

ディスク内の映像

画面の映像

●**S2映像信号**

S1の機能に加え、レターボックス（上下に黒帯が入っている映像）のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

ディスク内の映像

画面の映像

SQPB（S-VHS Quasi Playback）

S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットを簡易的に再生する機能です。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。

S-VHS ET（Super VHS Expansion Technology）

VHSカセットにS-VHS方式で記録する機能です。
本機にはこの機能はありません。

VBR（Variable Bit Rate）

映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

1080i（1125i）

デジタルハイビジョン映像の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

480i（525i）

1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。

480p（525p）

1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

720p（750p）

デジタルハイビジョン映像の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

アイコン一覧

●本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

アイコン	説明
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）の番組
データ	データ放送の番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
●●● 信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えできる番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
デジタル 1COPY	「1回だけ録画可能」な番組(➜37) （録画後、ダビングできません）
アナログ XCOPY	アナログの著作権が保護されているためアナログでの「録画禁止」の番組
アナログ X出力	アナログ（映像端子、S1/S2映像端子、D端子）出力しない番組（音声も出力されません）
ラジオ	ラジオ放送の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
16:9 1125i	番組の映像信号情報 上：画面の横縦比（16:9、4:3） 下：信号方式 （デジタルハイビジョン放送－ 1125i、750p） （デジタル標準テレビ放送－ 525p、525i）
主+副	二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組
有料	有料のデータを含むペイ・パー・ビュー番組
字幕	番組の中に字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組
20 才~	視聴年齢制限がある番組 （表示される年齢は4～20才まであります）

再生ナビ画面

HDDにダビング中の番組やデータが壊れているなど、再生できない番組

番組や写真に書き込み禁止（プロテクト）を設定

録画中の番組

本機で録画した「1回だけ録画可能」な番組(➜37)
HDDからDVDへのダビングは移動のみできます。
DVD から HDD へのダビングはできません。
HDD から VHS へのダビングは複製できます。

「新番組おまかせ録画」で録画された番組(➜44)

新しく録画してまだ見ていない番組

「写真おまかせ取込」で取り込んでまだ見ていない写真(➜89)

録画禁止信号により録画できなかった番組
（デジタル放送など）

2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組

プリント枚数（DPOF）が設定された写真(➜88)

おまかせダビング・詳細ダビング画面

-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速でダビングできる番組

静止画を含むもの
（HDD/DVDへは静止画部分はダビングされません）

録画モード「DR」で録画された番組
（DRモードの番組）

本機で録画した「1回だけ録画可能」な番組(➜37)
HDDからDVDへのダビングは移動のみできます。
DVD から HDD へのダビングはできません。
HDD から VHS へのダビングは複製できます。

「1回だけ録画可能」なため「移動」されるもの(➜66)

まとめ
2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組

予約一覧画面

アイコン	説明
可	全編の録画が可能な番組
変更可	予約登録後に放送時間が変更になった番組で、全編の録画が可能な番組
重複	予約時間が重なっている番組
FULL中断	HDDがいっぱいで録画が中断された番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組
購入失敗	番組購入できずに予約録画に失敗したペイ·パー·ビュー番組
不可	HDDの残量が不足していて録画できない番組
シリーズ終了	毎日·毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをおすすめします。
新番組	「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組(➜44)
毎週 毎日 月~土 月~金	毎日·毎週予約のときに表示されます。
月/日迄	毎日·毎週予約のときに、表示された日付(最大1カ月先)まで録画予約されます。(他の番組が録画や消去された場合など、ディスクの残量によって、日付が変更される場合があります)
警告	引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
検索中	時間変更追従を実行中(時間確認中)
時間指定	Gコード® 予約(➜48)または時間指定予約(➜49)で予約した番組
番組予約	番組表(Gガイド)を使って予約した番組(➜46)
番組PPV	番組表(Gガイド)を使って予約したペイ·パー·ビュー番組
コピー×中断	録画禁止信号により録画が中断された番組(デジタル放送など)
一部未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組
選局失敗	追加購入できずに予約録画に失敗したペイ·パー·ビュー番組
予約実行切	予約の実行が「切」になっている番組
毎週更新 毎日更新 月~土更新 月~金更新	毎日·毎週予約のときに自動更新(➜43)をする場合、表示されます。(前回録画した内容を上書きして録画します)
お知らせ	番組表(Gガイド)を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合に表示
	録画中の番組

その他の画面

アイコン	説明
	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組 暗証番号を入力すると視聴可(➜103)
	メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール(未読メール)
	番組表(G ガイド)を使って予約された番組
	1番組限度額の設定より高い金額の番組 暗証番号を入力すると視聴可(➜103)
	メール一覧画面で、お客様がすでに読まれたメール(既読メール)
新	「新番組おまかせ録画」(➜44)で予約された番組の番組表(G ガイド)上での表示

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源　AC 100 V、50/60 Hz
消費電力　動作時：約39 W
待機時(クイックスタート「切」)：約 2.8 W※1
[時刻表示点灯時・約3.3 W、時刻表示消灯時・約0.9 W(アッテネーターを「オン」に設定した場合 約0.7 W)]
待機時(クイックスタート「入」)：約 9.3 W※1
(時刻表示点灯時・約9.4 W 、時刻表示消灯時・約9.0 W)

※1 VTRの省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。

本体

寸法	幅430 mm×高さ93 mm×奥行332 mm (突起部含まず) 幅430 mm×高さ93 mm×奥行342 mm (突起部含む)
本体質量	約7.0 kg
許容周囲温度	5 ℃～40 ℃
許容相対湿度	35 %～80 %RH (結露なきこと)
時計	クォーツ制御、24時間、デジタル表示
プログラム数	1カ月　32プログラム

テレビジョン方式

映像方式	NTSC方式、525本、60フィールド デジタルハイビジョン： 地上デジタル放送方式(日本)、 衛星デジタル放送方式(日本)
アンテナ受信入力	**地上アナログ入力** VHF　:1～12 CH　75 Ω UHF　:13～62 CH　75 Ω CATV :C13～C63 CH　75 Ω **地上デジタル入力** 90 MHz ～ 770 MHz　75 Ω (VHF：1～12 CH、UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH)※2 **BS・110度CSデジタル -IF 入力** 1032 MHz～2071 MHz (IF入力周波数)75 Ω 電源供給：　DC 15 V、最大4 W

入出力端子(映像・音声を除く)

SDメモリーカードスロット	1系統
電話回線(モジュラー)端子	1系統[V.22bis(2400 bps、着呼機能なし)]

映像

記録圧縮方式(HDD/DVDのみ)	MPEG2(Hybrid VBR)
映像入力	**入力端子**　：1系統(ピンジャック) **入力レベル**　：1.0 Vp-p　75 Ω
S映像入力	**入力端子**　：1系統 **Y入力レベル**　：1.0 Vp-p　75 Ω **C入力レベル**　：0.286 Vp-p　75 Ω
映像出力※3	**出力端子**　：1系統(ピンジャック) **出力レベル**　：1.0 Vp-p　75 Ω
S映像出力※3	**出力端子**　：1系統 **Y出力レベル**　：1.0 Vp-p　75 Ω **C出力レベル**　：0.286 Vp-p　75 Ω
D端子映像出力※3 (D1/D2/D3/D4端子)	**出力端子**　：1系統 [480i(525i)/480p(525p)/1080i(1125i)/720p(750p)] **Y出力レベル**　：1.0 Vp-p　75 Ω **CB/PB出力レベル**：0.7 Vp-p　75 Ω **CR/PR出力レベル**：0.7 Vp-p　75 Ω
HDMI 映像・音声出力	**出力端子**　：1系統(19ピン typeA端子) HDMI (本機はビエラリンク Ver.2 に対応しています) [480p(525p)/1080i(1125i)/720p(750p)]

音声

記録・再生圧縮方式(HDD/DVDのみ)	●**Dolby Digital**：2ch記録 ●**リニアPCM(XPモードのみ切り換え可)**：2ch記録 ●**MPEG2 AAC**(DRモード・デジタル放送記録時)：最大 5.1ch 記録
アナログ入力	**入力端子**　：1系統(ピンジャック) **基準入力**　：309 mVrms **入力レベル(HDD/DVDのみ)**： FS：2 Vrms(1 kHz、0 dB) 入力インピーダンス：22 kΩ
アナログ出力	**出力端子**　：2ch出力(ミックス音声) 1系統(ピンジャック) **基準出力**　：309 mVrms **出力レベル(HDD/DVDのみ)**： FS：2 Vrms(1 kHz、0 dB) 出力インピーダンス：1 kΩ 負荷インピーダンス：10 kΩ
トラック数(VHS のみ)	ハイファイ：2トラック　ノーマル：1トラック
デジタル出力	**出力端子**　：1系統、光コネクター **(PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG2 AAC対応)**

HDD/DVD部

内蔵HDD容量	250 GB
記録可能なディスク	●DVD-RAM: 2X SPEED(Ver.2.0 準拠) 2-3X SPEED(Ver.2.1 準拠) 2-5X SPEED(Ver.2.2 準拠) ●DVD-R: 1X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-4X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-8X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-16X SPEED(Ver.2.1 準拠) ●DVD-R(DL): 2-4X SPEED(Ver.3.0 準拠) 2-8X SPEED(Ver.3.0 準拠) ●DVD-RW: 1X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 2-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 2-6X SPEED(Ver.1.2 準拠)
記録方式	●DVD-RAM: DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R: DVDビデオ規格準拠 DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R DL(片面2層): DVDビデオ規格準拠 DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠 DVDビデオレコーディング規格準拠
再生可能なディスク	●DVD-RAM ●DVD-R ●DVD-R DL(片面2層) ●DVD-RW ●+RW:ファイナライズ済のみ ●+R:ファイナライズ済のみ ●+R DL(片面2層):ファイナライズ済のみ ●DVD-Video ●CD-Audio(CD-DA) ●CD-R/CD-RW (CD-DA、JPEGフォーマット記録のディスク)

VHS部

録画方式	VHS規格
テープ速度	標準:33.35 mm/秒　3倍:11.12 mm/秒
使用カセット	VHSビデオカセット
録画時間	最大9時間(T-180使用、3倍モード)
早送り・巻き戻し時間	約60秒(T-120使用時)

SD部

SDカード機能/静止画(JPEG)

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※4※5※6※7
対応フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32※8
画像ファイル形式	●JPEGベースライン方式 [DCF(Design rule for Camera File system)準拠] ●DPOF対応
画素数	34×34～5120×3840 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
解凍時間※9	約2秒(600万画素、JPEG)

SDカード機能/動画(MPEG2)

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※4※5※6※7
ファイル形式	SD VIDEO規格準拠 ●SD(SD VIDEO規格)からHDD/DVD-RAM/DVD-R(ビデオレコーディング規格)/DVD-R DL(ビデオレコーディング規格)/DVD-RW(ビデオレコーディング規格)への変換転送後に再生可能

※2 ワンセグ放送は受信できません。
※3 映像/S映像出力と、D端子映像出力は切り換えにより、どちらか1系統の出力になります。
※4 使用可能容量は少なくなることがあります。
※5 SDHCメモリーカードを含む。(Class非対応)
※6 miniSDカードを含む。(miniSDアダプター装着時)
※7 microSDカードを含む。(microSDアダプター装着時)
※8 ロングファイル名非対応。
※9 解凍時間は使用環境(ファイル数・圧縮率など)によって多少長くなることがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

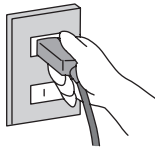
⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

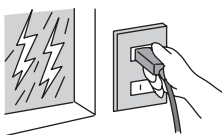
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

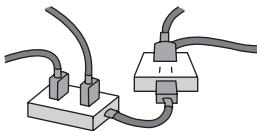
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

- 誤って飲み込むと身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠警告

電池は誤った使いかたをしない

- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

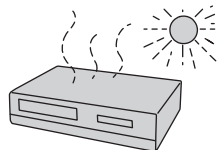
電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない

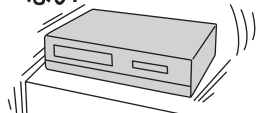
内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

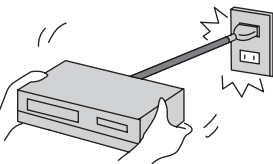
屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやカセットは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイ・カセット挿入口に指をはさまれないように注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間
当社は、このDVDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき
「故障かな!?」（➜114～122）に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。なお、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容			
製　品　名	DVDレコーダー	お買い上げ日	年　　月　　日
品　　番	DMR-XP21V	故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談
ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談
ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　06-6907-1187

FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(018)831-7833
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0107

さくいん

英数字　ページ

あ　行　ページ

か　行　ページ

さ 行

ページ

た 行

ページ

な 行

ページ

さくいん(つづき)

は 行

ページ

ま 行

ページ

や 行

ページ

ら 行

ページ

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されます。この製品を分解したり、改造することも禁じられています。
- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
  Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
  米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社の日本国内における登録商標です。
  Gコードシステムは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- “DTS”は、DTS, Inc. の登録商標です。“DTS 2.0 + Digital Out”はDTS, Inc.の商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[操作一覧]ボタンを押し、“その他の機能へ”→“メール／情報”→“ID表示”→“ソフト情報表示”をご参照ください。
- メールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利確保のため権利者に支払われることが定められています。
  私的録画補償金のお問い合わせ先
  〒 107-0052
  東京都港区赤坂５丁目４番６号
  赤坂三辻ビル 2F
  社団法人 私的録画補償金管理協会
  TEL 03-3560-3107(代)
  FAX 03-5570-2560
  なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 本機は 2007 年２月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のDVDレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか	
	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● テープやディスクをいためた ● その他の異常や故障がある

▶ このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	販売店名	☎（　　）　－
	品番	DMR-XP21V		
	B-CAS カード番号	B-CAS カード番号を記入してください。 お問い合わせのときに必要な場合があります。		

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT8925-2S
F0207TN2077